

**まんのう町高齢者福祉計画・
第9期介護保険事業計画策定に係る
アンケート調査結果報告書**

**令和5年3月
まんのう町**

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の設計	1
(1) 調査対象	1
(2) 調査方法	1
(3) 回収数	1
(4) 調査の期間	1
3. 報告書の見方	2
4. 在宅介護実態調査における留意点	2
(1) サービス利用の回数・組み合わせ等に着目した集計・分析に係る用語の定義	2
第2章 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査	3
1. 調査の結果	3
回答者の属性	3
問1 あなたのご家族や生活状況について	5
問2 からだを動かすことについて	8
問3 食べることについて	13
問4 毎日の生活について	18
問5 地域での活動について	22
問6 たすけあいについて	24
問7 健康について	28
問8 認知症にかかる相談窓口の把握について	32
問9 権利擁護について	33
問10 高齢者虐待について	35
問11 まんのうささえあいサービスについて	37
2. 調査の分析	43
(1) からだを動かすことについて	43
(2) 食べることについて	48
(3) 毎日の生活	51
(4) 健康	55

(5) 幸せ.....	56
(6) まんのう町独自設問.....	61
第3章 在宅介護実態調査調査.....	70
1. 調査の結果.....	70
A票.....	70
B票.....	85
2. 調査の分析.....	90
(1) 在宅限界点の向上のための支援・サービス提供体制.....	90
(2) 仕事と介護の両立に向けた支援・サービス提供体制.....	92
(3) 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備.....	94
(4) 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制.....	95
(5) 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制.....	96
第4章 資料編.....	97
1. 調査票（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）.....	97
2. 調査票（在宅介護実態調査）.....	113

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

令和6年度から8年度までを計画期間とする「まんのう町高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」の策定における基礎調査として実施しました。

2. 調査の設計

(1) 調査対象

調査種別	調査対象者	発送数
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	令和4年10月1日現在、町内にお住まいで、要介護・要支援認定を受けていない65歳以上の町民から無作為抽出	1,000件
在宅介護実態調査	令和4年10月1日現在、町内にお住まいで、要介護・要支援認定を受けておられる65歳以上の町民	866件

(2) 調査方法

郵送による配布・回収（ただし、オンラインによる回答も可）。

(3) 回収数

調査種別	有効回収数	有効回収率
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	683件	68.3%
在宅介護実態調査	573件	66.2%

(4) 調査の期間

令和4年11月11日から令和4年12月5日まで。

3. 報告書の見方

- 基数となるべき実数は、(n=〇〇)と表示し、各比率は、すべてを100%として百分率で表し小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。そのために、百分率の合計が100%にならないことがあります。
- 質問文の中に、複数回答が可能な質問がありますが、その場合、回答の合計は、調査数を上回ることがあります。
- 図中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している場合があります。

4. 在宅介護実態調査における留意点

(1) サービス利用の回数・組み合わせ等に着目した集計・分析に係る用語の定義

本報告書では、介護保険サービスの利用回数や利用の組み合わせ等に着目した集計・分析を行うため、介護保険サービスを大きく、「訪問系」、「通所系」、「短期系」の3つに分類して集計しています。

なお、介護保険サービスの中には介護予防・日常生活支援総合事業を通じて提供される「介護予防・生活支援サービス」も含まれます。

それぞれ、用語の定義は以下の通りです。

<サービス利用の分析に用いた用語の定義>

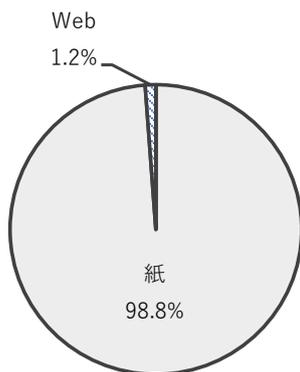
用語	定義	
未利用	・「住宅改修」、「福祉用具貸与・購入」のみを利用している方については、未利用として集計しています。	
訪問系	・(介護予防)訪問介護、(介護予防)訪問入浴介護、(介護予防)訪問看護、(介護予防)訪問リハビリテーション、(介護予防)居宅療養管理指導、夜間対応型訪問介護を「訪問系」として集計しています。	
通所系	・(介護予防)通所介護、(介護予防)通所リハビリテーション、(介護予防)認知症対応型通所介護を「通所系」として集計しています。	
短期系	・(介護予防)短期入所生活介護、(介護予防)短期入所療養介護を「短期系」として集計しています。	
その他	小規模多機能	・(介護予防)小規模多機能型居宅介護を「小規模多機能」として集計しています。
	定期巡回	・定期巡回・随時対応型訪問介護看護を「定期巡回」として集計しています。

第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

1. 調査の結果

回答者の属性

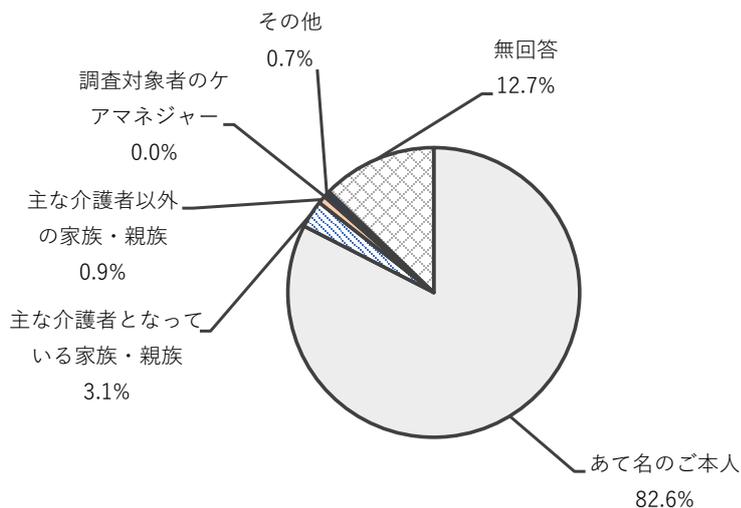
回答方法



n=683

- 「紙」で回答した人の割合は98.8%、「Web」で回答した人の割合は1.2%となっています。

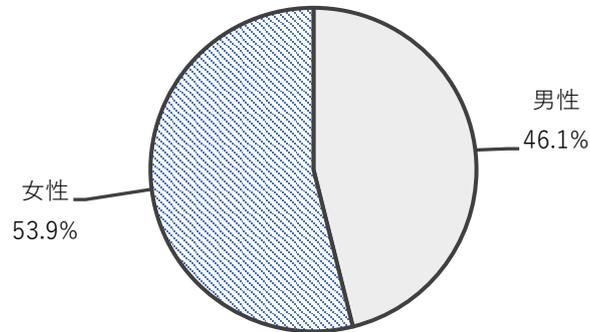
調査票を記入されたのはどなたですか。



n=683

- 「あて名のご本人」による記入は82.6%、「主な介護者となっている家族・親族」による記入は3.1%、「主な介護者以外の家族・親族」による記入は0.9%となっています。

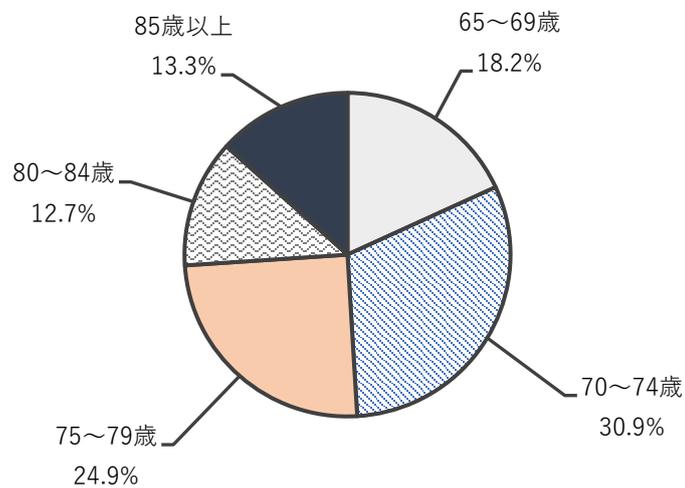
性別



n=683

●調査対象者の性別は、「男性」46.1%、「女性」53.9%となっています。

年齢

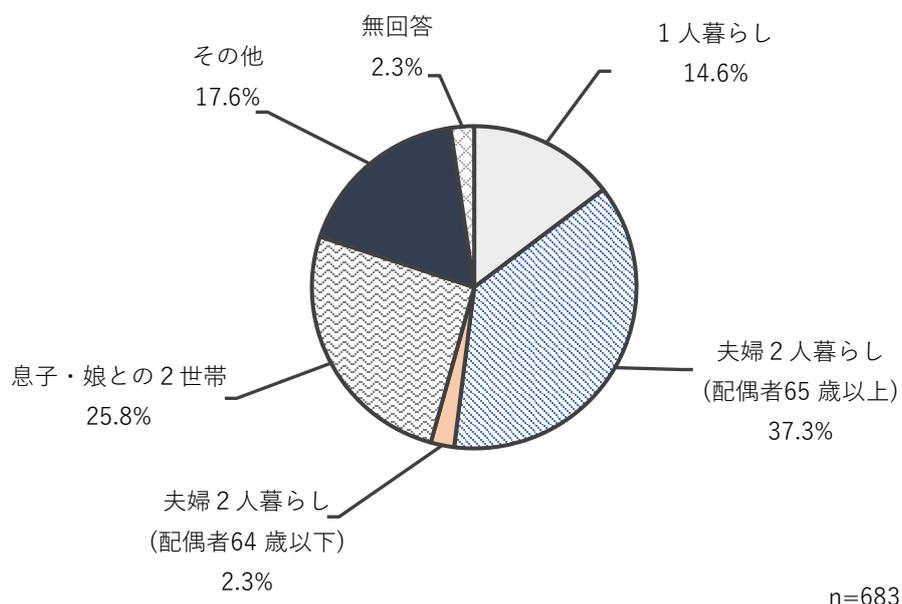


n=683

●調査対象者の年齢は、「70~74歳」の割合が30.9%と最も高く、次いで、「75~79歳」(24.9%)、「65~69歳」(18.2%)と続いています。

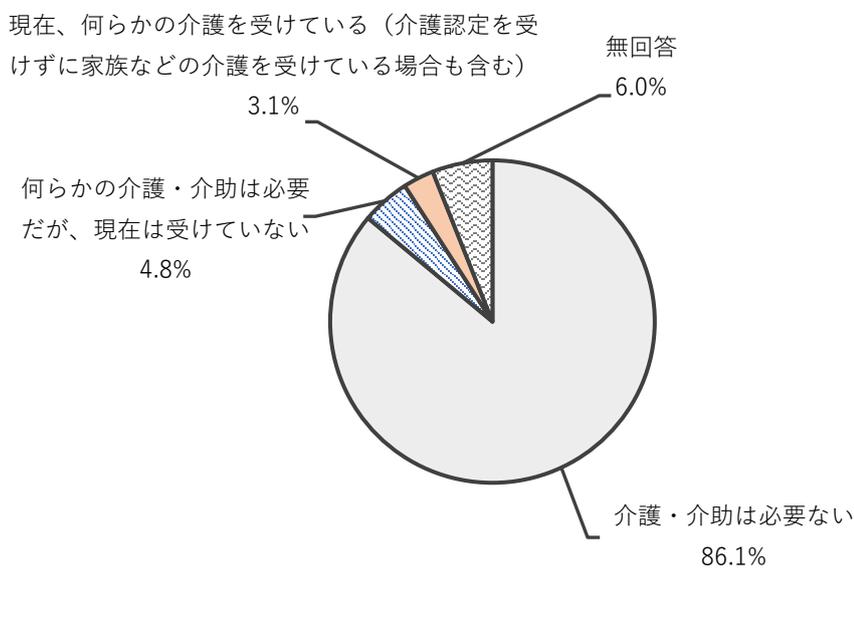
問1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えてください。(1つだけ)



- 家族構成については、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」と回答した人の割合が37.3%と最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」(25.8%)、「1人暮らし」(14.6%)と続いています。

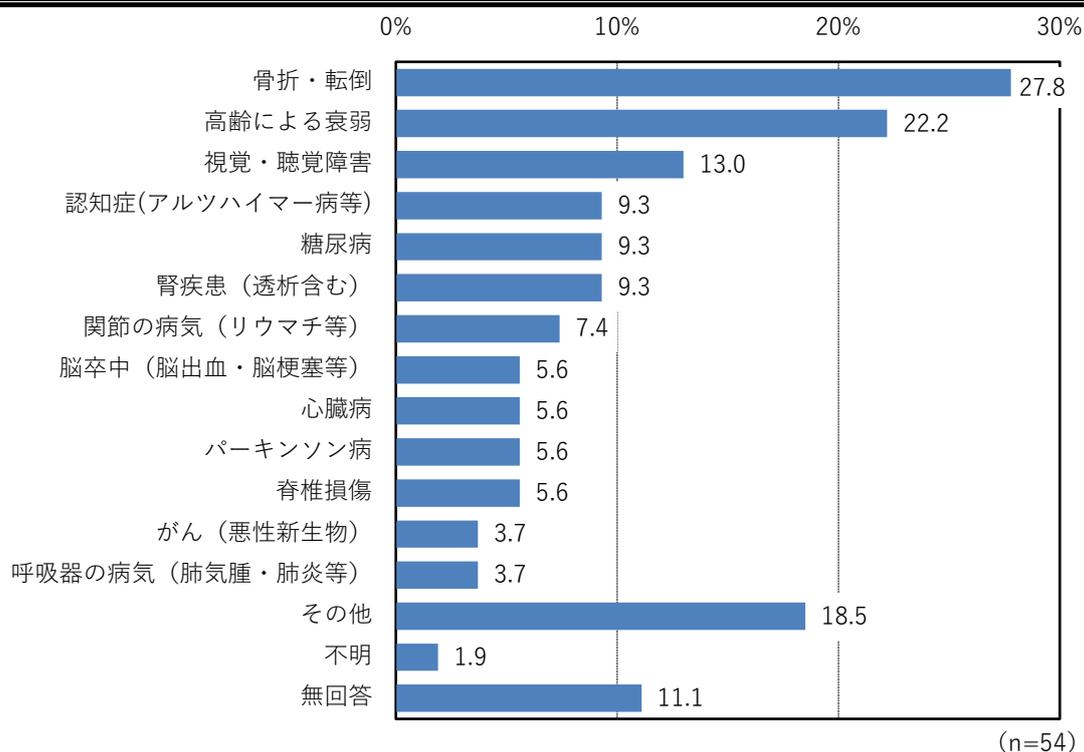
(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つだけ)



- 普段の生活で「現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」と回答した人の割合は3.1%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と回答した人の割合は4.8%となっています。

【(2)で「2」または「3」と答えた方(介護・介助が必要な方)のみ、お答えください。】

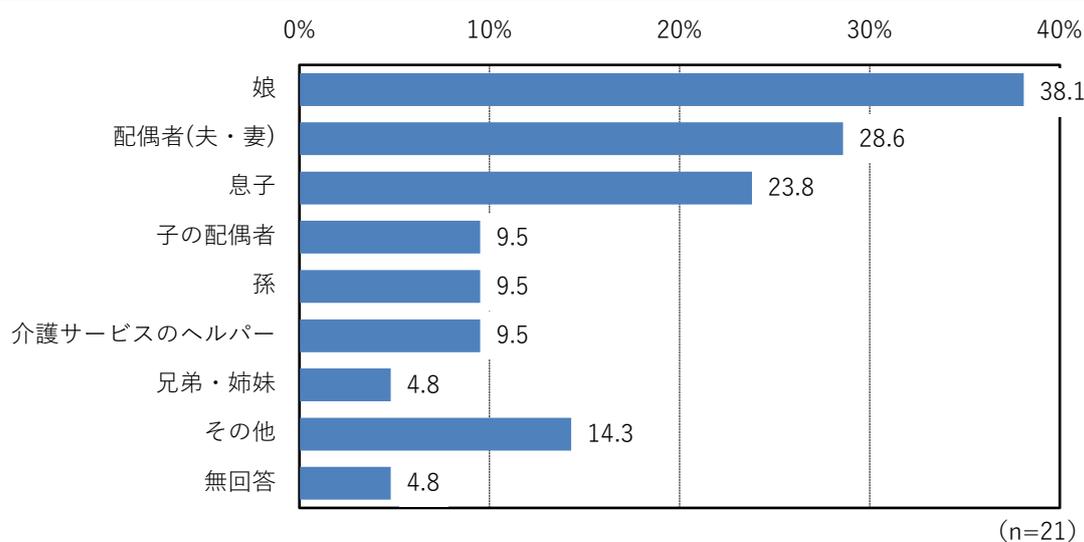
(2-1) 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(いくつでも)



- (2)において「介護・介助は必要ない」以外に回答した方に、介護・介助が必要になった主な原因をたずねたところ、「骨折・転倒」と回答した人の割合が27.8%と最も高く、次いで、「高齢による衰弱」(22.2%)、「視覚・聴覚障害」(13.0%)と続いています。

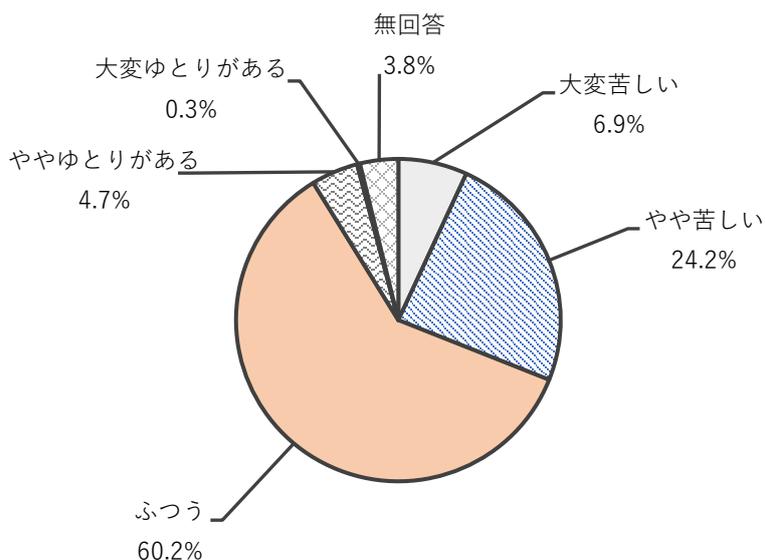
【(2)で「3」と答えた方(現在、何らかの介護を受けている方)のみ、お答えください。】

(2-2) 主にどなたの介護、介助を受けていますか。(いくつでも)



- (2)において「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方に、主にどなたの介護、介助を受けているかたずねたところ、「娘」と回答した人の割合が38.1%と最も高く、次いで、「配偶者(夫・妻)」(28.6%)、「息子」(23.8%)と続いています。

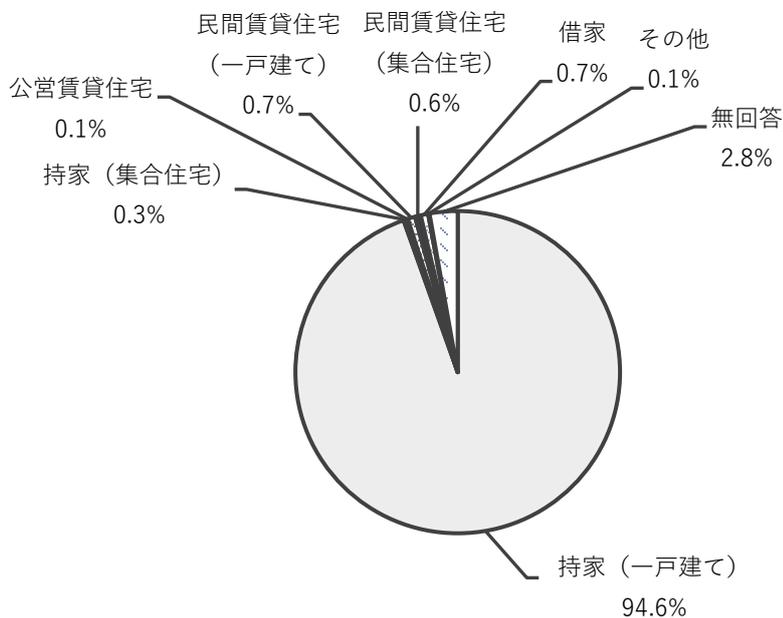
(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つだけ)



n=683

●経済的にみた現在の暮らしの状況について、「大変苦しい」と回答した人の割合は 6.9%、「やや苦しい」と回答した人の割合は 24.2%となっています。

(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(1つだけ)

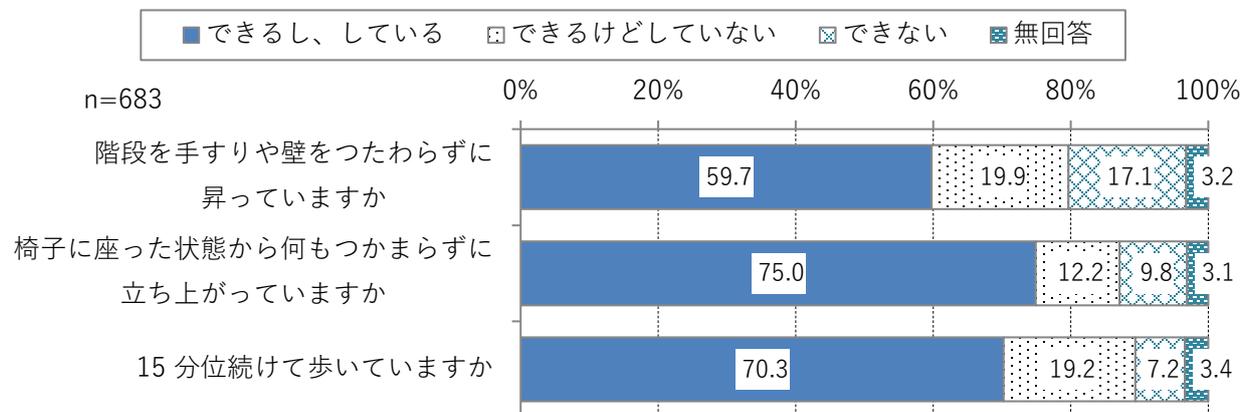


n=683

●お住まいについては、「持家 (一戸建て)」と回答した人の割合が 94.6%と、大半を占めています。

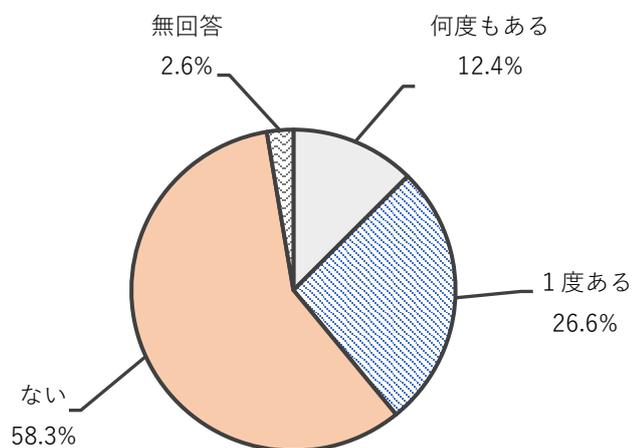
問2 からだを動かすことについて

- (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つだけ)
 (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つだけ)
 (3) 15分位続けて歩いていますか。(1つだけ)



- 運動器の機能に関する設問について、階段を手すりや壁をつたわずに昇っている人の割合は59.7%、椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっている人の割合は75.0%、15分位続けて歩いていると回答した人の割合は70.3%となっています。

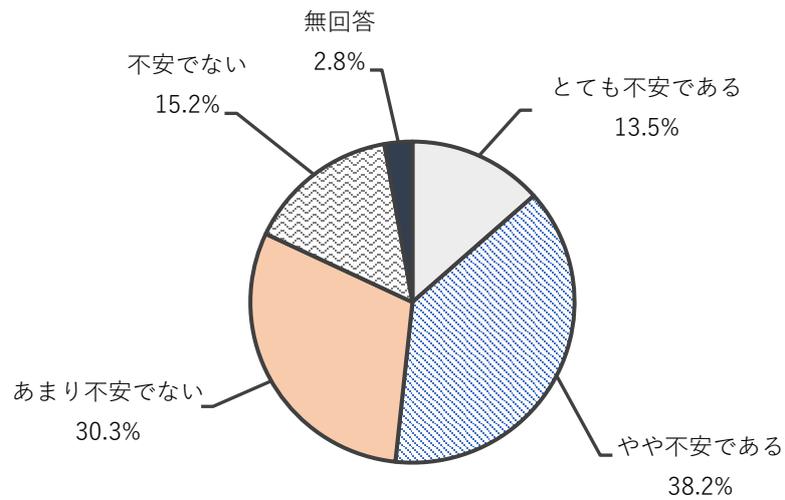
- (4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つだけ)



n=683

- 過去1年間に転んだことがある人の割合は39.0%となっています。

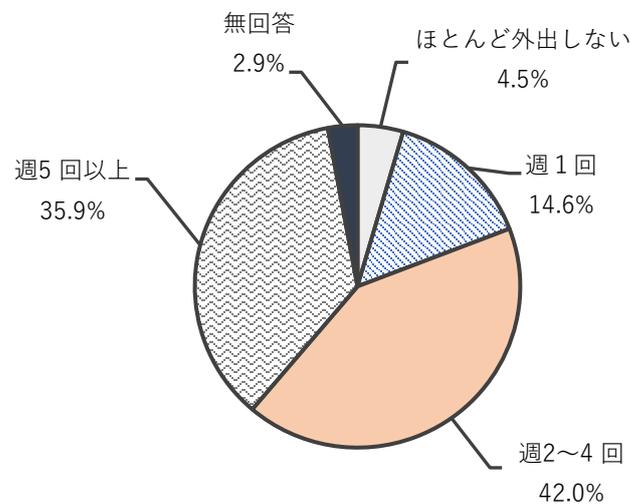
(5) 転倒に対する不安は大きいですか。(1つだけ)



n=683

●転倒に対して「とても不安である」「やや不安である」と回答した人の割合は51.7%となっています。

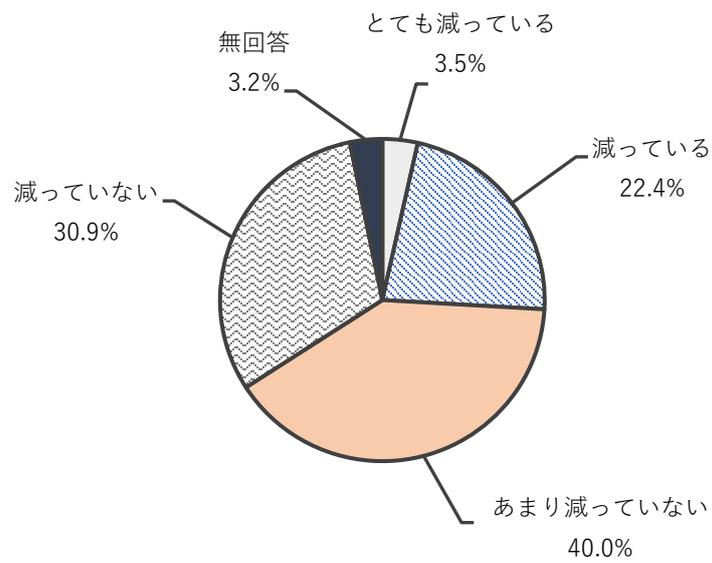
(6) 週に1回以上は外出していますか。(1つだけ)



n=683

●週に1回以上外出している人の割合は92.5%となっています。

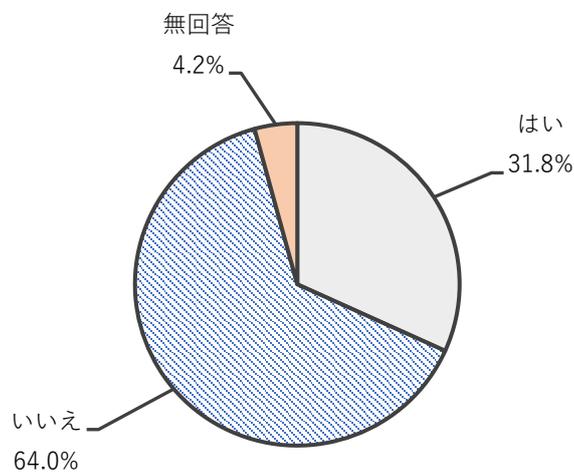
(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つだけ)



n=683

●昨年と比べて外出の回数が減っている(「とても減っている」+「減っている」)人の割合は25.9%となっています。

(8) 外出を控えていますか。(1つだけ)

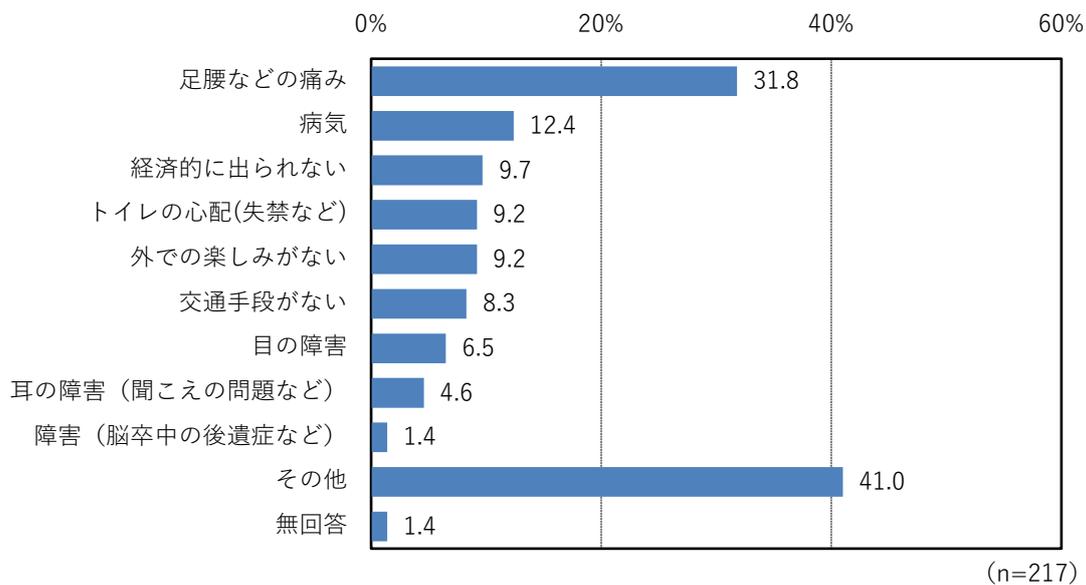


n=683

●外出を控えている人の割合は31.8%となっています。

【(8)で「1」と答えた方(外出を控えている方)のみ、お答えください。】

(8-1) 外出を控えている理由は、次のどれですか。(いくつでも)



- (8)で「はい」(外出を控えている)と回答した方に、外出を控えている理由をたずねたところ、「足腰などの痛み」と回答した人の割合が31.8%と最も高く、次いで、「病気」(12.4%)、「経済的に出られない」(9.7%)と続いています。また、「その他」の割合が41.0%と高くなっていますが、その大半は「コロナ」が理由となっていました。

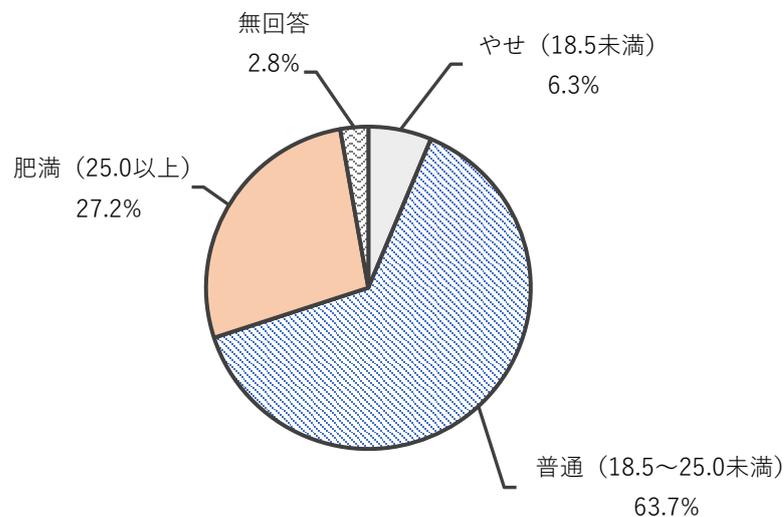
(9) 外出する際の移動手段は何ですか (いくつでも)

(%)		徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす (カート)	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
全体 (n=683)		28.4	12.4	3.7	74.8	19.2	3.1	0.9	0.1	0.3	0.3	0.7	4.7	1.3	5.6
性別	男性 (n=315)	29.2	14.3	3.8	83.5	10.2	4.1	0.0	0.0	0.3	0.3	0.6	2.2	0.6	6.0
	女性 (n=368)	27.7	10.9	3.5	67.4	26.9	2.2	1.6	0.3	0.3	0.3	0.8	6.8	1.9	5.2
年齢	65～69歳 (n=124)	32.3	16.1	1.6	87.9	4.8	4.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.8	4.8
	70～74歳 (n=211)	26.5	11.4	4.7	82.5	16.1	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	6.2
	75～79歳 (n=170)	28.2	12.4	2.9	85.9	16.5	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.6	4.1
	80～84歳 (n=87)	34.5	14.9	5.7	51.7	32.2	4.6	2.3	0.0	0.0	1.1	0.0	8.0	2.3	6.9
	85歳以上 (n=91)	22.0	7.7	3.3	40.7	38.5	2.2	3.3	1.1	2.2	1.1	5.5	18.7	5.5	6.6
家族構成	1人暮らし (n=100)	23.0	8.0	5.0	71.0	16.0	1.0	2.0	0.0	0.0	1.0	1.0	9.0	4.0	6.0
	夫婦2人暮らし (n=271)	30.3	15.5	3.3	80.1	14.8	4.8	0.7	0.0	0.0	0.0	0.4	2.6	0.4	5.2
	息子・娘との2世帯 (n=176)	31.3	11.4	3.4	68.8	27.8	4.0	1.1	0.6	1.1	0.6	1.1	7.4	1.1	5.1
	その他 (n=120)	25.0	11.7	4.2	77.5	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	0.8	5.8

- 外出する際の移動手段については、「自動車(自分で運転)」と回答した人の割合が74.8%と最も高く、次いで、「徒歩」(28.4%)、「自動車(人に乗せてもらう)」(19.2%)と続いています。
- 性別にみると、男性の「自動車(自分で運転)」と回答した人の割合は、女性に比べ16.1ポイント高くなっている一方、女性の「自動車(人に乗せてもらう)」と回答した人の割合は、男性に比べ16.7ポイント高くなっています。
- 年齢階層別にみると、80歳以上になると「自動車(自分で運転)」と回答した人の割合が低くなる一方、「自動車(人に乗せてもらう)」と回答した人の割合は高くなっています。

問3 食べることについて

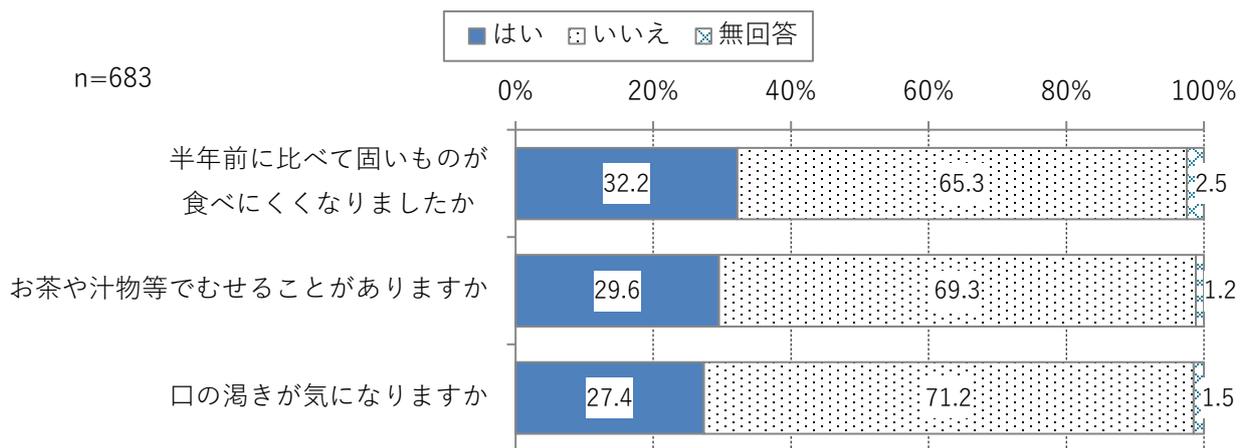
(1) 身長・体重を教えてください。



n=683

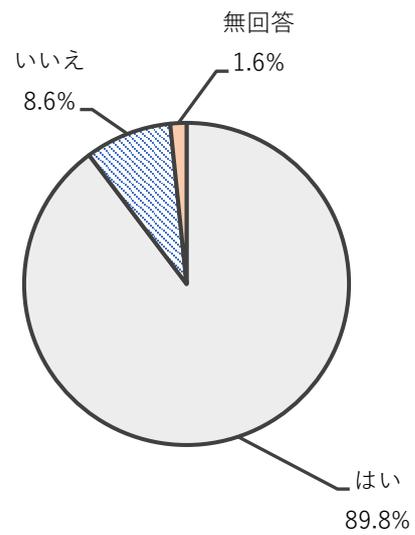
●回答のあった身長と体重からBMI値を算出したところ、「肥満 (25.0 以上)」は 27.2%、「やせ (18.5 未満)」は 6.3%となっています。

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つだけ)
 (3) お茶や汁物等でむせることがありますか。(1つだけ)
 (4) 口の渇きが気になりますか。(1つだけ)



●口腔機能に関し、半年前に比べて固いものが食べにくくなった人の割合は 32.2%、お茶や汁物等でむせることがある人の割合は 29.6%、口の渇きが気になる人の割合は 27.4%となっています。

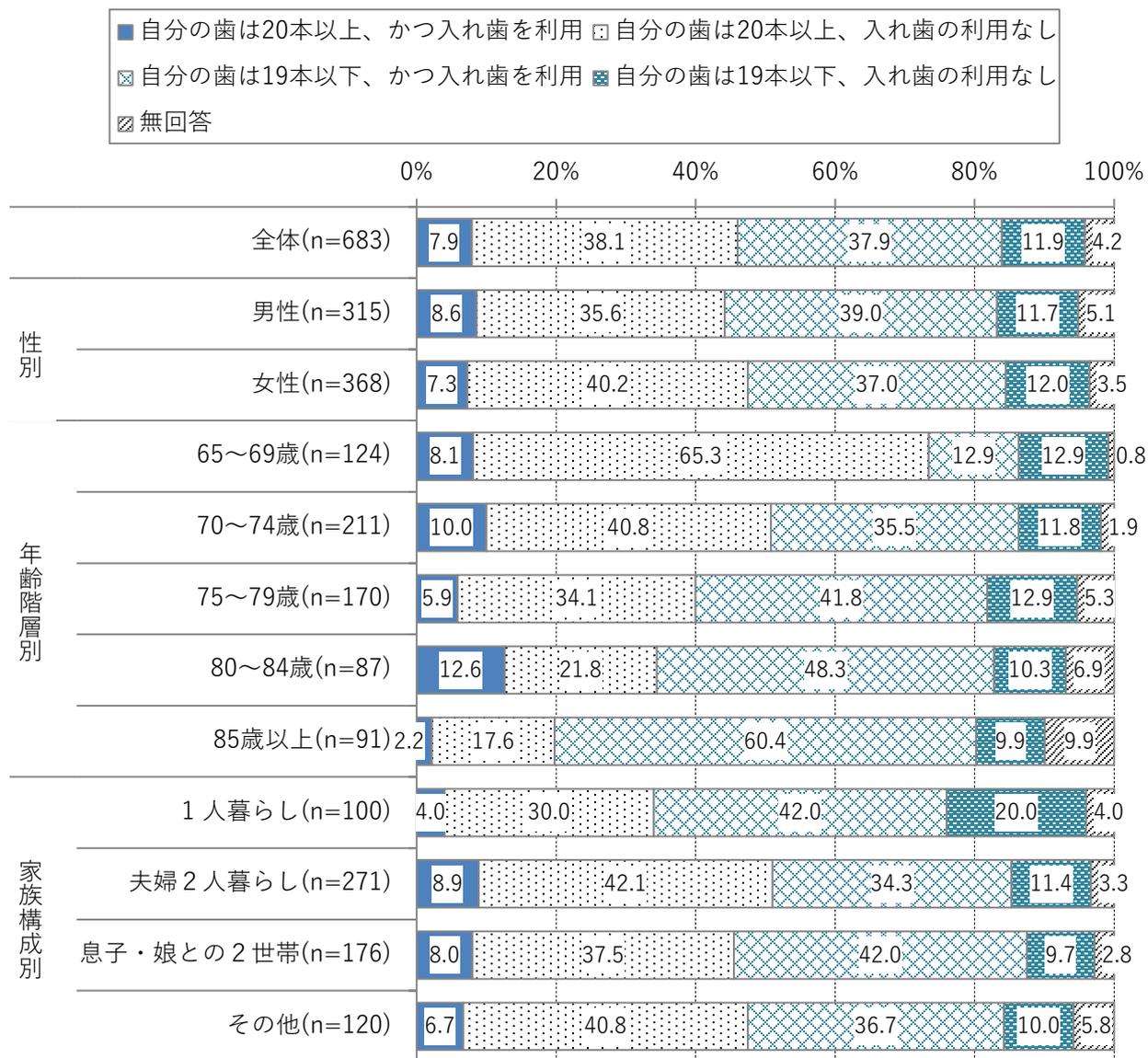
(5) 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（1つだけ）



n=683

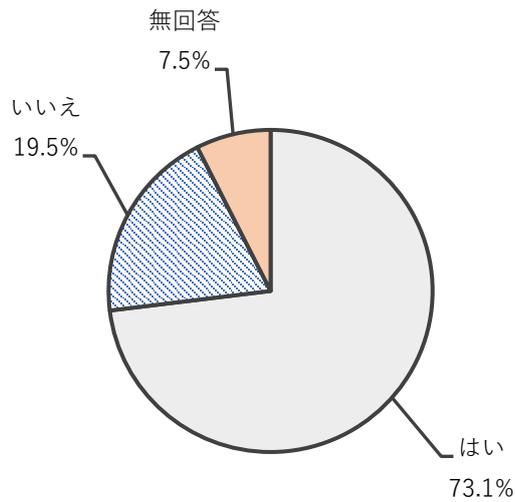
●歯磨きを毎日している人の割合は 89.8%となっています。

（６）歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。（１つだけ）（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です）



- 歯の数と入れ歯の利用状況について、「自分の歯は 20 本以上」と回答した人の割合は 46.0%、「入れ歯を利用」と回答した人の割合は 45.8%となっています。
- 年齢階層別にみると、『自分の歯は 20 本以上』と回答した人の割合は、80～84 歳で 34.4%、85 歳以上で 19.8%となっています。

(6-1) 噛み合わせは良いですか。(1つだけ)

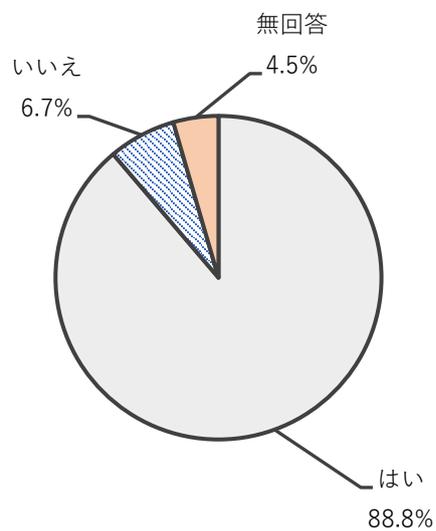


n=683

● 噛み合わせは良いと回答した人の割合は 73.1%となっています。

【(6) で「1」または「3」と答えた方 (入れ歯ありの方) のみ、お答えください。】

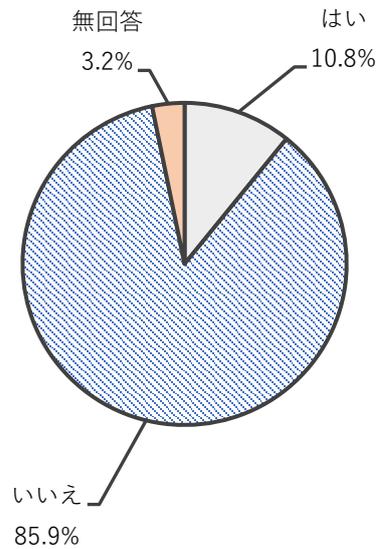
(6-2) 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(1つだけ)



n=313

● (6) で「入れ歯を利用」していると回答した人のうち、毎日入れ歯の手入れをしていると回答した人の割合は 88.8%となっています。

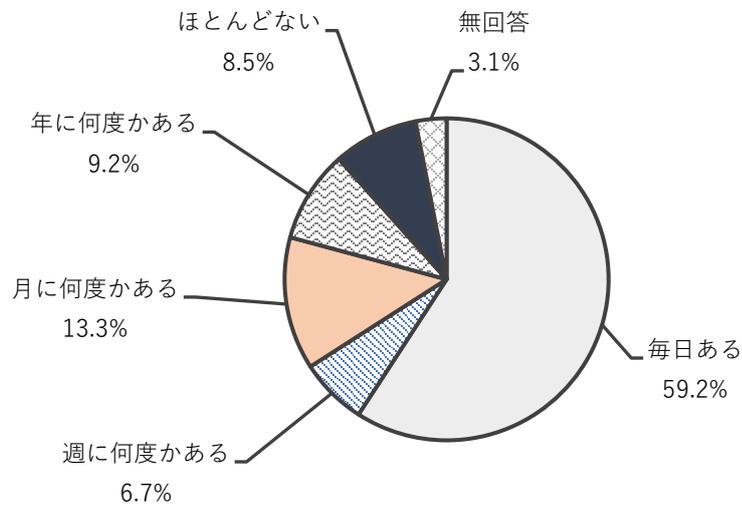
(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(1つだけ)



n=683

● 6か月間で2～3kg以上の体重減少があったと回答した人の割合は10.8%となっています。

(8) どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(1つだけ)

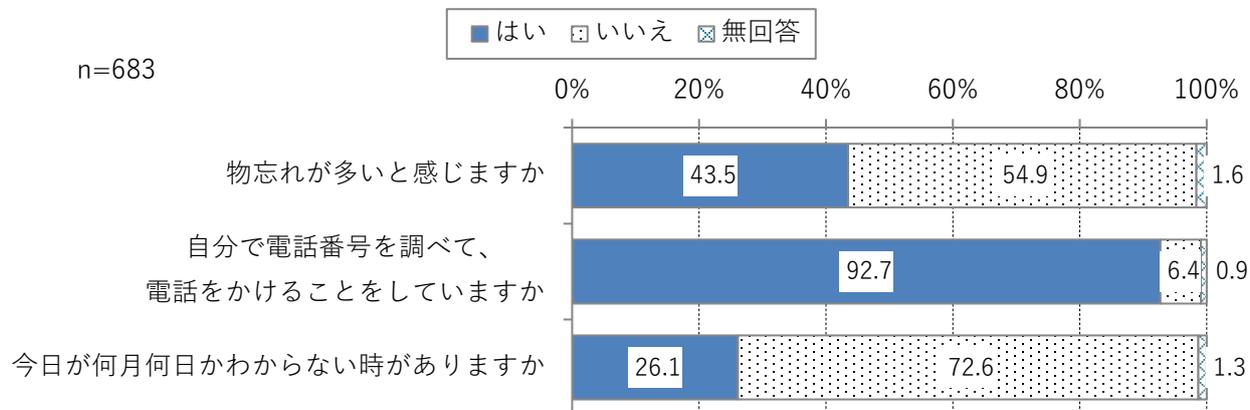


n=683

● だれかと食事をとにもする機会が「ほとんどない」と回答した人の割合は8.5%となっています。

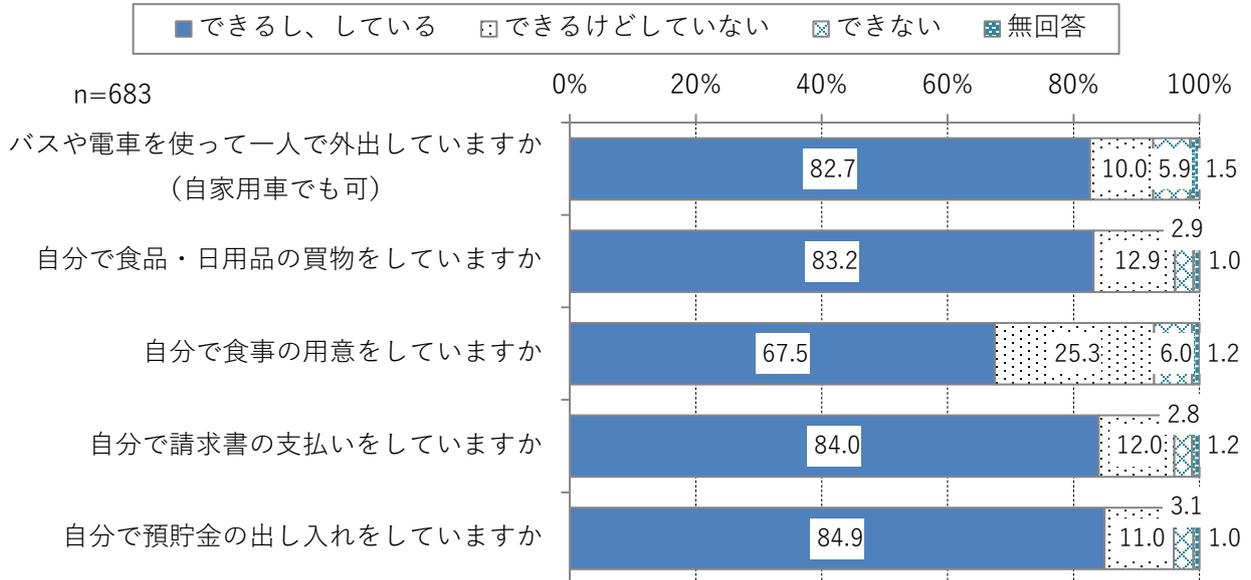
問4 毎日の生活について

- (1) 物忘れが多いと感じますか。(1つだけ)
(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(1つだけ)
(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか。(1つだけ)



- 認知機能に関する設問について、「物忘れが多いと感じる」と回答した人の割合は43.5%、「自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしている」と回答した人の割合は92.7%、「今日が何月何日かわからない時がある」と回答した人の割合は26.1%となっています。

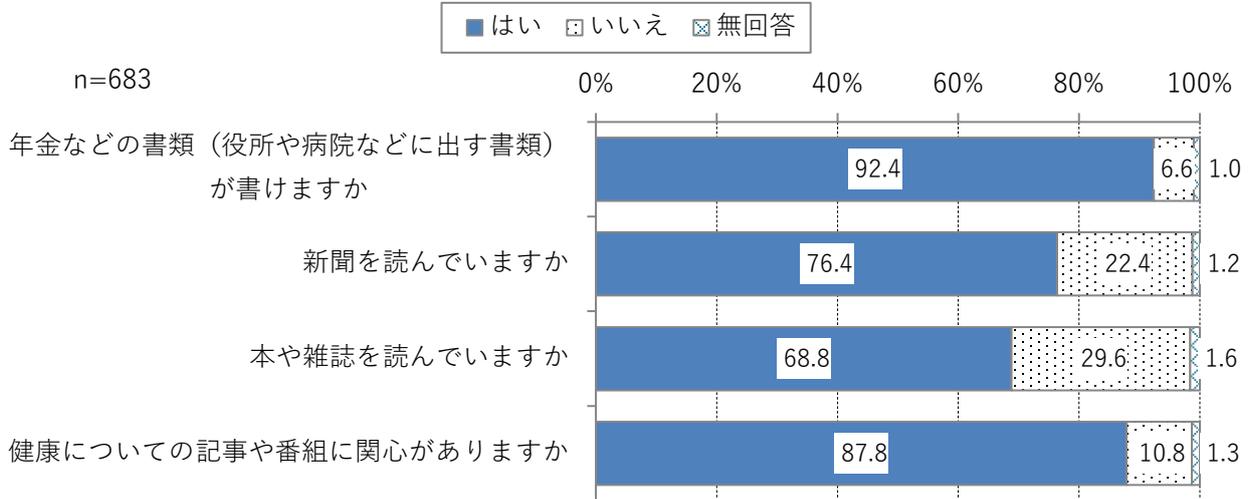
- (4) バスや電車を使って一人で外出していますか（自家用車でも可）。（1つだけ）
 (5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。（1つだけ）
 (6) 自分で食事の用意をしていますか。（1つだけ）
 (7) 自分で請求書の支払いをしていますか。（1つだけ）
 (8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。（1つだけ）



● IADLに関する設問について、バスや電車を使って一人で外出「できない」と回答した人の割合9.4%、自分で食品・日用品の買物を「できない」と回答した人の割合は2.9%、自分で食事の用意を「できない」と回答した人の割合は6.0%、自分で請求書の支払いを「できない」と回答した人の割合は2.8%、自分で預貯金の出し入れを「できない」と回答した人の割合は3.1%となっています。

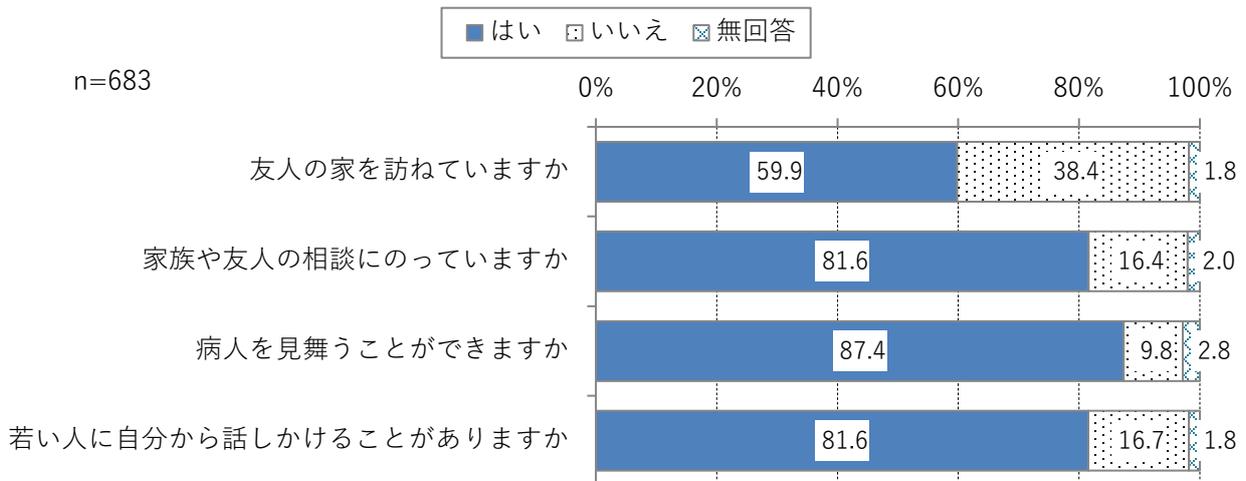
※ IADLとは、「手段的日常生活動作（手段的ADL）」と呼ばれており、ADLは「基本的な動作」のことで、着替えやトイレ動作、歩くことなど、身の回り動作・移動動作をどの程度行えるかを示す一方、IADLは「応用的な動作」のことで、買い物、調整、洗濯、電話、薬の管理、財産管理、乗り物等の日常生活上の複雑な動作がどの程度行えるかを示すものです。

- (9) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。（1つだけ）
 (10) 新聞を読んでいますか。（1つだけ）
 (11) 本や雑誌を読んでいますか。（1つだけ）
 (12) 健康についての記事や番組に関心がありますか。（1つだけ）



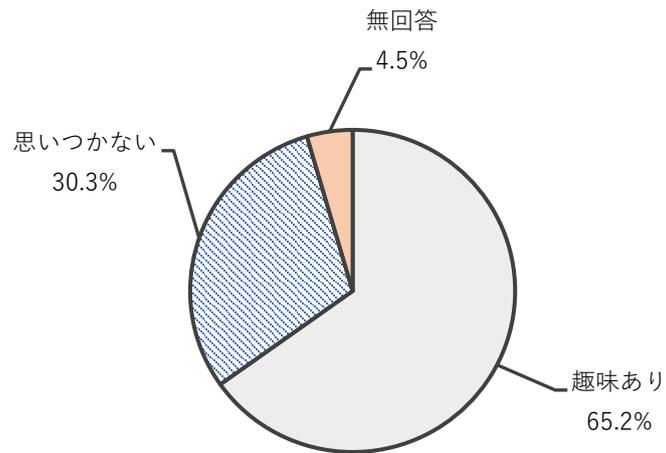
●知的能動性に関する設問について、年金などの書類（町役場や病院などに出す書類）が書けないと回答した人の割合は 6.6%、新聞を読んでいないと回答した人の割合は 22.4%、本や雑誌を読んでいないと回答した人の割合は 29.6%、健康についての記事や番組に関心がないと回答した人の割合は 10.8%となっています。

- (13) 友人の家を訪ねていますか。（1つだけ）
 (14) 家族や友人の相談にのっていますか。（1つだけ）
 (15) 病人を見舞うことができますか。（1つだけ）
 (16) 若い人に自分から話しかけることがありますか。（1つだけ）



●社会的役割に関する設問について、友人の家を訪ねていないと回答した人の割合は 38.4%、家族や友人の相談にのっていないと回答した人の割合は 16.4%、病人を見舞うことができないと回答した人の割合は 9.8%、若い人に自分から話しかけることがないと回答した人の割合は 16.7%となっています。

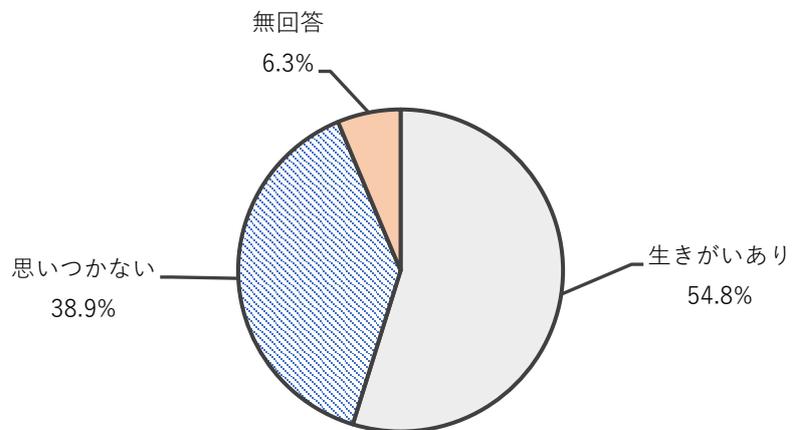
(17) 趣味はありますか。(1つだけ)



n=683

- 「趣味あり」と回答した人の割合は 65.2%となっています。

(18) 生きがいがありますか

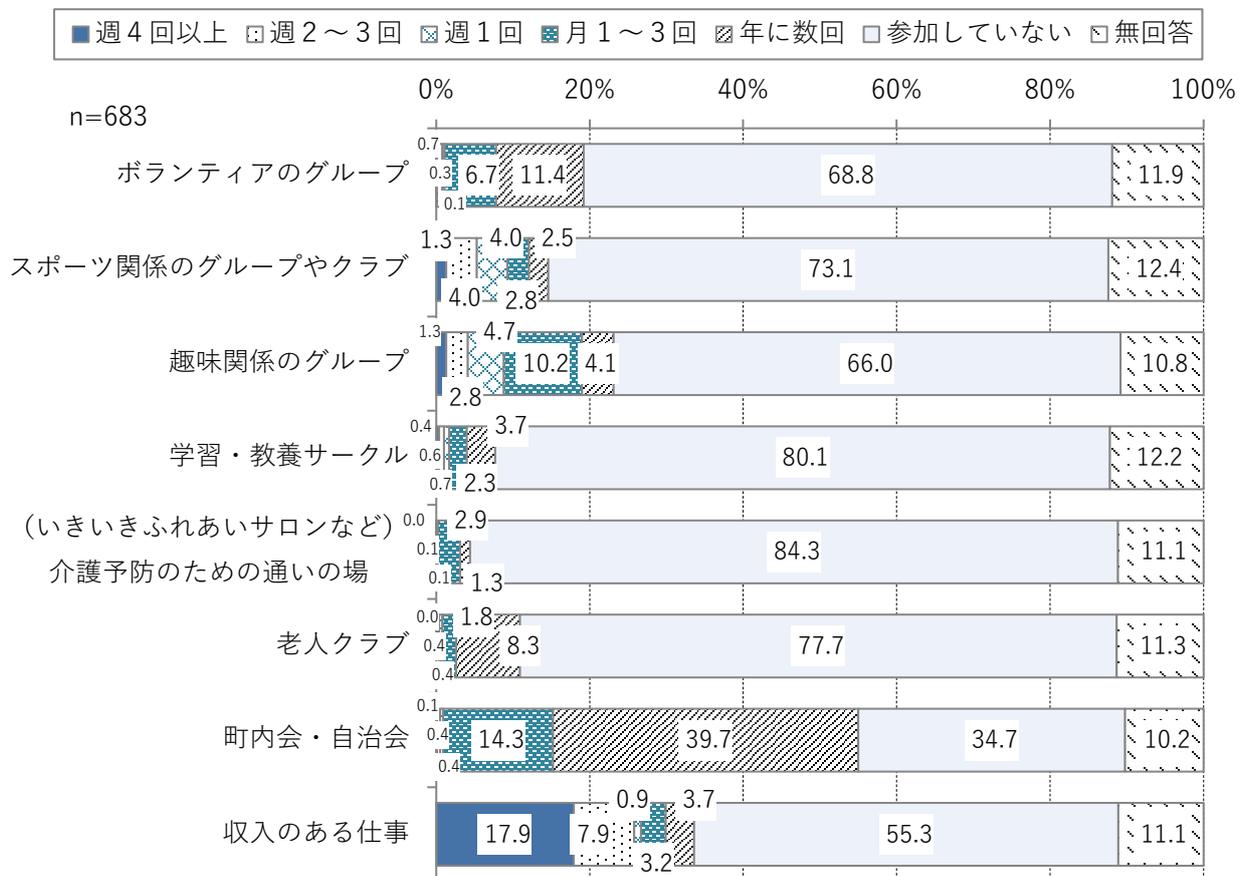


n=683

- 「生きがいあり」と回答した人の割合は 54.8%となっています。

問5 地域での活動について

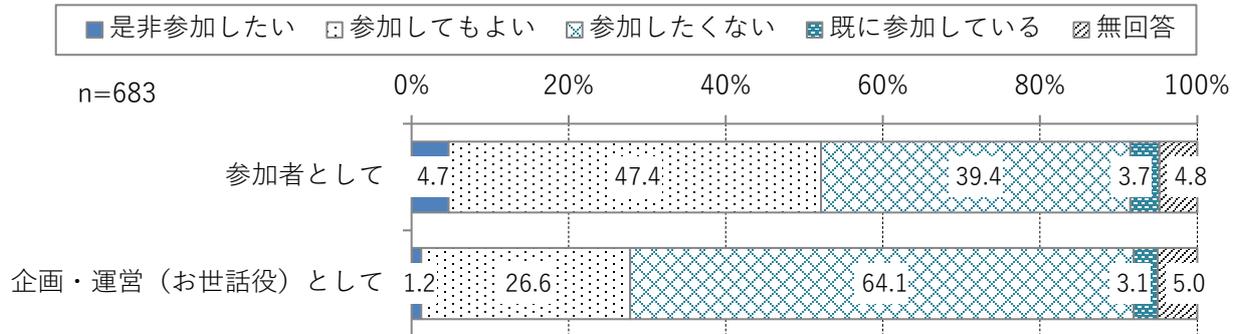
(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか



- 会・グループ等の参加状況をたずねたところ、年に数回以上参加していると回答した人の割合は、「町内会・自治会」が 54.9% と最も高く、次いで、「収入のある仕事」(33.6%)、「趣味関係のグループ」(23.1%) と続いています。

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つだけ)

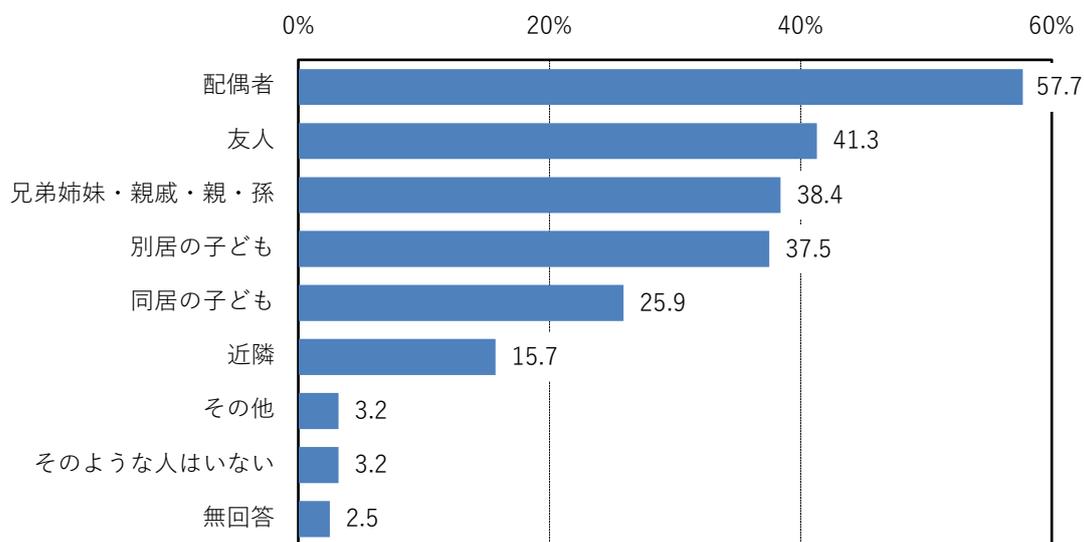
(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(1つだけ)



●健康づくり活動や趣味等のグループ活動に参加者として、「是非参加したい」または「参加してもよい」と回答した人の割合は52.1%、企画・運営(お世話役)として「既に参加している」または「参加してもよい」と回答した人の割合は27.8%となっています。

問6 たすけあいについて

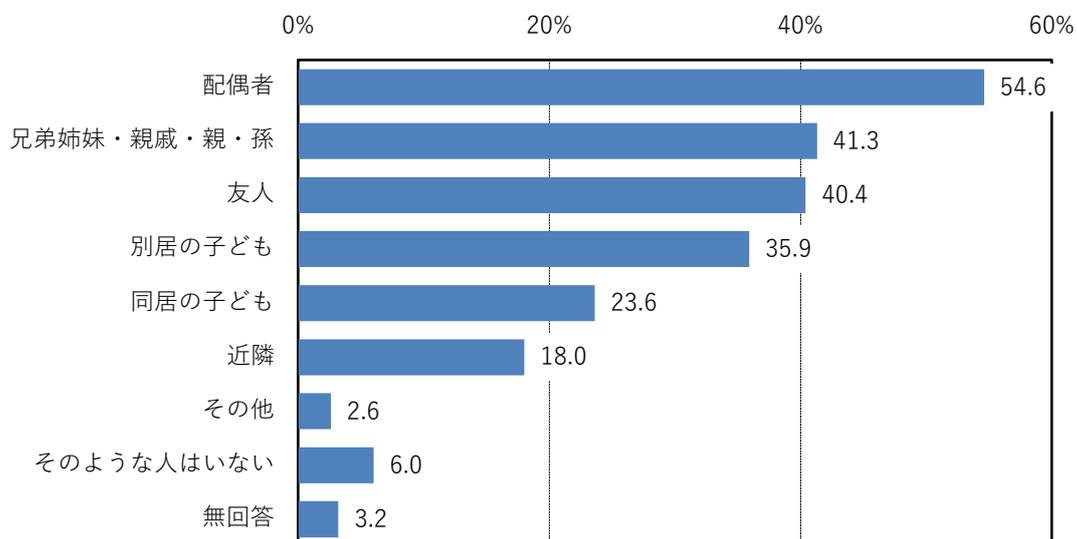
(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人。(いくつでも)



(n=683)

- 回答者の心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人としては、「配偶者」と回答した人の割合が 57.7% と最も高く、次いで「友人」(41.3%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(38.4%)、「別居の子ども」(37.5%) と続いています。

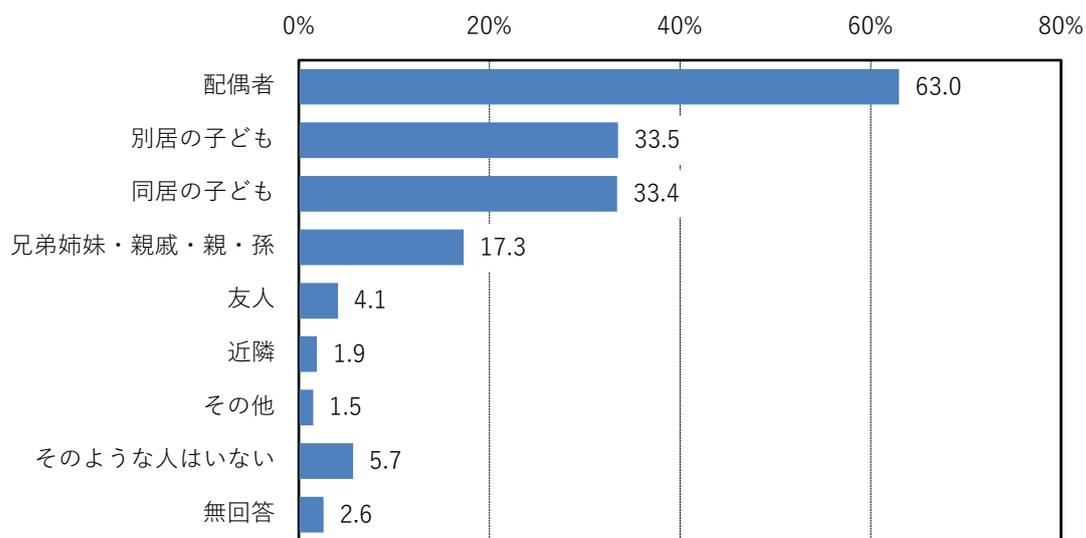
(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人。(いくつでも)



(n=683)

- 回答者が心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人としては、「配偶者」と回答した人の割合が 54.6% と最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(41.3%)、「友人」(40.4%)、「別居の子ども」(35.9%) と続いています。

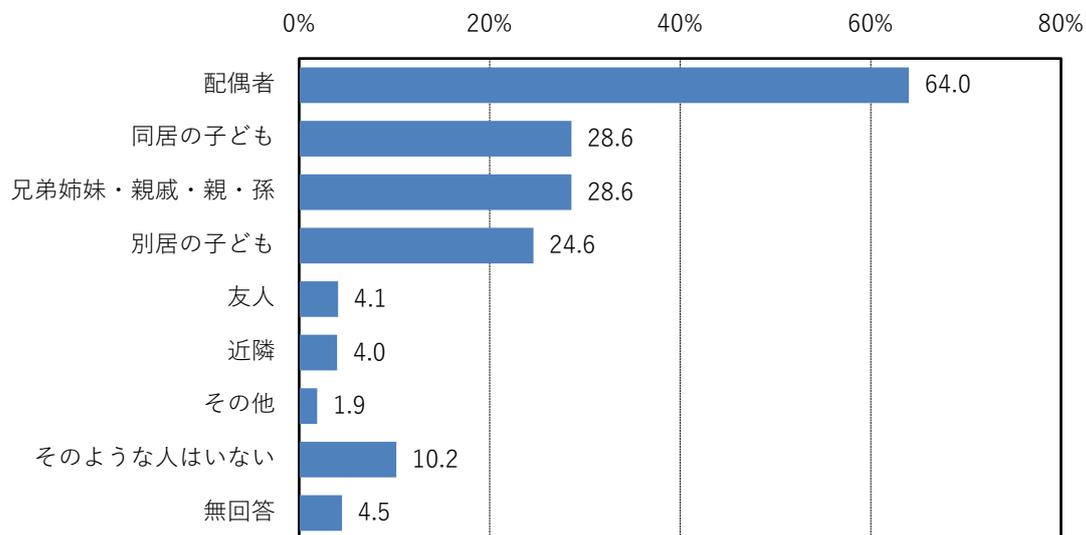
(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。(いくつでも)



(n=683)

- 回答者が病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人としては、「配偶者」と回答した人の割合が63.0%と最も高く、次いで「別居の子ども」(33.5%)、「同居の子ども」(33.4%)と続いています。

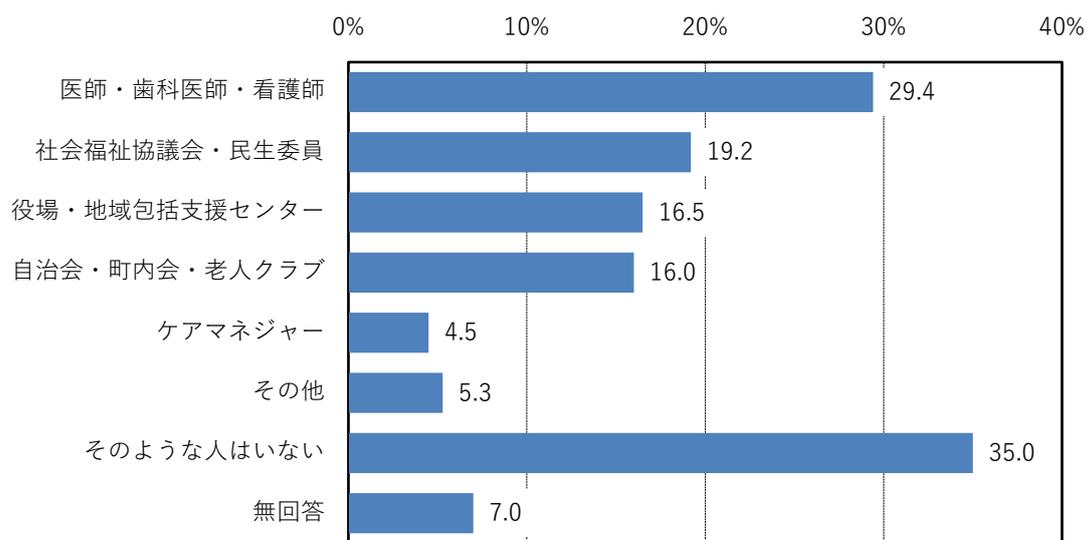
(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人。(いくつでも)



(n=683)

- 看病や世話をしてあげる人としては、「配偶者」と回答した人の割合が64.0%と最も高く、次いで「同居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(ともに28.6%)、「別居の子ども」(24.6%)と続いています。

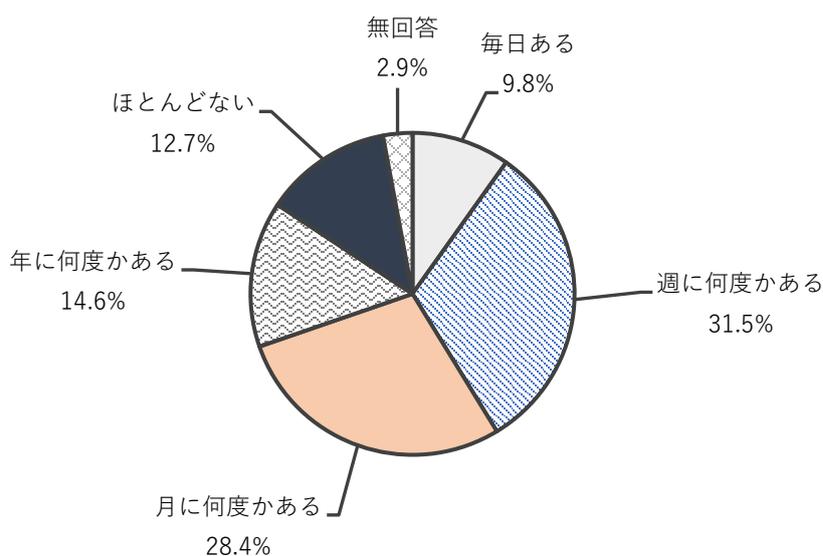
(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(いくつでも)



(n=683)

- 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手については、「そのような人はいない」と回答した人の割合が 35.0%となっており、これと無回答 (7.0%) を除く 58.0%の人は何かしらの相談相手がいると回答しています。
- 相談する相手としては、「医師・歯科医師・看護師」と回答した人の割合が 29.4%と最も高く、次いで「社会福祉協議会・民生委員」(19.2%)、「役場・地域包括支援センター」(16.5%)、「自治会・町内会・老人クラブ」(16.0%)と続いています。

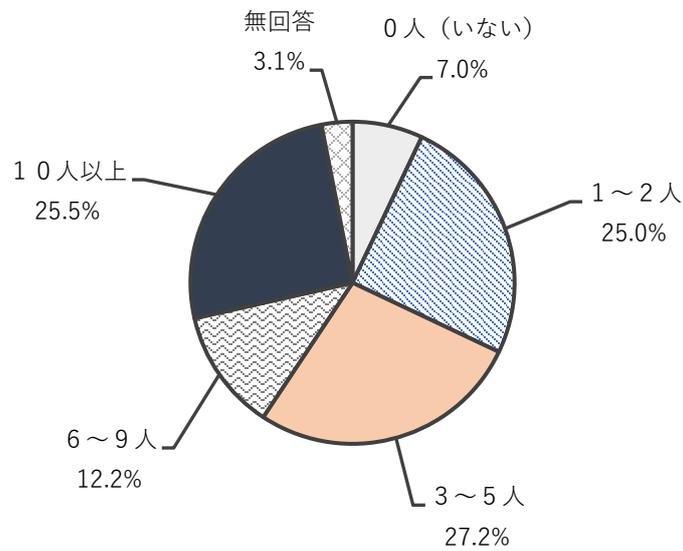
(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(1つだけ)



n=683

- 友人・知人と会う頻度については、「週に何度かある」と回答した人の割合が 31.5%と最も高く、次いで、「月に何度かある」(28.4%)、「年に何度かある」(14.6%)と続いています。

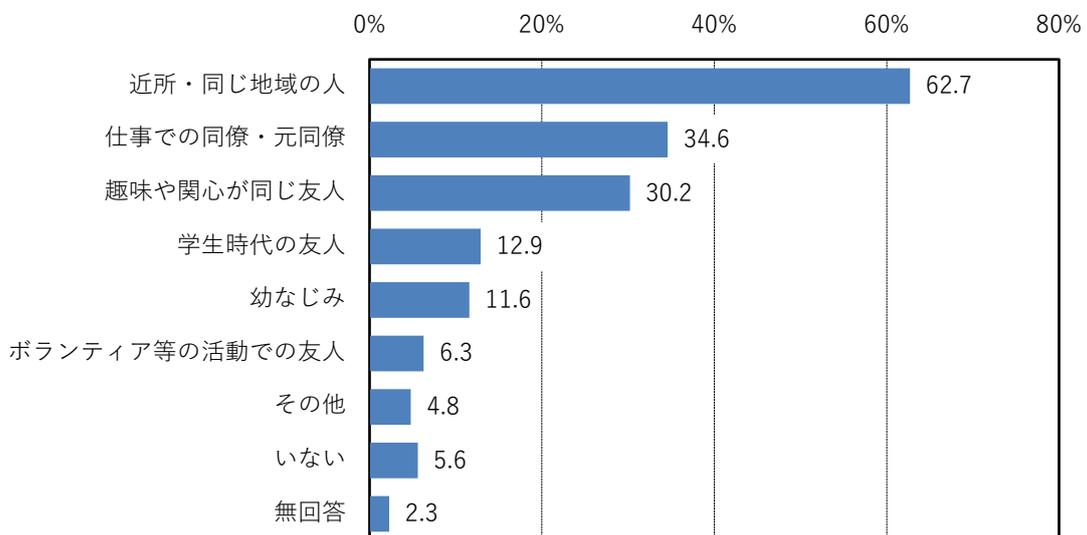
(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(1つだけ)



n=683

●この1か月間、会った友人・知人の人数については、「3~5人」と回答した人の割合が27.2%と最も高く、次いで、「10人以上」(25.5%)、「1~2人」(25.0%)と続いています。

(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)

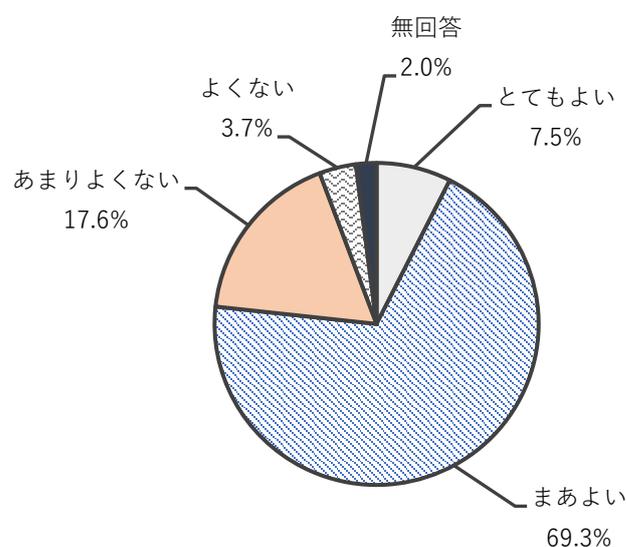


(n=683)

●よく会う友人・知人との関係については、「近所・同じ地域の人」と回答した人の割合が62.7%と最も高く、次いで、「仕事での同僚・元同僚」(34.6%)、「趣味や関心が同じ友人」(30.2%)と続いています。

問7 健康について

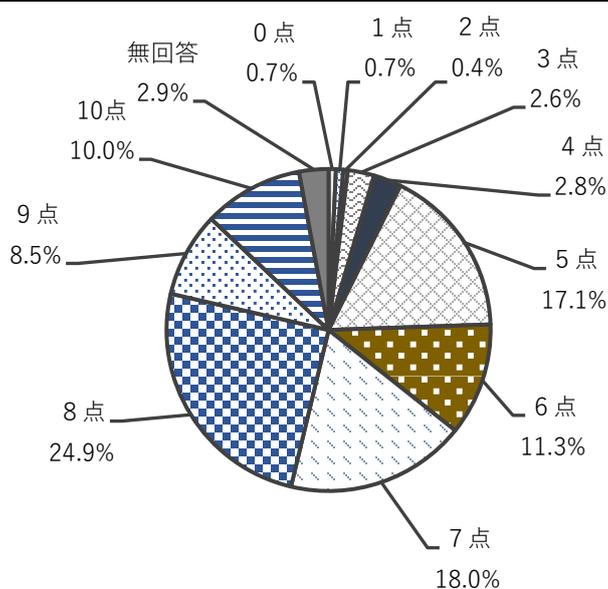
(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つだけ)



n=683

- 現在の健康状態について、「とてもよい」または「まあよい」と回答した人の割合は76.8%、「あまりよくない」または「よくない」と回答した人の割合は21.3%となっています。

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。(1つだけ) (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

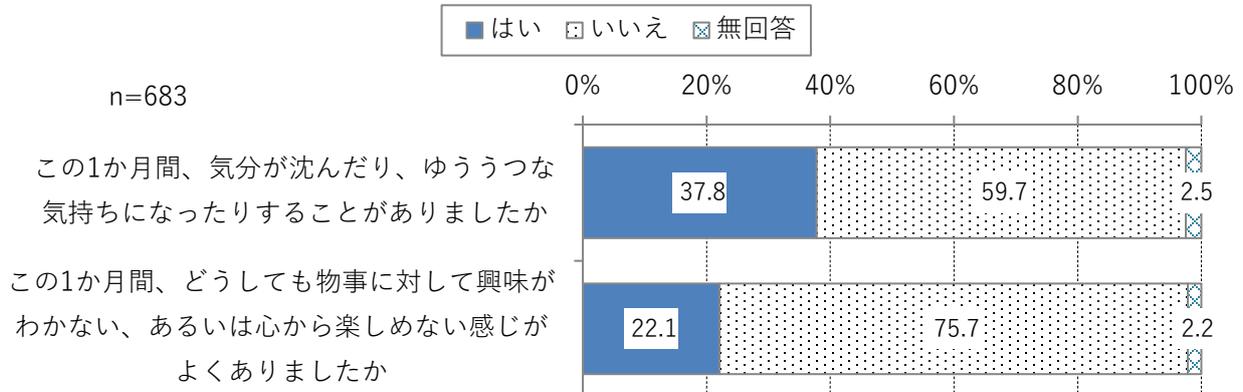


n=683

- 現在の幸せの程度については、10点満点で「8点」と回答した人の割合が24.9%と最も高く、次いで、「7点」(18.0%)、「5点」(17.1%)と続いています。平均点は7.95点でした。

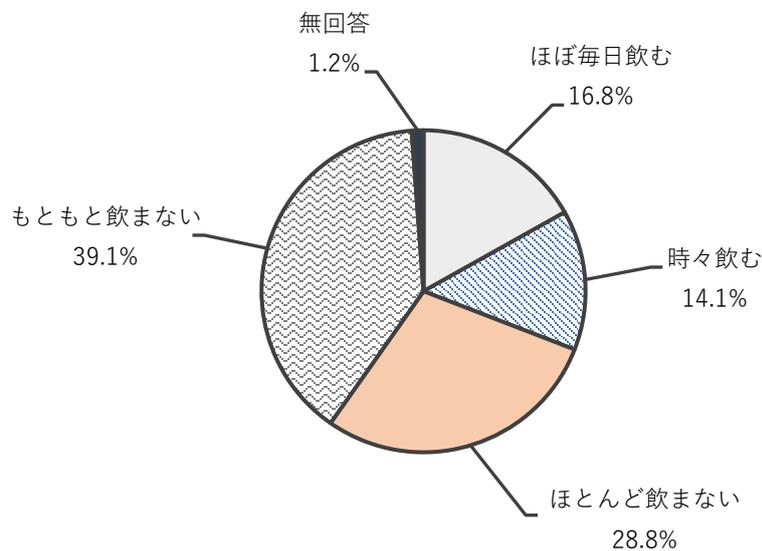
(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(1つだけ)

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つだけ)



●この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったと回答した人の割合は37.8%、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったと回答した人の割合は22.1%となっています。

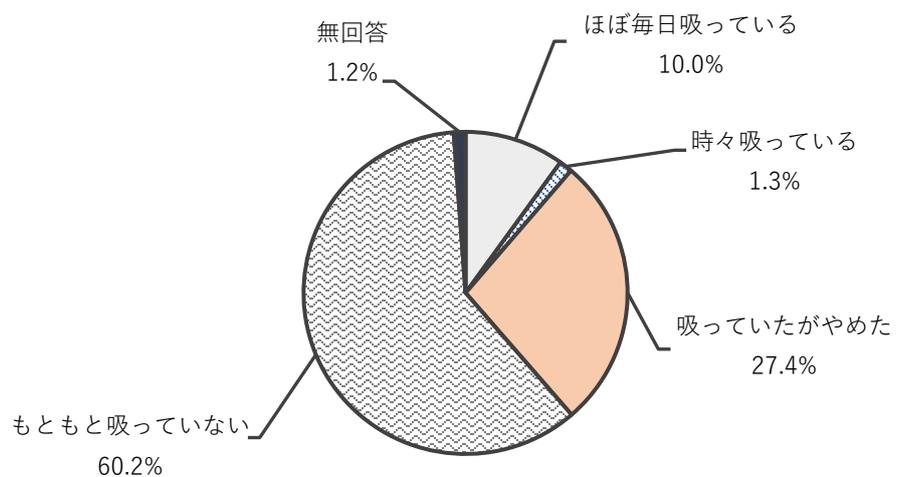
(5) お酒は飲みますか。(1つだけ)



n=683

●お酒を飲む頻度については、「もともと飲まない」と回答した人の割合が39.1%と最も高く、次いで、「ほとんど飲まない」(28.8%)、「ほぼ毎日飲む」(16.8%)と続いています。

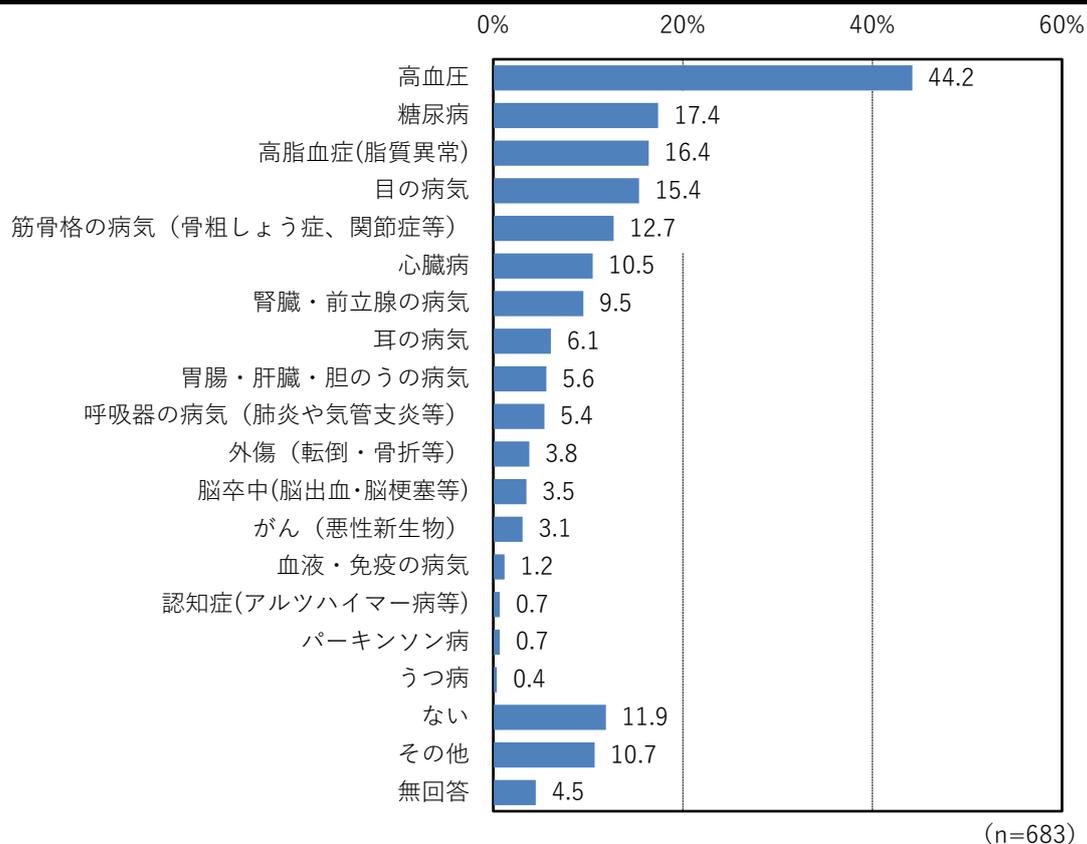
(6) タバコは吸っていますか。(1つだけ)



n=683

●喫煙状況については、「もともと吸っていない」と回答した人の割合が60.2%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」(27.4%)、「ほぼ毎日吸っている」(10.0%)と続いています。

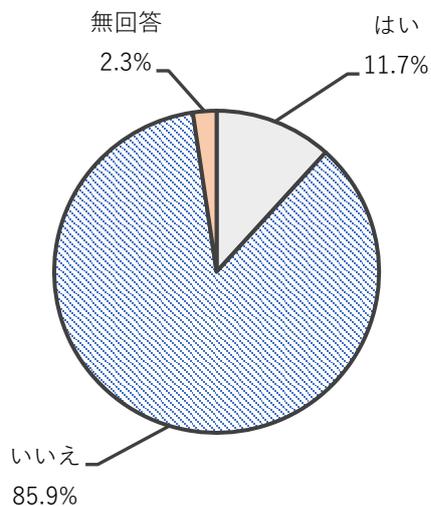
(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも)



- 現在治療中、または後遺症のある病気については、「高血圧」と回答した人の割合が 44.2%と最も高く、次いで、「糖尿病」(17.4%)、「高脂血症(脂質異常)」(16.4%)と続いています。

問8 認知症にかかる相談窓口の把握について

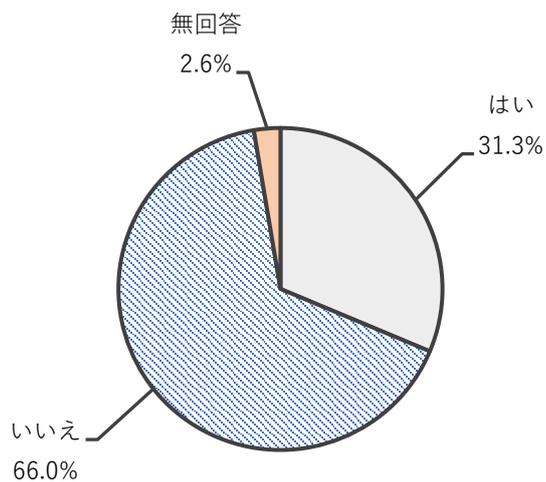
(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つだけ)



n=683

●認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいると回答した人の割合は 11.7%となっています。

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つだけ)

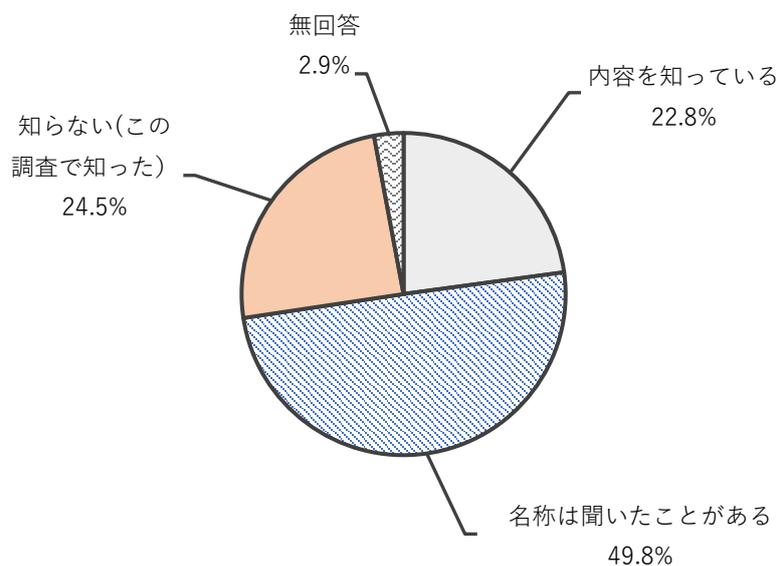


n=683

●認知症に関する相談窓口を知っていると回答した人の割合は 31.3%、知らないと回答した人の割合は 66.0%となっています。

問9 権利擁護について

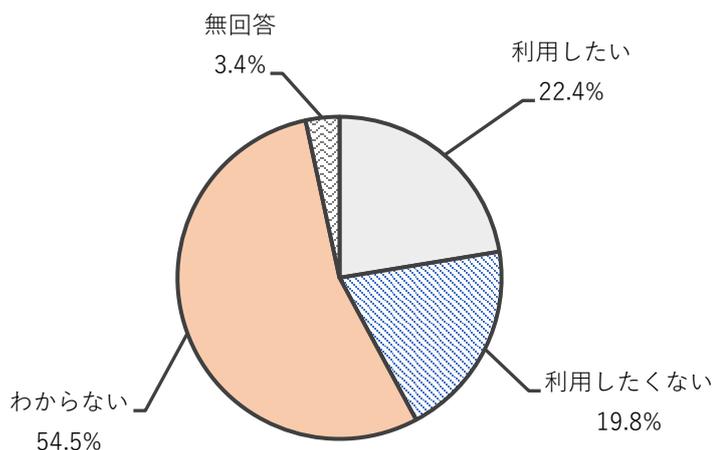
(1) あなたは「成年後見制度」をご存じですか。(1つだけ)



n=683

- 成年後見制度について「内容を知っている」と回答した人の割合は 22.8%、「名称は聞いたことがある」と回答した人の割合は 49.8%となっています。

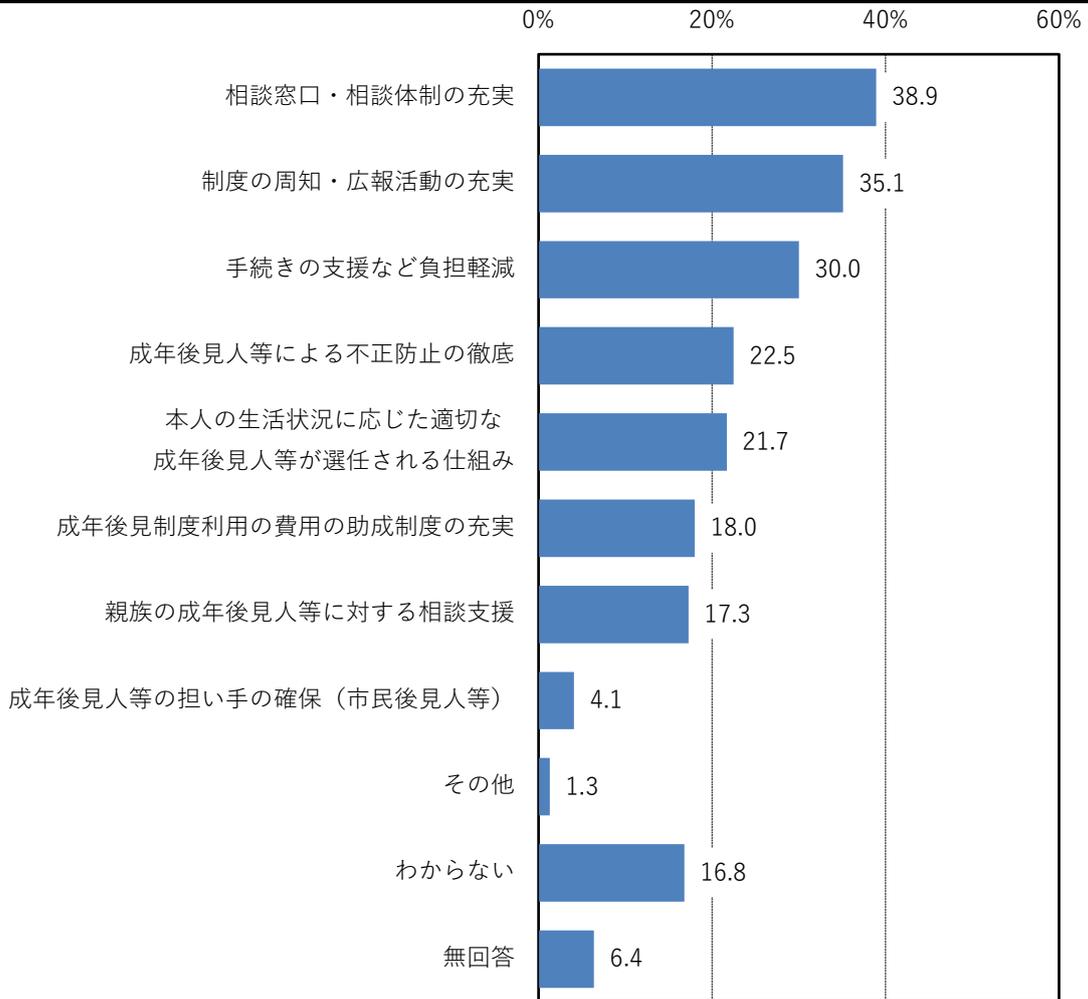
(2) あなたは、あなた自身や親族が認知症などにより判断能力が十分でなくなったとき、「成年後見制度」を利用したいと思いますか。(1つだけ)



n=683

- 回答者や親族が認知症などにより判断能力が十分でなくなったとき、成年後見制度を「利用したい」と回答した人の割合は 22.4%にとどまっており、「わからない」と回答した人の割合が 54.5%と最も高くなっています。

(3) 今後「成年後見制度」について利用の促進・充実を図っていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

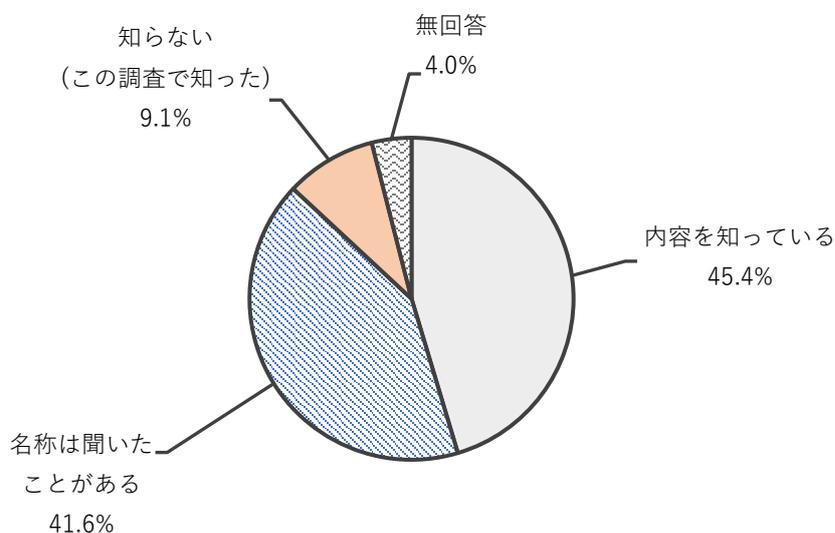


(n=683)

●成年後見制度の利用を促進・充実するために必要なことについては、「相談窓口・相談体制の充実」と回答した人の割合が38.9%と最も高く、次いで、「制度の周知・広報活動の充実」(35.1%)、「手続きの支援など負担軽減」(30.0%)と続いています。

問 10 高齢者虐待について

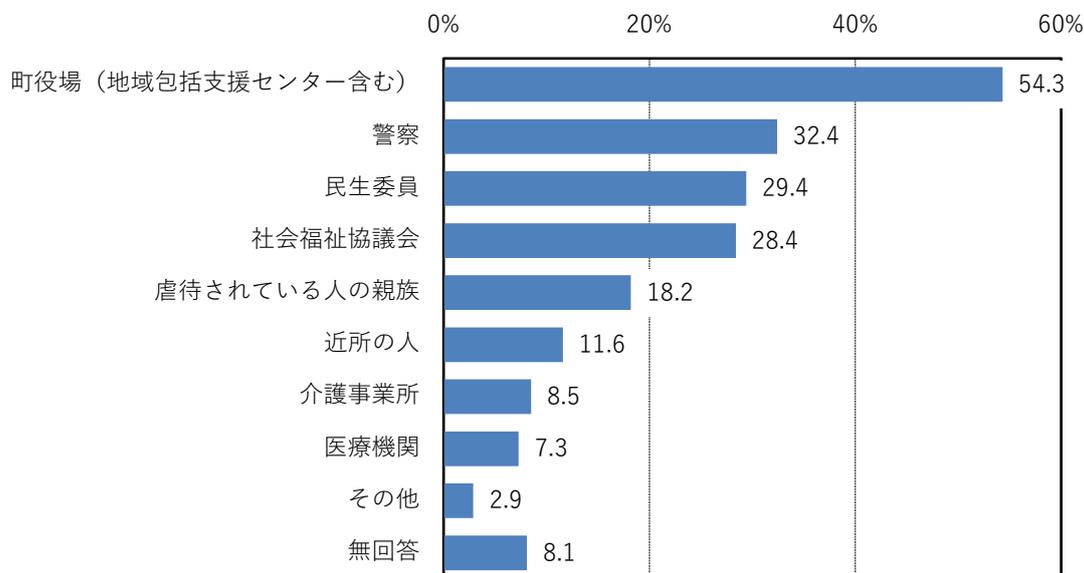
(1) あなたは「高齢者虐待」について知っていますか。



n=683

- 高齢者虐待について「内容を知っている」と回答した人の割合は 45.4%、「名称は聞いたことがある」と回答した人の割合は 41.6%となっています。

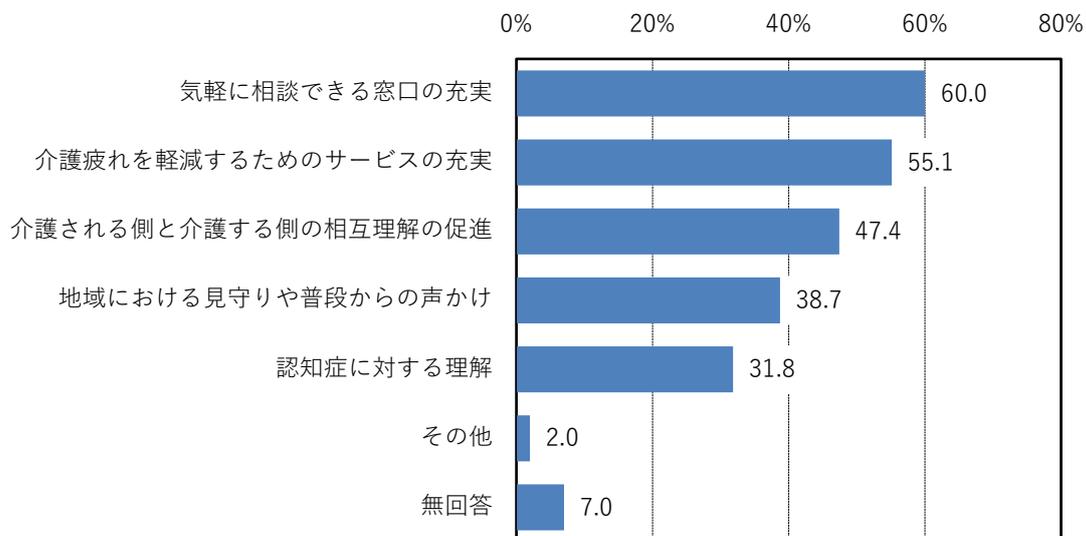
(2) あなたは「高齢者虐待」を疑ったときに、どこに相談しますか。(○は3つまで)



(n=683)

- 高齢者虐待を疑ったときに、相談する場所については、「町役場 (地域包括支援センター含む)」と回答した人の割合が 54.3%と最も高く、次いで、「警察」(32.4%)、「民生委員」(29.4%)、「社会福祉協議会」(28.4%)と続いています。

(3) あなたは「高齢者虐待」を防止するために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

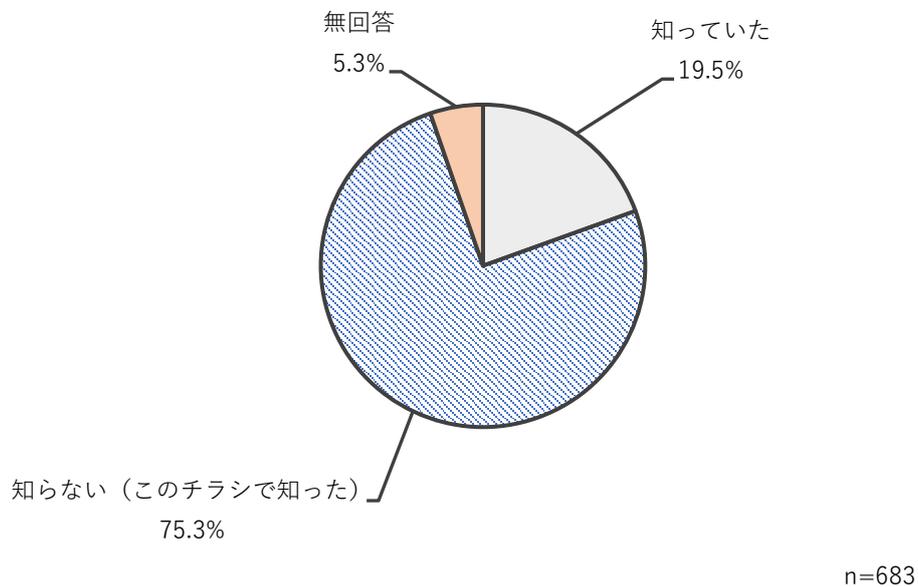


(n=683)

- 高齢者虐待を防止するために必要なこととしては、「気軽に相談できる窓口の充実」と回答した人の割合が60.0%と最も高く、次いで、「介護疲れを軽減するためのサービスの充実」(55.1%)、「介護される側と介護する側の相互理解の促進」(47.4%)と続いています。

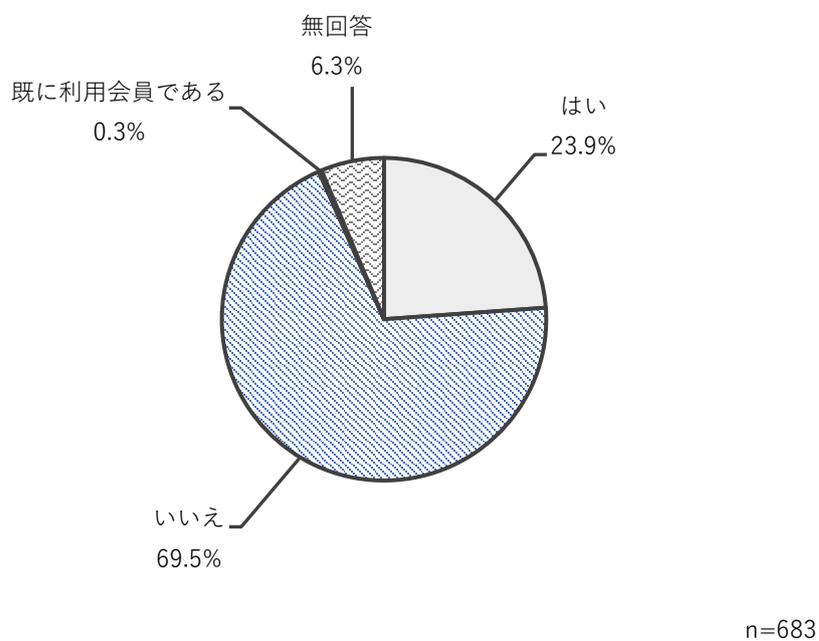
問 11 まんのうささえあいサービスについて

(1) アンケートに同封している「まんのうささえあいサービス」を知っていましたか。



●まんのうささえあいサービスを「知っていた」と回答した人の割合は 19.5%となっています。

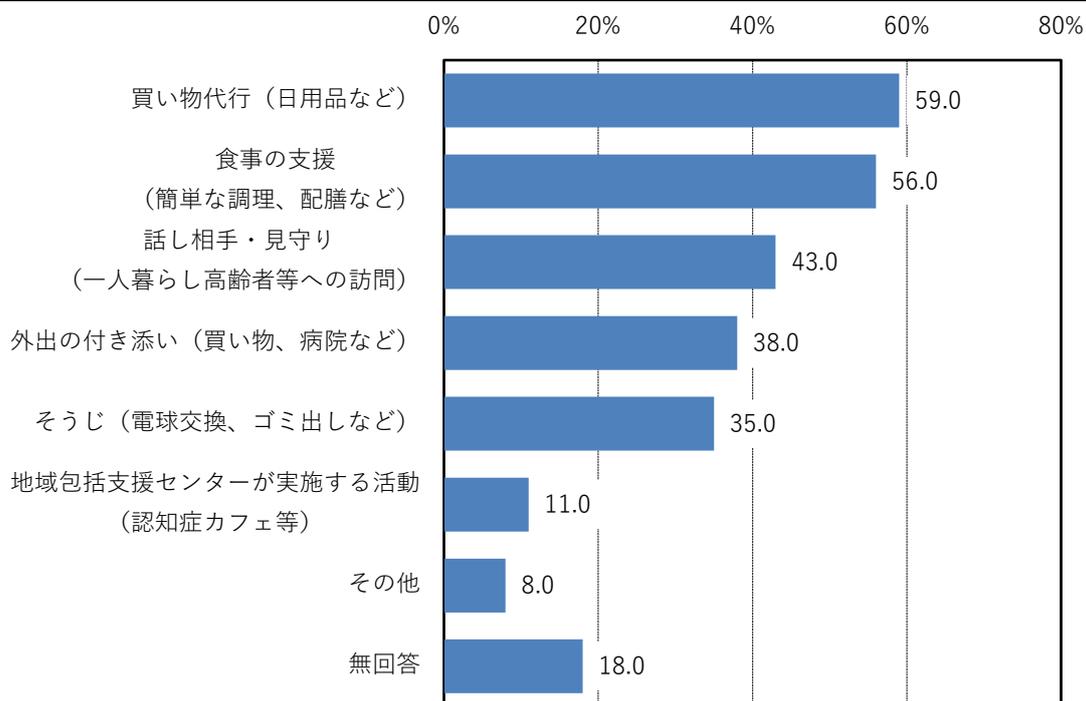
(2) まんのうささえあいサービスを利用したいと思いましたか。(1つだけ)



●まんのうささえあいサービスを利用したいと思った人の割合は 23.9%で、「既に利用会員である」と回答した人 (0.3%) を合わせても 24.2%となっています。

【(2)で「1」または「3」と答えた方のみお答えください。】

(2-1) どのようなサービスを利用したいですか。(いくつでも)

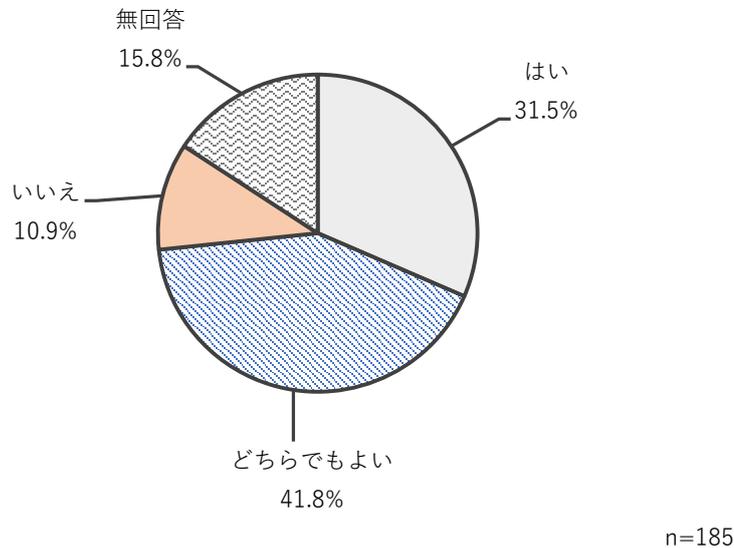


(n=165)

- まんのうさきえあいサービスのうち、どのようなサービスを利用したいかたずねたところ、「買い物代行 (日用品など)」と回答した人の割合が 59.0%と最も高く、次いで、「食事の支援 (簡単な調理、配膳など)」(56.0%)、「話し相手・見守り (一人暮らし高齢者等への訪問)」(43.0%)と続いています。

【(2)で「1」または「3」と答えた方のみお答えください。】

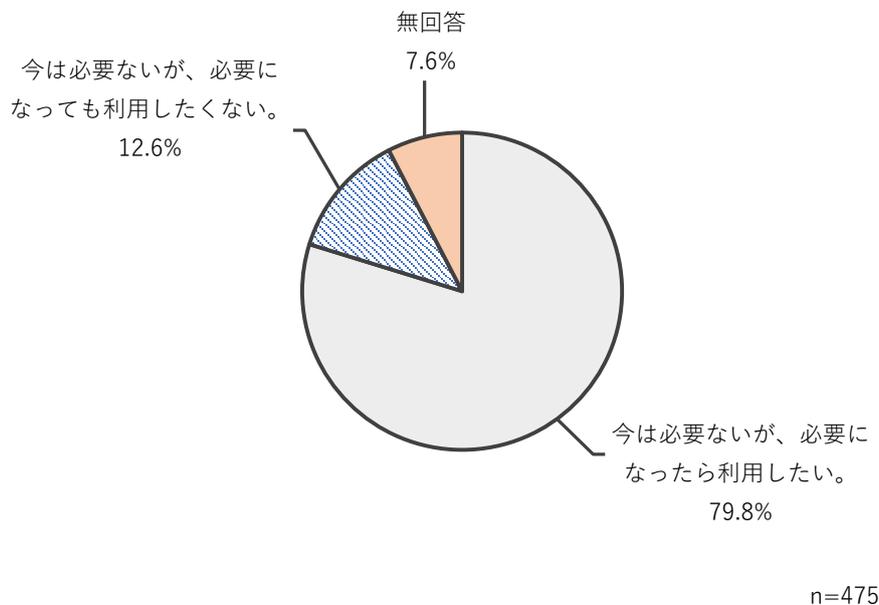
(2-2) できるだけ同じ地区の方、知っている方から利用したいですか。(1つだけ)



●まんのうささえあいサービスの利用について、できるだけ同じ地区の方、知っている方から利用したいと回答した人の割合は 31.5%、「どちらでもよい」と回答した人の割合は 41.8%となっています。

【(2)で「2」と答えた方のみお答えください。】

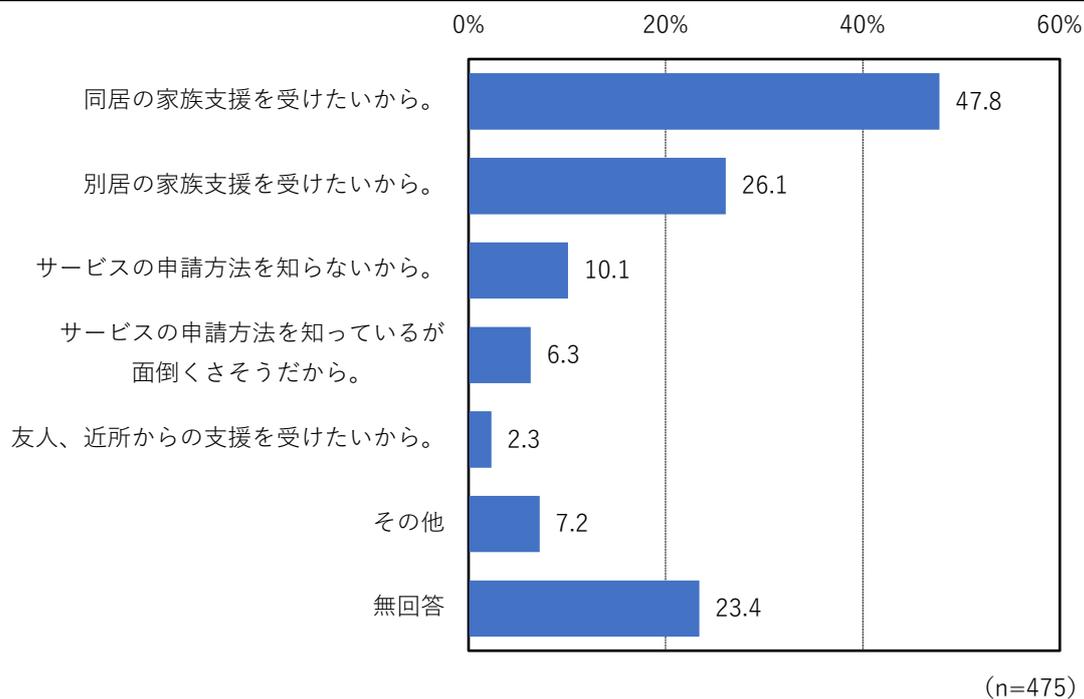
(2-3)「2. いいえ」を選んだ理由を教えてください。



●まんのうささえあいサービスを利用したくないと回答した人にその理由をたずねたところ、「今は必要ないが、必要になったら利用したい。」と回答した人の割合は 79.8%、「今は必要ないが、必要になっても利用したくない。」と回答した人の割合は 12.6%となっています。

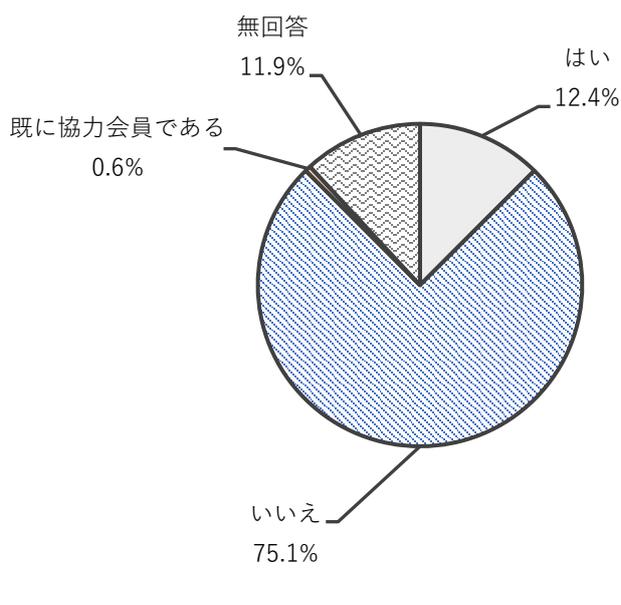
【(2)で「2」と答えた方のみお答えください。】

(2-4) 具体的な理由を教えてください。(いくつでも)



- まんのうささえあいサービスを利用したくないと回答した人にその具体的な理由をたずねたところ、「同居の家族支援を受けたいから。」と回答した人の割合が47.8%と最も高く、次いで、「別居の家族支援を受けたいから。」(26.1%)、「サービスの申請方法を知らないから。」(10.1%)と続いています。

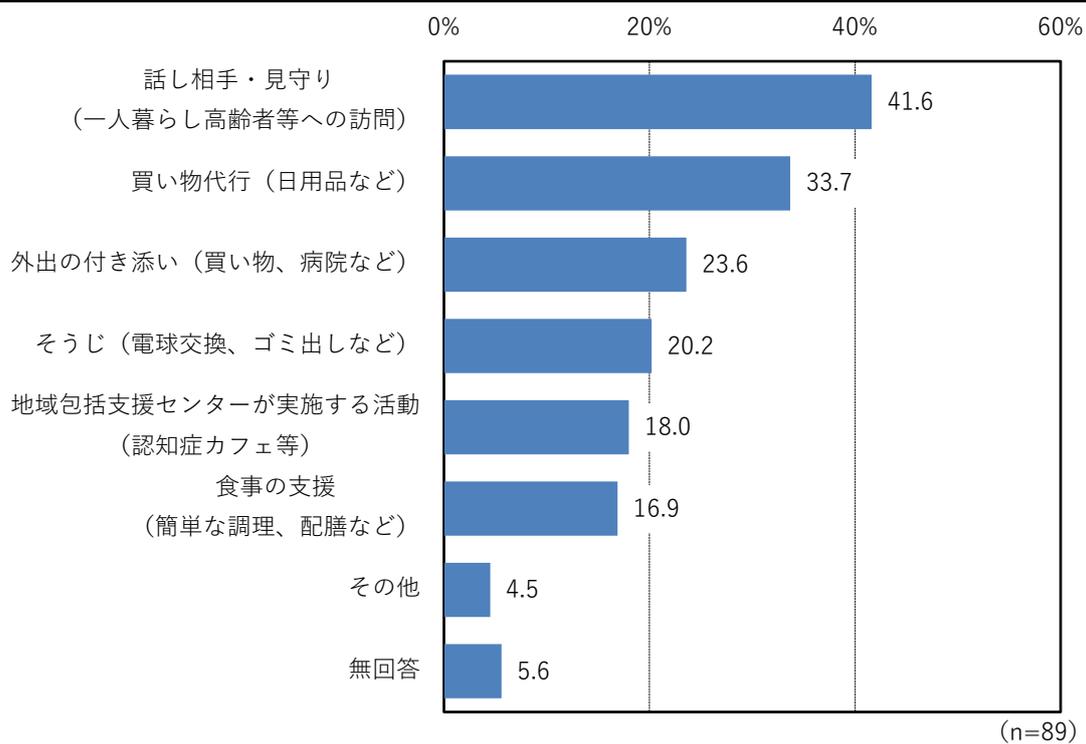
(3) まんのうささえあいサービスの協力会員になりたいと思いませんか。(1つだけ)



- まんのうささえあいサービスの協力会員になりたいと回答した人の割合は12.4%となっており、「既に協力会員である」と回答した人(0.6%)を合わせても13.0%にとどまっています。

【(3)で「1」または「3」と答えた方のみお答えください。】

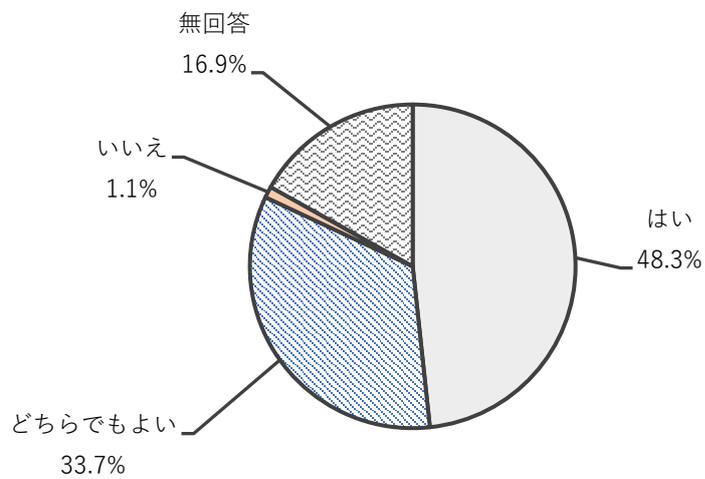
(3-1) どのようなサービスを提供したいですか。(いくつでも)



- 協力会員を希望する人に提供したいサービスをたずねたところ、「話し相手・見守り（一人暮らし高齢者等への訪問）」と回答した人の割合が 41.6%と最も高く、次いで、「買い物代行（日用品など）」（33.7%）、「外出の付き添い（買い物、病院など）」（23.6%）と続いています。

【(3) で「1」または「3」と答えた方のみお答えください。】

(3-2) できるだけ同じ地区の方、知っている方に提供したいですか。(1つだけ)



n=89

●協力会員を希望する人のうち、できるだけ同じ地区の方、知っている方に提供したいと回答した人の割合は48.3%、「どちらでもよい」と回答した人の割合は33.7%となっています。

2. 調査の分析

(1) からだを動かすことについて

①運動器の機能低下

1) リスク判定方法

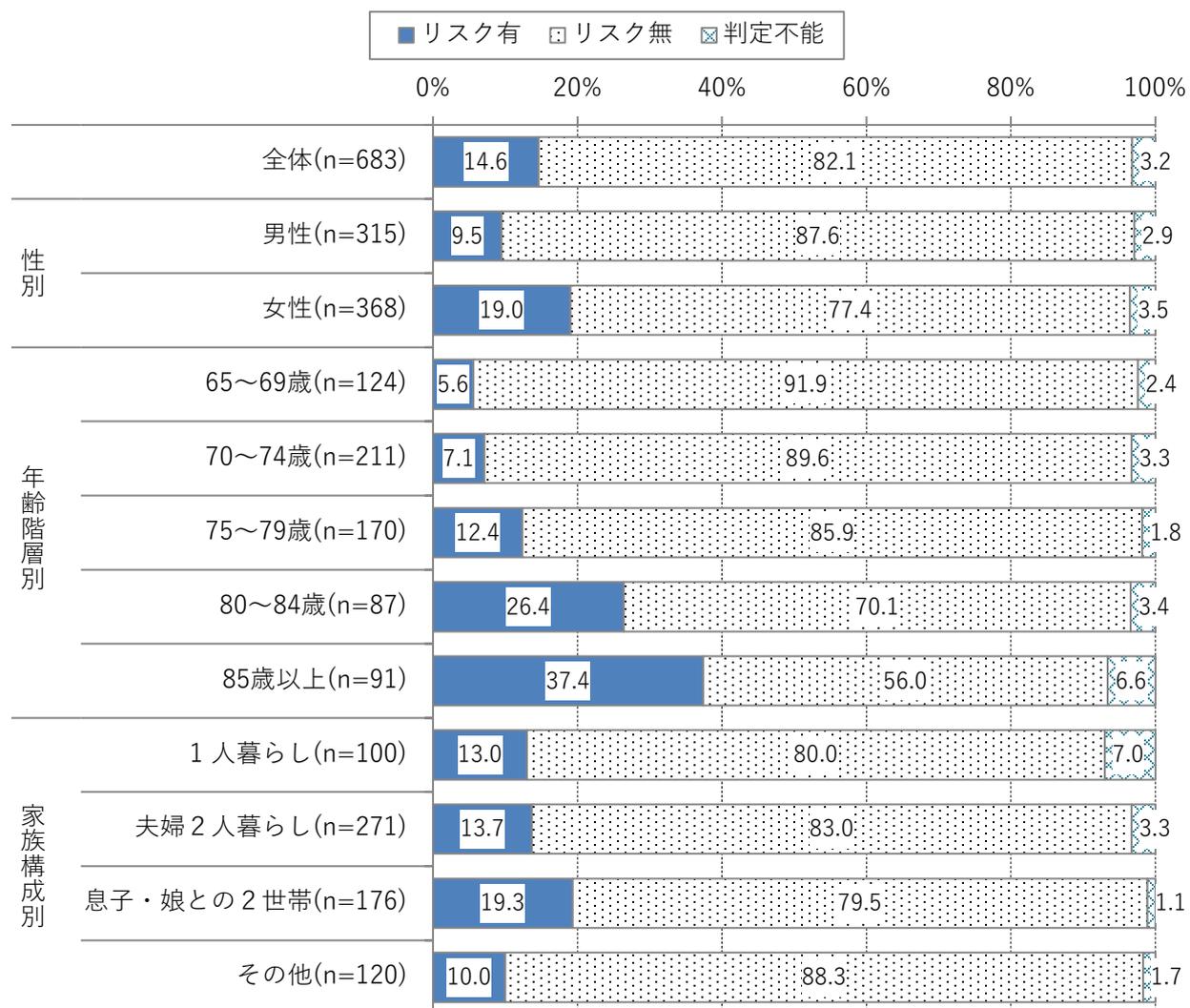
No.	設問内容	選択肢
問2 (1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問2 (2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問2 (3)	15分位続けて歩いていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問2 (4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない
問2 (5)	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

国の判定基準によると、上記の設問のうち、3問以上該当する選択肢（上の表の網掛け箇所）が回答された場合、運動器機能の低下している高齢者と判定されます。

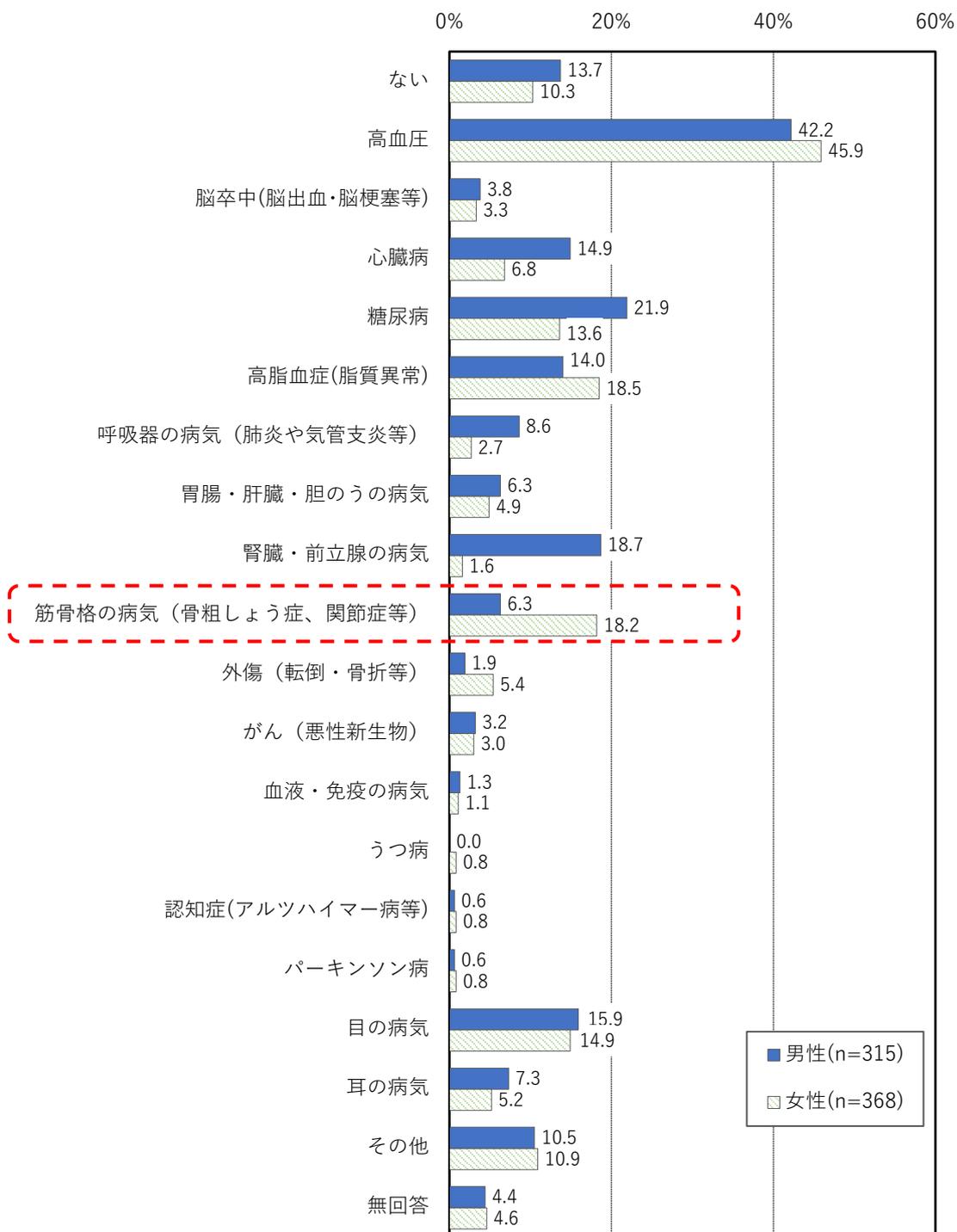
年齢階層別にリスク判定結果をみると、年齢階層が高くなるにつれてリスク者の割合が高くなることがわかります。また、性別にみると、女性は、男性に比べ2倍リスク者の割合が高くなっています。これは、女性は男性に比べ「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」の有病率が高い（男性の6.3%に対し女性は18.2%）という男女の疾病構造の違いが影響していると思われます。

家族構成別にみると、息子・娘と2世帯のリスク者の割合が、1人暮らし、夫婦2人暮らしに比べ高くなっています。

運動器機能リスク判定結果（男女別・年齢階層別・家族構成別）



現在治療中、または後遺症のある病気（男女別）



②転倒リスク

1) リスク判定方法

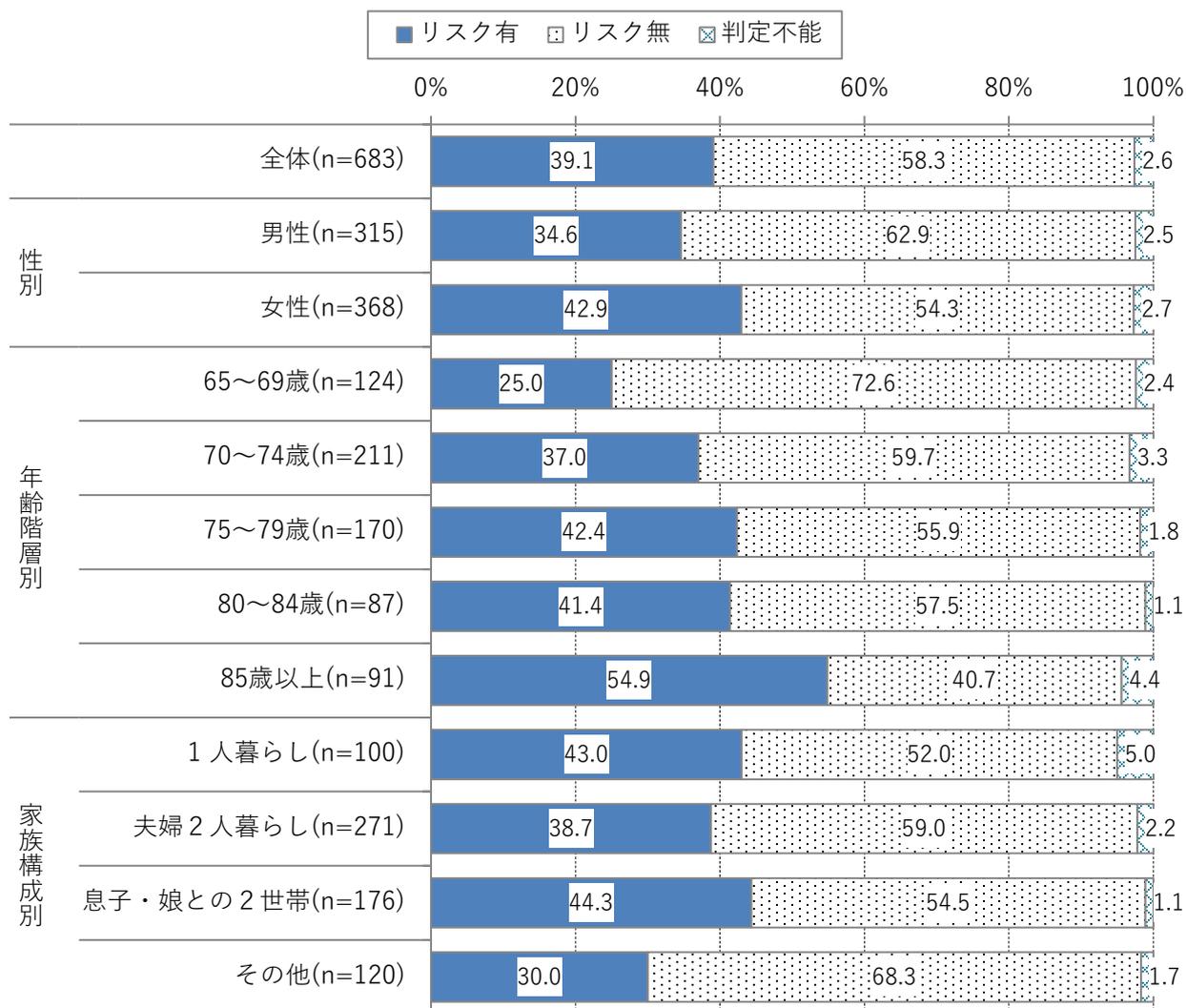
No.	設問内容	選択肢
問2 (4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない

国の判定基準によると、問2(4)で「1. 何度もある」「2. 1度ある」に該当する選択肢が回答された場合は、転倒リスクのある高齢者と判定されます。

性別にリスク判定結果をみると、男性より女性の方がリスク者の割合が8.3ポイント高くなっています。また、年齢階層別にみると、年齢階層が高くなるにつれてリスク者の割合が高くなっており、85歳以上ではリスク者の割合が過半数となっています。

家族構成別にみると、1人暮らしと息子・娘と2世帯のリスク者の割合が、夫婦2人暮らしに比べ若干高くなっています。

転倒リスク判定結果（男女別・年齢階層別・家族構成別）



③閉じこもり傾向

1) リスク判定方法

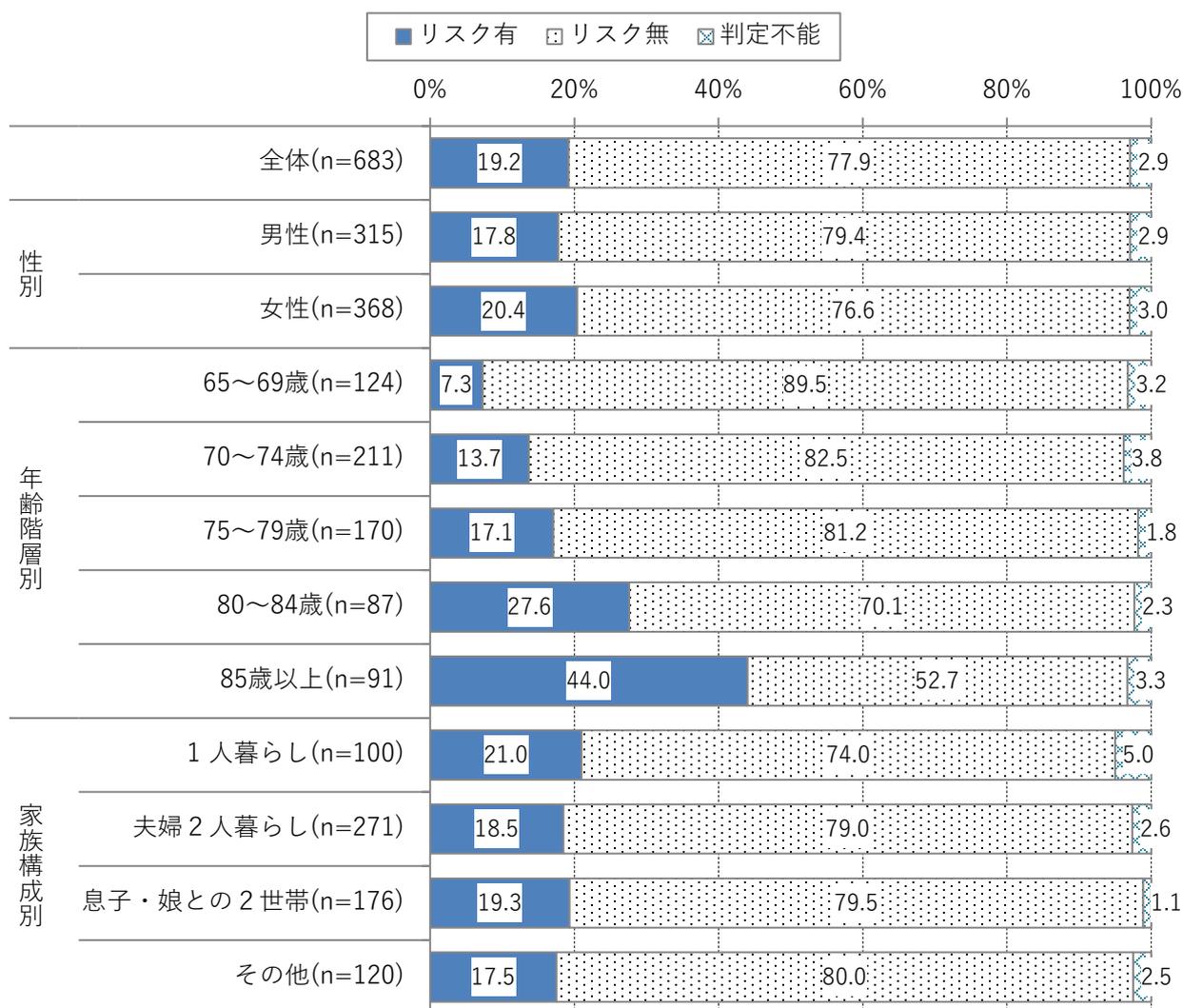
No.	設問内容	選択肢
問2 (6)	週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上

国の判定基準によれば、問2(6)で「1. ほとんど外出しない」「2. 週1回」に該当する選択肢が回答された場合は、閉じこもり傾向のある高齢者と判定されます。

性別にリスク判定結果をみると、男性より女性の方がリスク者の割合が2.6ポイント高くなっています。また、年齢階層別にみると、年齢階層が高くなるにつれてリスク者の割合が高くなるのがわかります。

家族構成別にみても、大きな差はみられません。

閉じこもりリスク判定結果（男女別・年齢階層別・家族構成別）



(2) 食べることについて

①低栄養の傾向

1) リスク判定方法

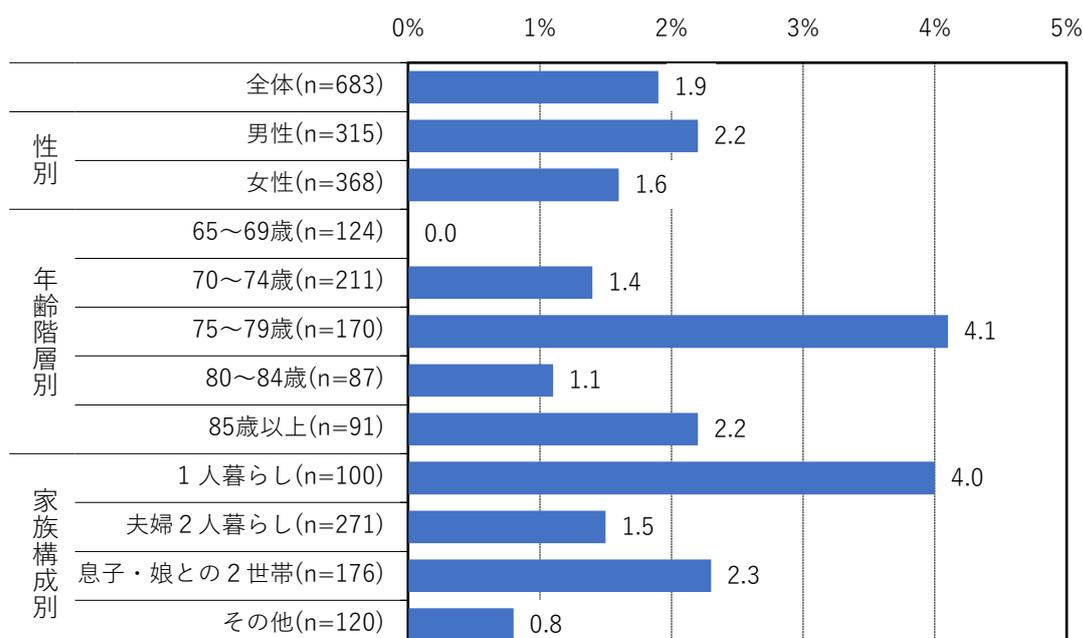
No.	設問内容	選択肢
問3 (1)	身長・体重	() cm () kg →BMI 18.5 以下
問3 (7)	6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか (オプション項目)	1. はい 2. いいえ

国の判定基準によれば、身長・体重から算出されるBMI（体重（kg）÷{身長（m）×身長（m）}）が18.5以下の場合、低栄養が疑われる高齢者になります。また、今回の調査においては、国が示す必須項目（身長・体重を問う設問）に加え、本町では、別途示されたオプション項目{問3（7）}を追加して調査し、より正確に低栄養状態を把握することにしました。

性別にリスク判定結果をみると、女性より男性の方がリスク者の割合は0.6ポイント高くなっています。また、年齢階層別にみると、75～79歳のリスク者の割合が最も高くなっています。

家族構成別にみると、1人暮らしのリスク者の割合が、夫婦2人暮らし、息子・娘との2世帯に比べ高くなっています。

低栄養リスク者割合（男女別・年齢階層別・家族構成別）



②口腔機能の低下

1) リスク判定方法

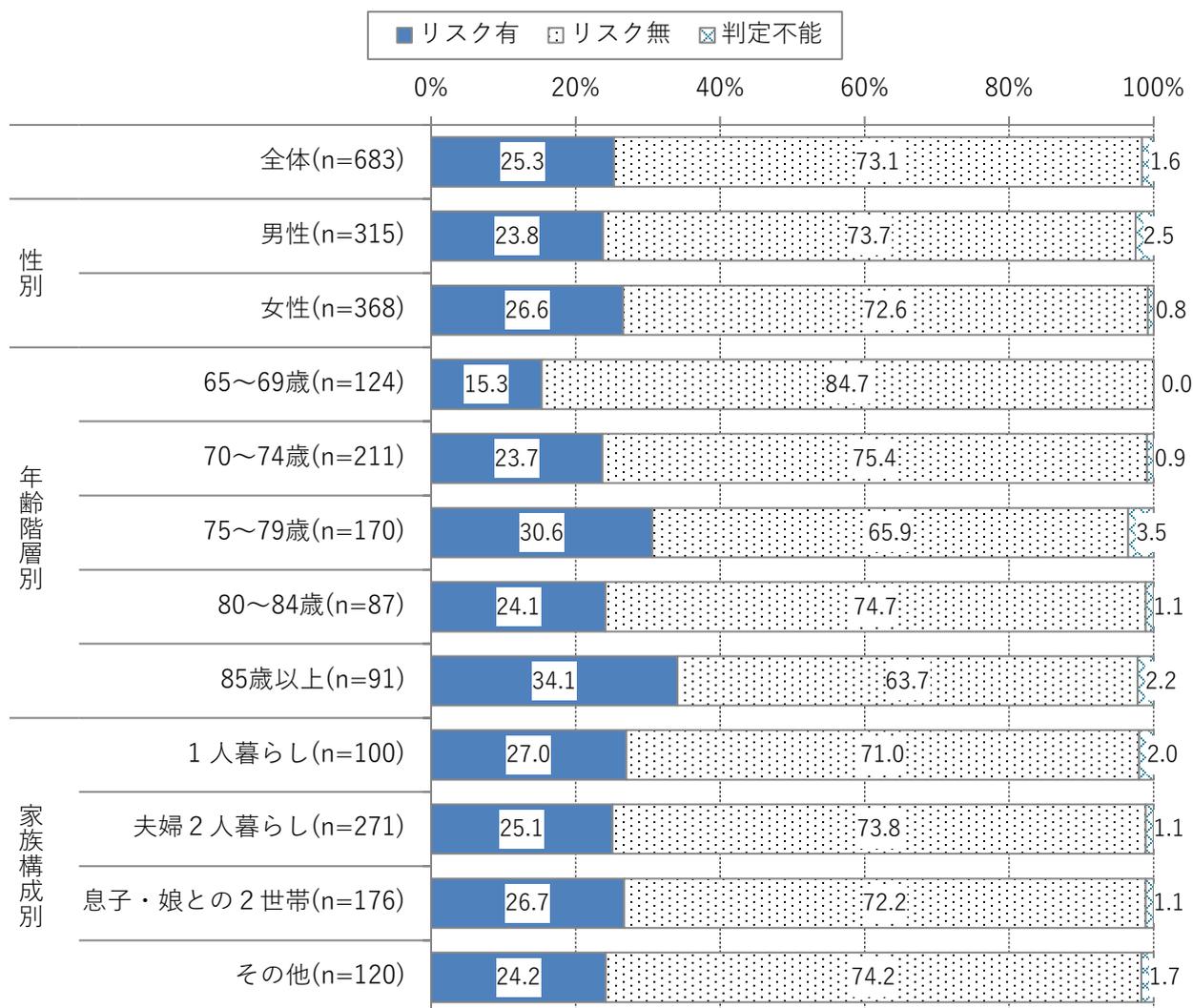
No.	設問内容	選択肢
問3 (2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい 2. いいえ
問3 (3)	お茶や汁物等でむせることがありますか (オプション項目)	1. はい 2. いいえ
問3 (4)	口の渇きが気になりますか (オプション項目)	1. はい 2. いいえ

国の判定基準によれば、上記の設問のうち、2問以上「1. はい」に該当した場合は、口腔機能が低下している高齢者と判定されます。

性別にリスク判定結果をみると、男性より女性の方がリスク者の割合は2.8ポイント高くなっています。また、年齢階層別にみると、75～79歳、85歳以上のリスク者の割合がその他の年齢階層に比べ高くなっています。

家族構成別にみても大きな差はみられません。

口腔機能低下リスク判定結果（男女別・年齢階層別・家族構成別）



(3) 毎日の生活

①認知機能の低下

1) リスク判定方法

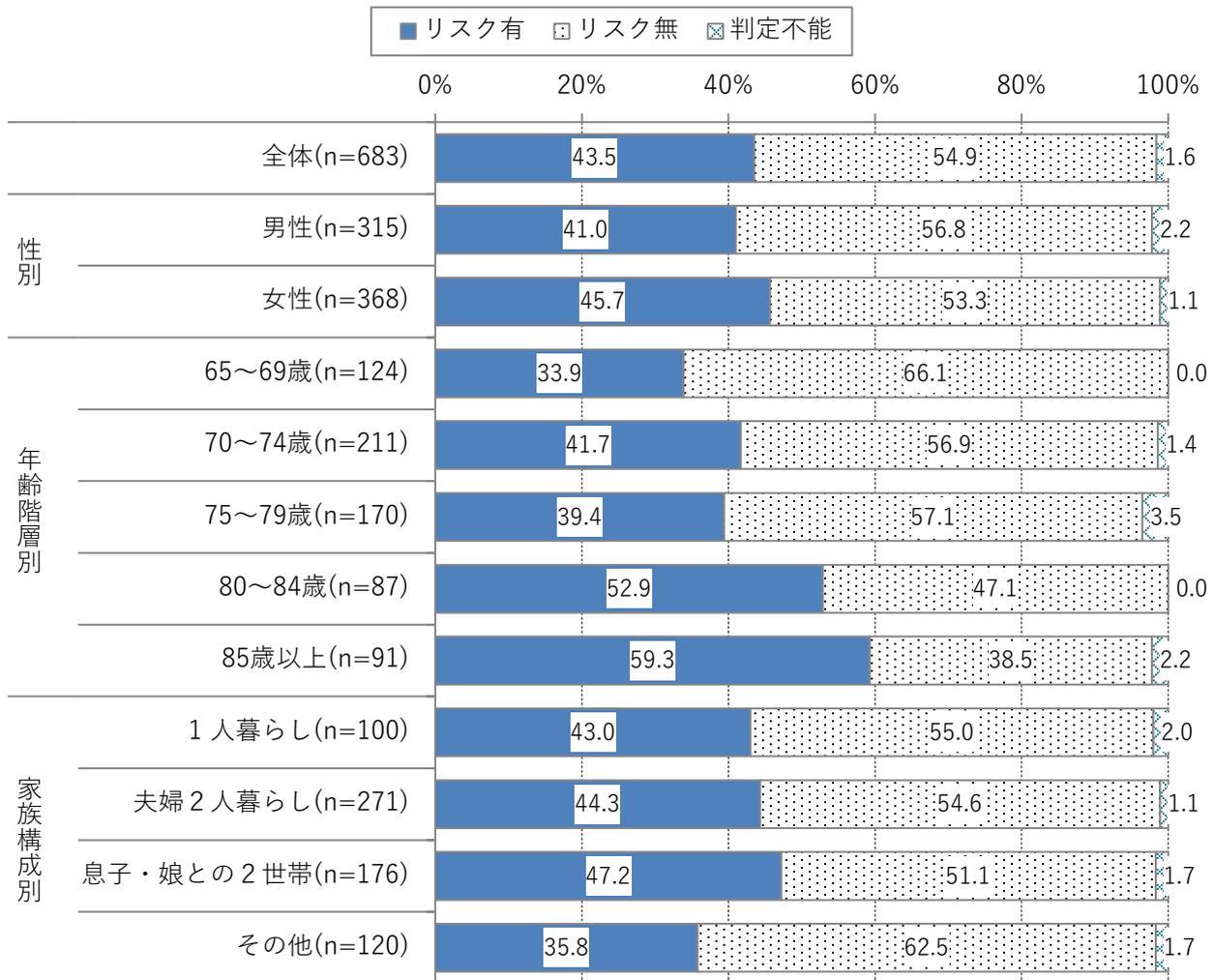
No.	設問内容	選択肢
問4 (1)	物忘れが多いと感じますか	1. はい 2. いいえ

国の判定基準によれば、問4(1)で「1. はい」に該当する選択肢が回答された場合は、認知機能の低下がみられる高齢者と判定されます。物忘れが多いと感じるかどうかのみで判定されるため、認知機能の低下が見られるといっても必ずしも認知症の状態ではあるとはいえません。

性別にリスク判定結果をみると、男性より女性の方がリスク者の割合は4.7ポイント高くなっています。また、年齢階層別にみると、年齢階層が高くなるにつれて概ねリスク者の割合が高くなっており、80歳以上では半数以上がリスク者と判定されています。

家族構成別にみると、息子・娘と2世帯のリスク者の割合が、1人暮らし、夫婦2人暮らしに比べ高くなっています。

認知機能低下リスク判定結果（男女別・年齢階層別・家族構成別）

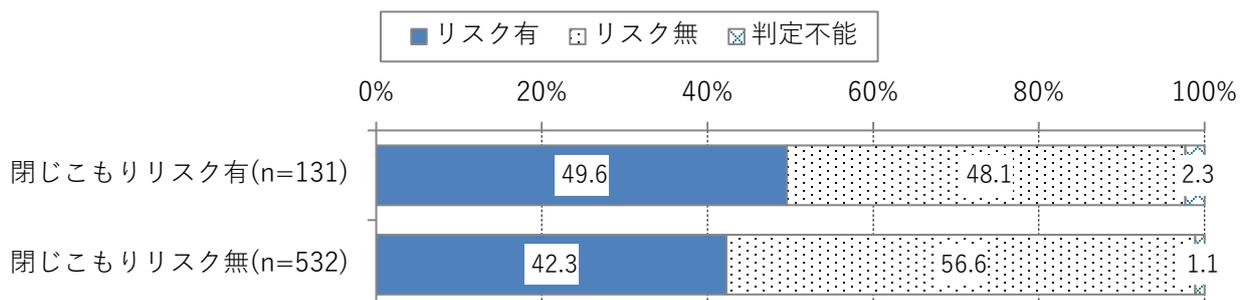


2) 認知機能の低下と閉じこもりリスクとの関係

閉じこもりのリスクの有無別に認知機能低下のリスク者割合を見ると、閉じこもりリスクのある人は、ない人に比べ認知機能低下のリスク者割合が高くなっています。

これらの結果から、外出の機会を増やすことで、認知機能低下のリスク低減につながると考えられます。

認知機能低下リスク判定結果（閉じこもりリスクの有無別）



② IADLの低下

1) リスク判定方法

No.	設問内容	選択肢
問4 (4)	バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問4 (5)	自分で食品・日用品の買物をしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問4 (6)	自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問4 (7)	自分で請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問4 (8)	自分で預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

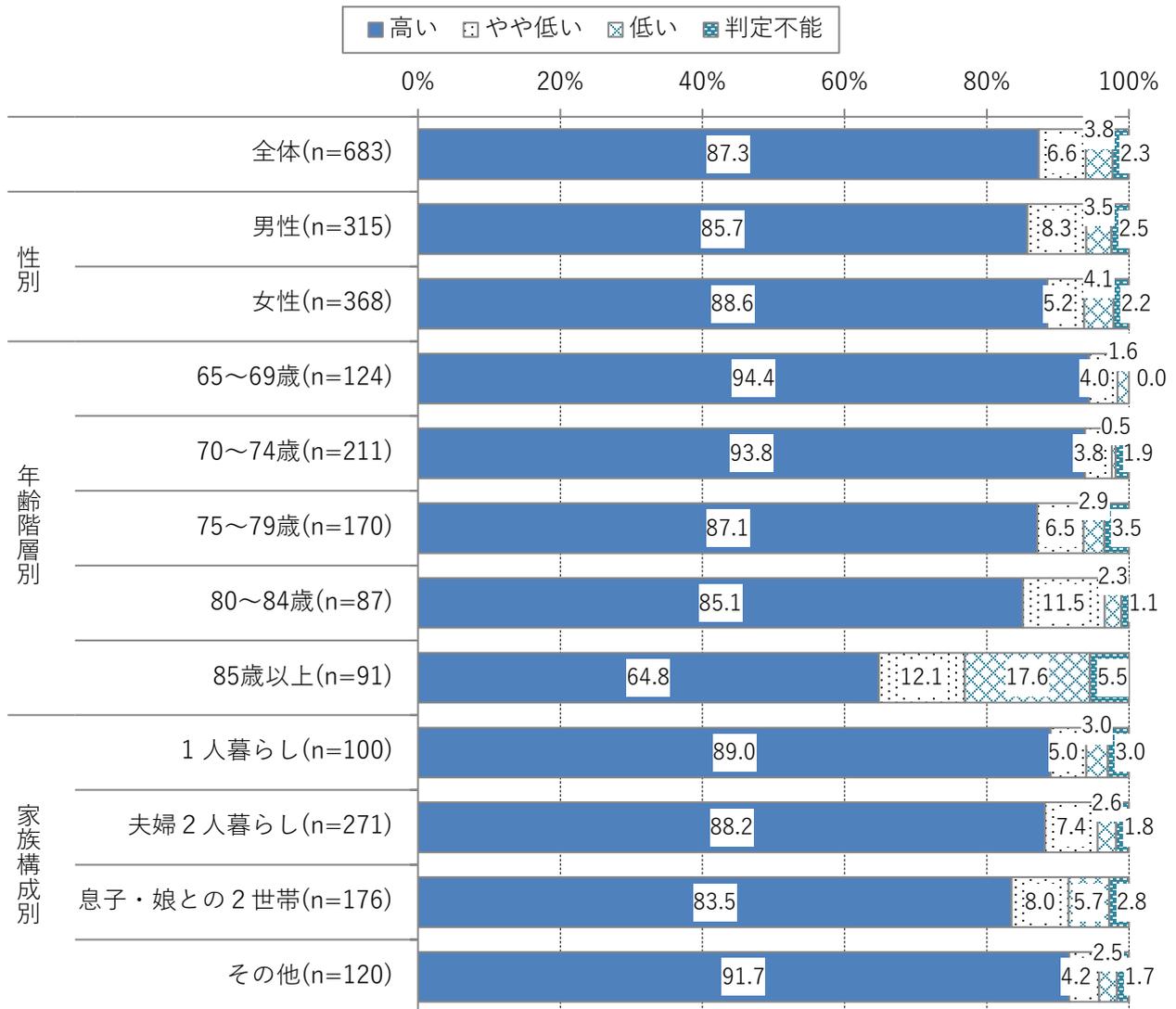
IADL (Instrumental Activities of Daily Living) とは、手段的日常生活動作とも言われ、電話の使い方、買物、家事、移動、外出、服薬の管理、金銭の管理など、ADL (Activity of Daily Living: 日常生活動作) ではとらえられない高次の生活機能の水準を測定するもので、在宅生活の可能性を検討する場合は、ADLの評価だけでは不十分であり、IADLが重要な指標になるとされています。

国の判定基準によれば、上記設問で、「1. できるし、している」「2. できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点でIADLを評価します(5点を「1. 高い」、4点を「2. やや低い」、3点以下を「3. 低い」とします)。

性別に判定結果をみると、女性より男性の方が「やや低い」「低い」と判定された人の割合は2.5ポイント高くなっています。また、年齢階層別にみると、年齢階層が高くなるにつれて「やや低い」「低い」と判定された人の割合が高くなっています。

家族構成別にみると、息子・娘と2世帯の「やや低い」「低い」と判定された人の割合が、1人暮らし、夫婦2人暮らしに比べて高くなっています。

IADL判定結果（男女別・年齢階層別・家族構成別）



(4) 健康

①うつ傾向

1) リスク判定方法

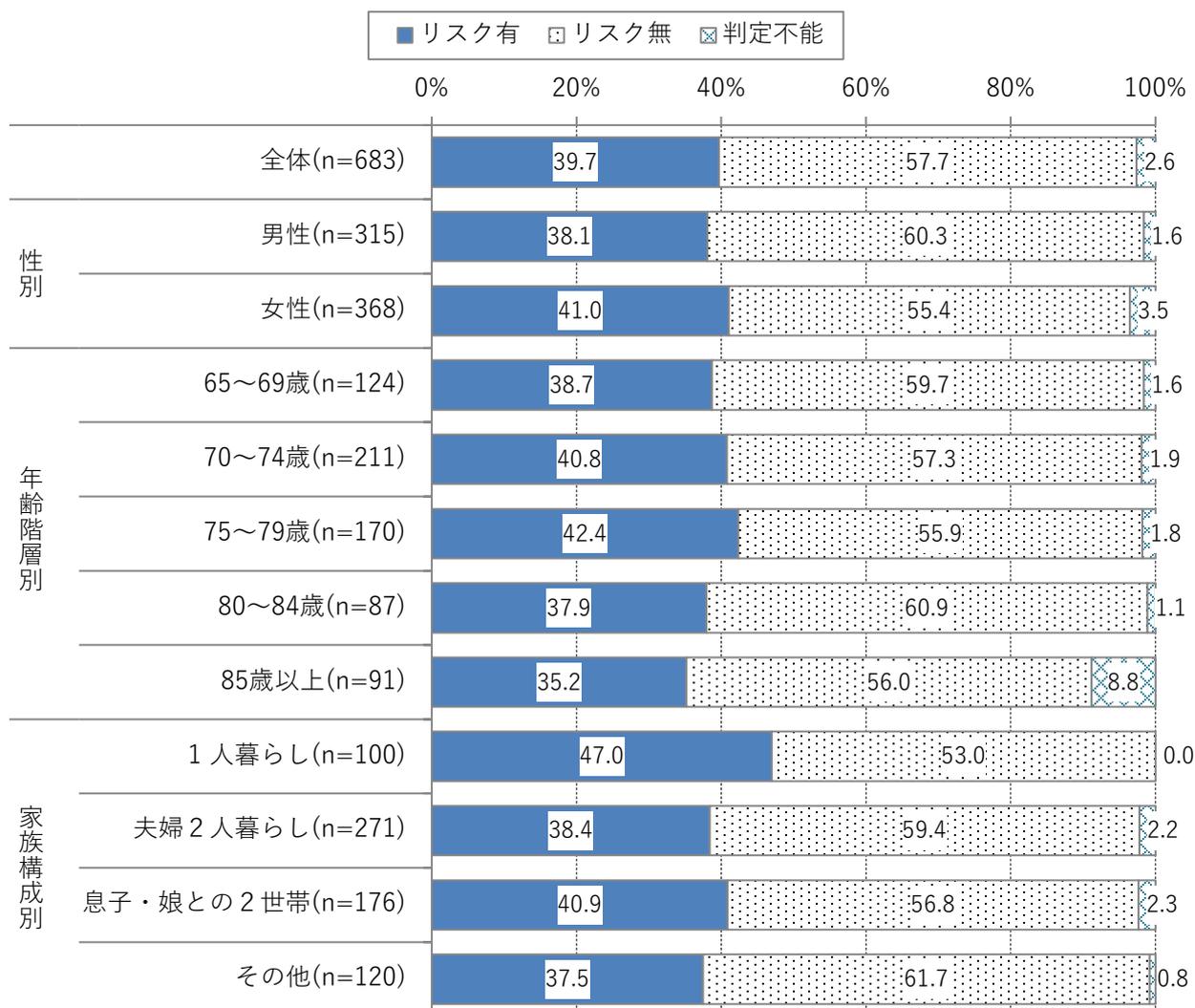
No.	設問内容	選択肢
問7 (3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい 2. いいえ
問7 (4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい 2. いいえ

国の判定基準によれば、問7(3)、問7(4)でいずれか1つでも「1. はい」に該当する選択肢が回答された場合は、うつ傾向の高齢者と判定されます。

性別にリスク判定結果をみると、男性より女性の方がリスク者の割合が2.9ポイント高くなっています。また、年齢階層別にみると、年齢階層が高くなるにつれてリスク者の割合が高くなっているものの、75～79歳をピークにリスク者の割合は低くなっていることがわかります。

家族構成別にみると、1人暮らしのリスク者の割合が、夫婦2人暮らし、息子・娘との2世帯に比べ高くなっています。

うつリスク判定結果（男女別・年齢階層別・家族構成別）



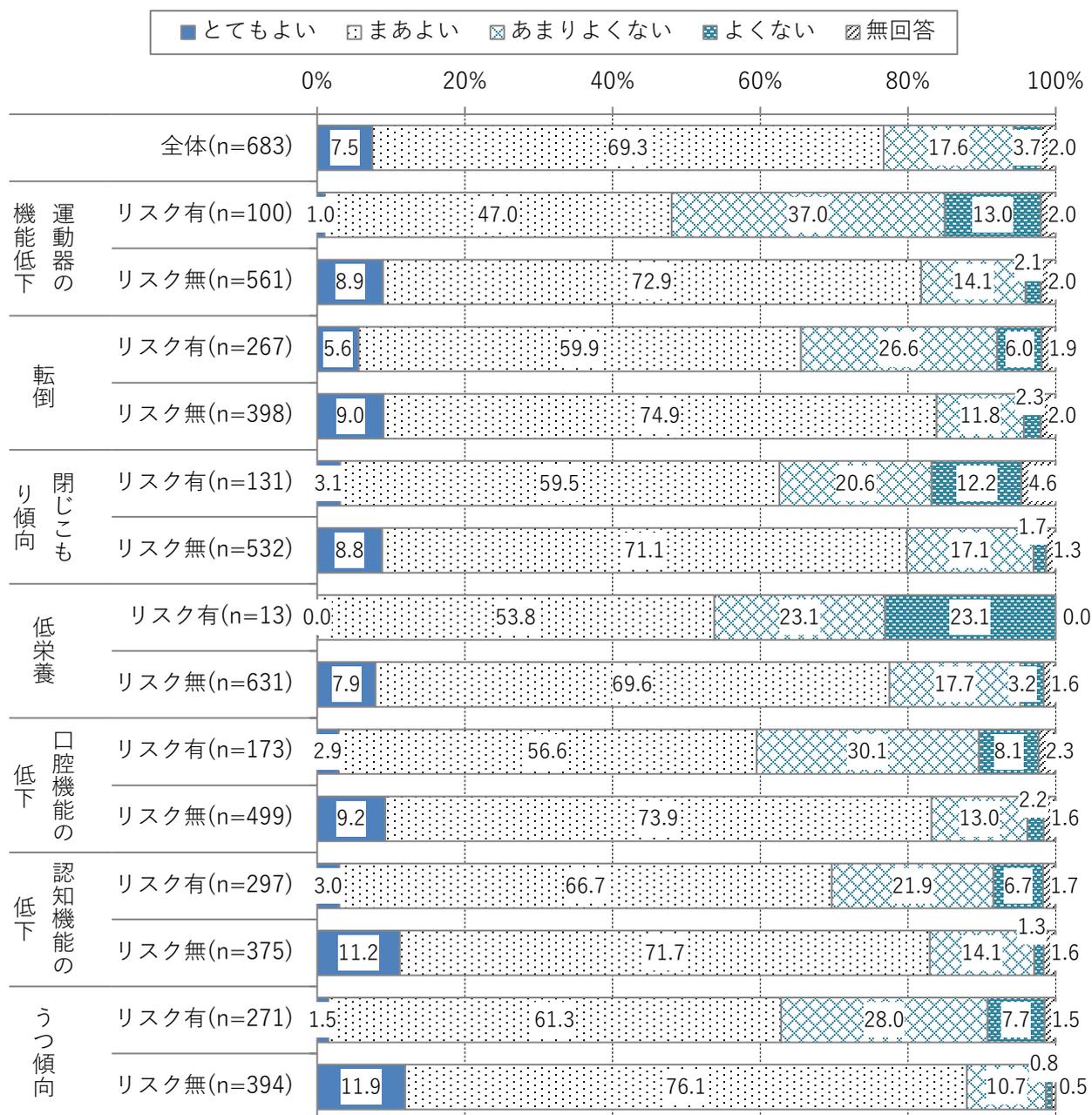
(5) 幸せ

①主観的健康感

これまで見てきた各リスクの有無別に主観的健康感の状況を見ると、すべての分野について、リスクのある人に比べリスクのない人の方が主観的健康感がよい人の割合が高いという結果となっています。特に、「運動器の機能低下」のリスク者の「とてもよい」「まあよい」と回答した人の割合がその他のリスクに比べ低くなっており、半数を切っています。

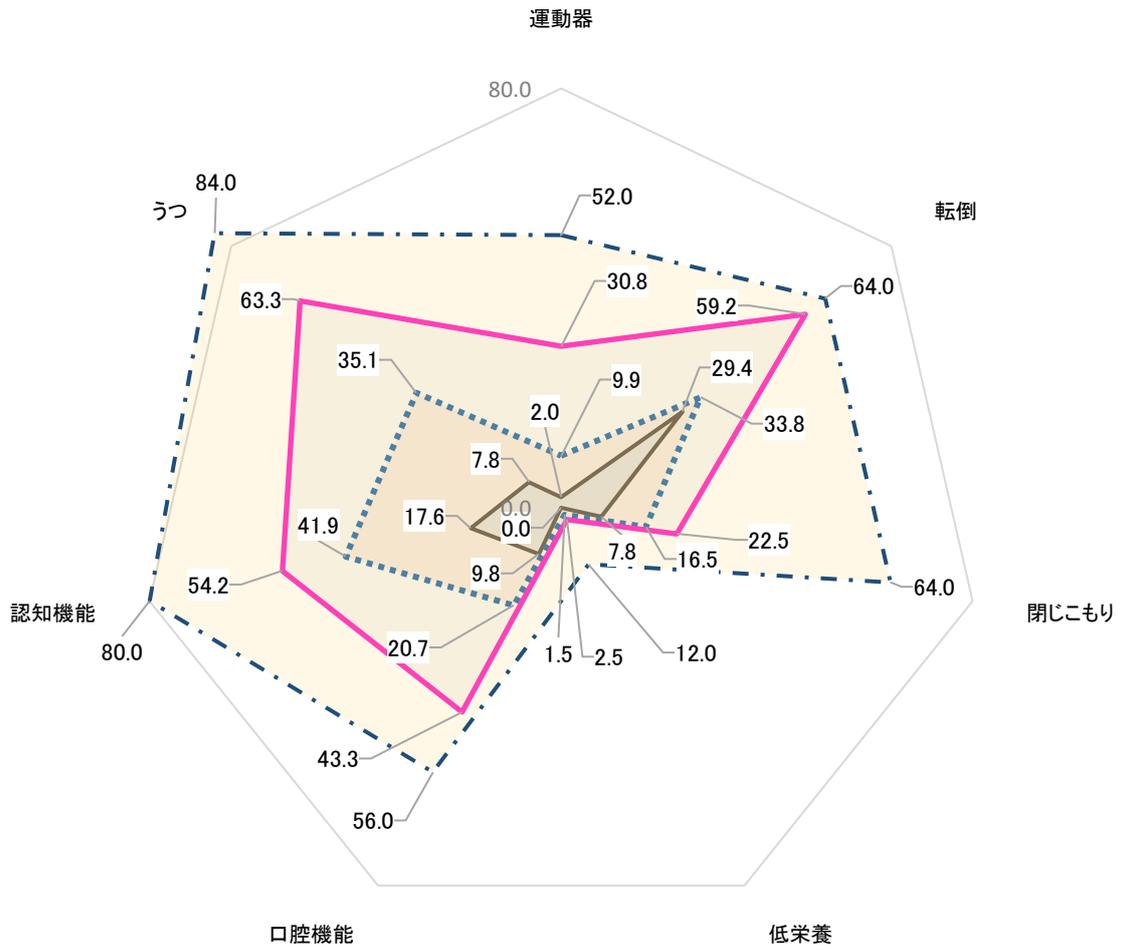
また、主観的健康感と各リスク者割合との関係を見ると、主観的健康感がよい人ほど、リスク者の割合が低くなる傾向にあることがわかります。たとえば、「うつ」のリスク者の割合は、主観的健康感が「よくない」人では84.0%になりますが、「とてもよい」人では7.8%であり、約10.8倍という差が見られます。

主観的健康感（各リスクの有無別）



主観的健康感と各リスク者割合との関係

□とてもよい(n=51) ■まあよい(n=473) ■あまりよくない(n=120) ■よくない(n=25)

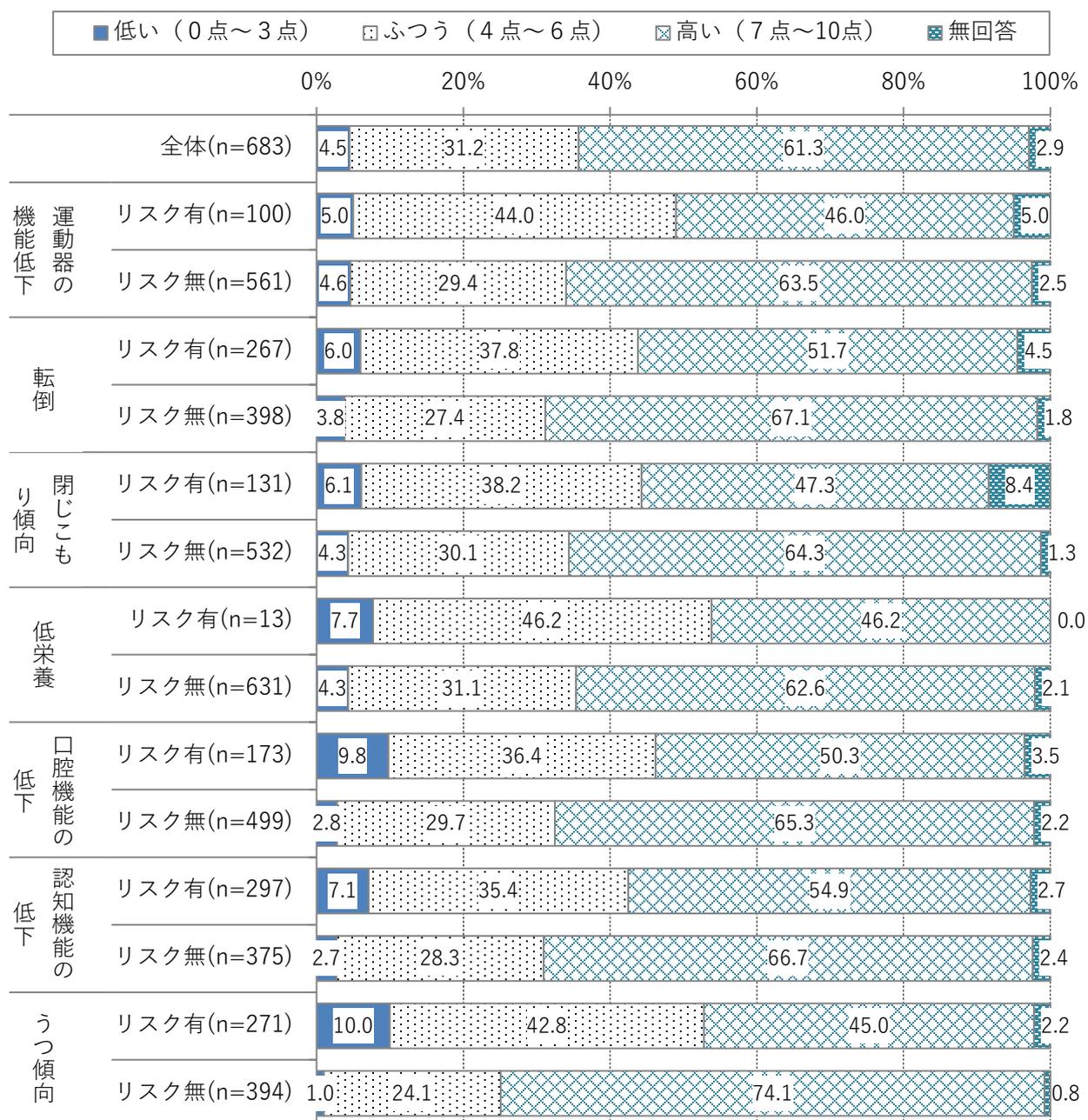


②主観的幸福感

これまで見てきた各リスクの有無別に主観的幸福感の状況を見ると、すべての分野について、リスクのある人に比べリスクのない人の方が主観的幸福感の高い人の割合が高いという結果となっています。

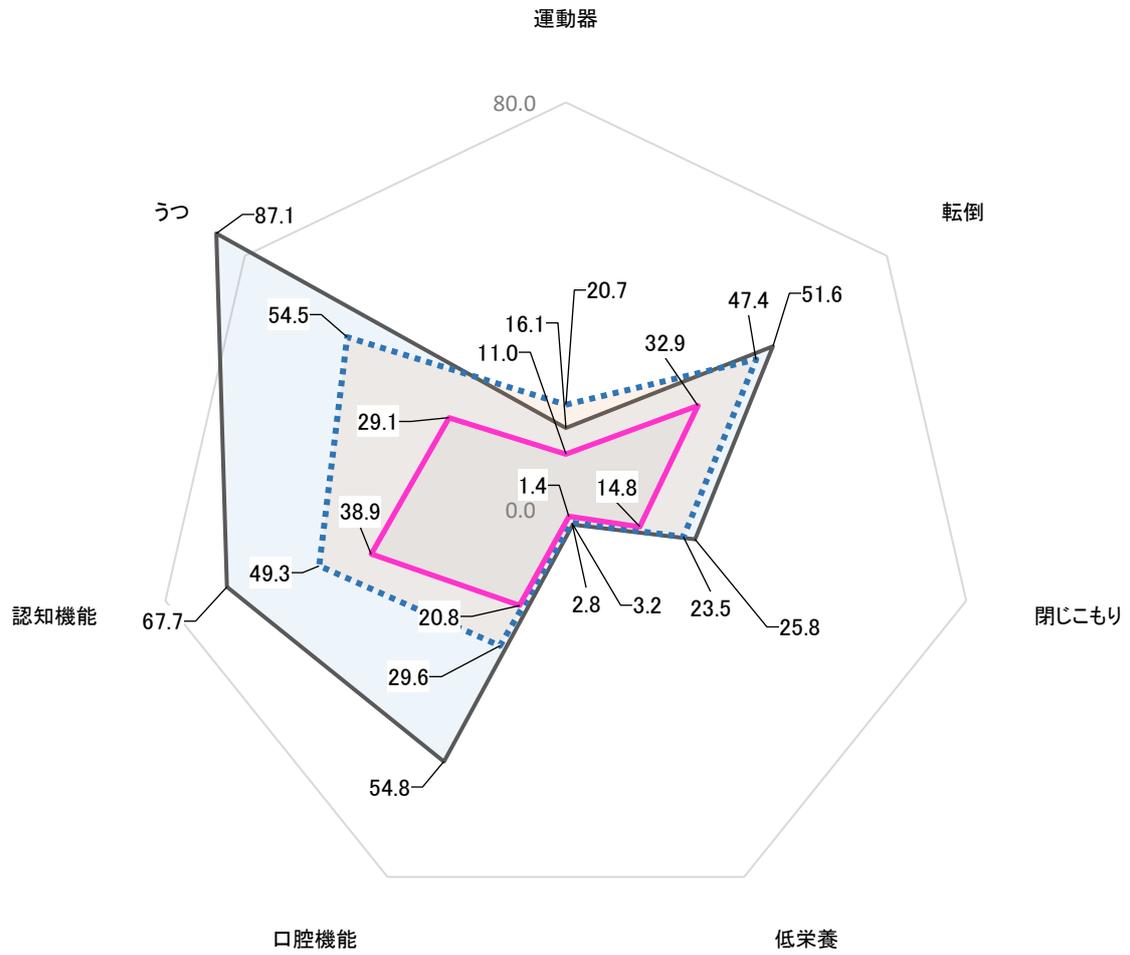
また、主観的幸福感と各リスク者割合との関係を見ると、主観的幸福感が高い人ほど、リスク者の割合が低くなる傾向にあることが分かります。例えば、主観的幸福感が高い人では口腔機能の低下が見られる割合は20.8%である一方、主観的幸福感が低い人では口腔機能の低下が見られる割合は54.8%で大きな差があります。

主観的幸福感（各リスクの有無別）



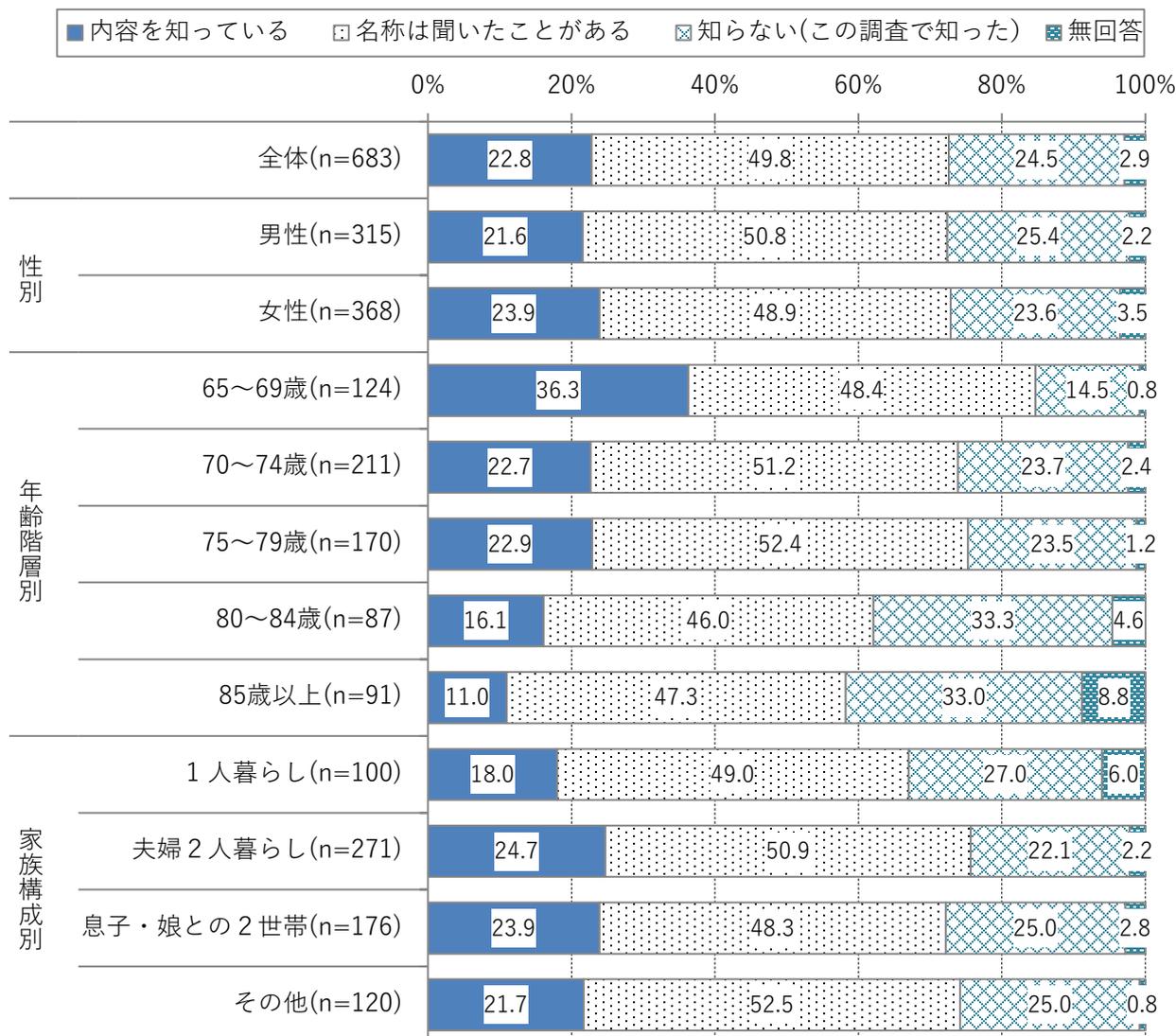
主観的幸福感と各リスク者割合との関係

- 低い(0点~3点)(n=31)
- ふつう(4点~6点)(n=213)
- 高い(7点~10点)(n=419)



(6) まんのう町独自設問

あなたは「成年後見制度」をご存じですか。(1つだけ)

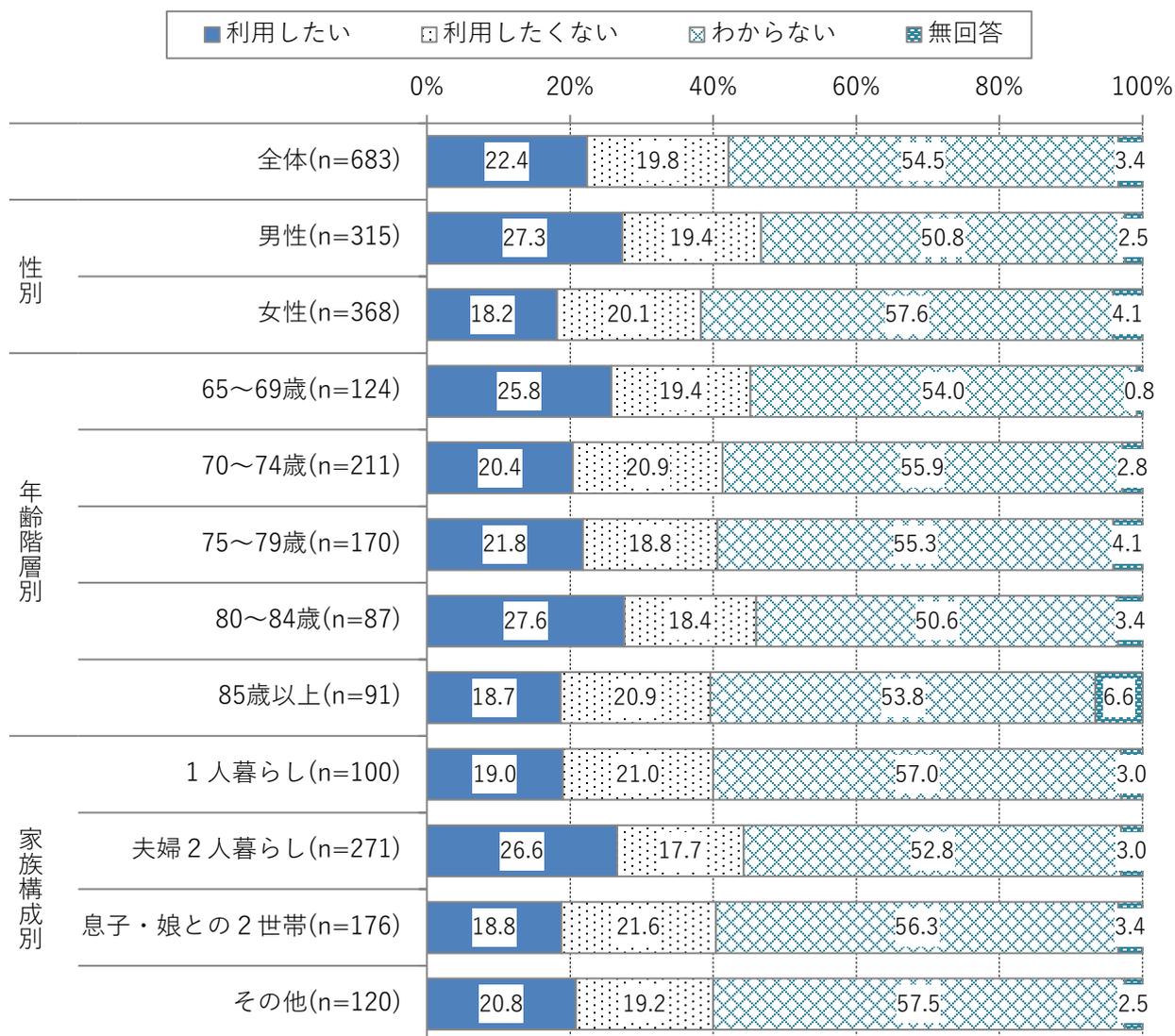


性別にみると、男性より女性の方が「内容を知っている」と回答した割合が2.3ポイント高くなっています。

年齢階層別にみると、年齢階層が高くなるにつれて「内容を知っている」と回答した割合は低くなっています。

家族構成別にみると、1人暮らしの「内容を知っている」と回答した割合は、夫婦2人暮らし、息子・娘との2世帯に比べ低くなっています。

あなたは、あなた自身や親族が認知症などにより判断能力が十分でなくなったとき、「成年後見制度」を利用したいと思いますか。

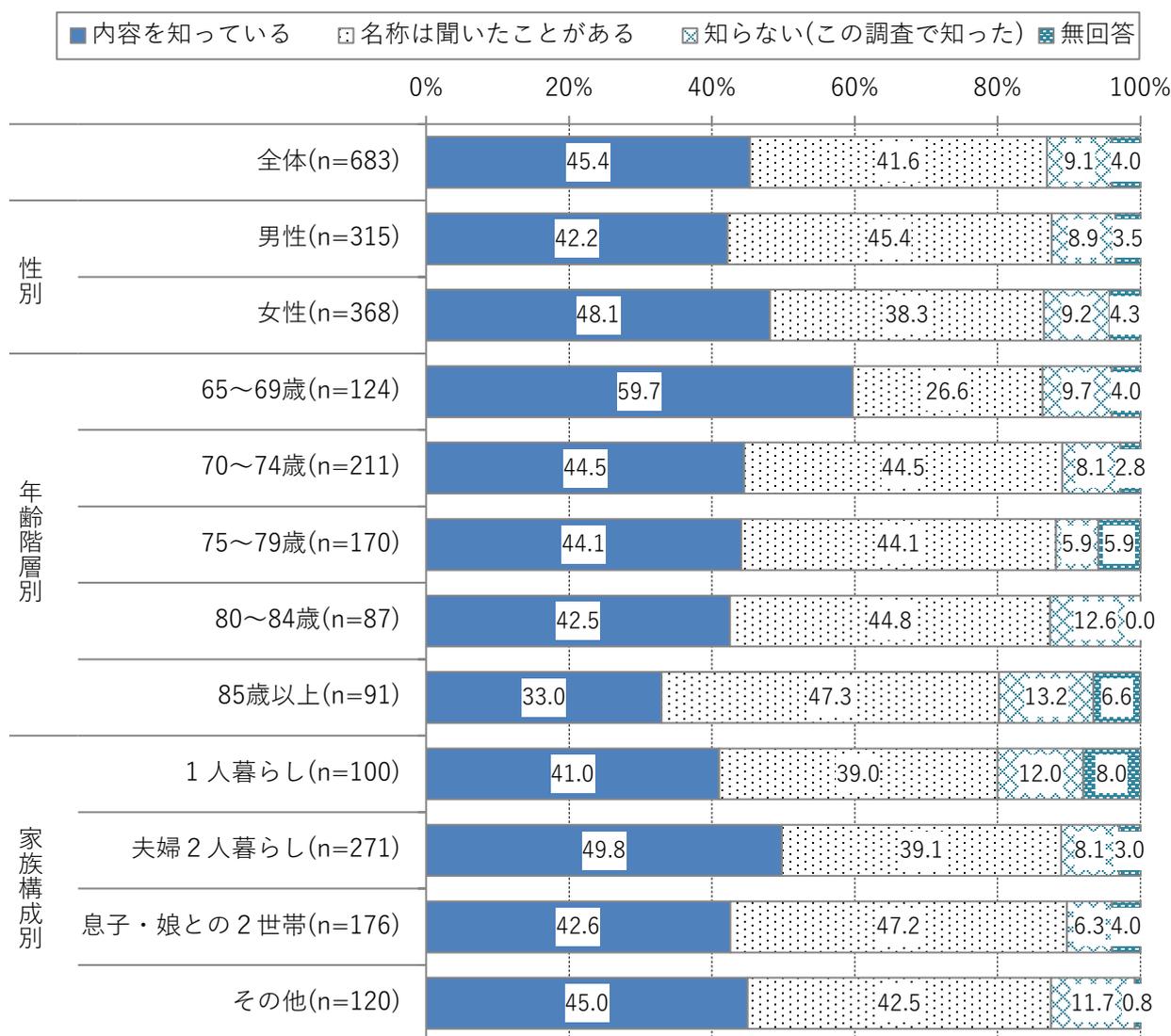


性別にみると、女性より男性の方が「利用したい」と回答した人の割合が9.1ポイント高くなっています。

年齢階層別にみると、「利用したい」と回答した人の割合は、「80～84歳」が27.6%と最も高く、次いで「65～69歳」(25.8%)、「75～79歳」(21.8%)と続いています。

家族構成別にみると、夫婦2人暮らしの「利用したい」と回答した割合は、1人暮らし、息子・娘との2世帯に比べ高くなっています。

あなたは「高齢者虐待」について知っていますか。



性別にみると、男性より女性の方が「内容を知っている」と回答した人の割合が5.9ポイント高くなっています。

年齢階層別にみると、65～69歳の「内容を知っている」と回答した人の割合はその他の年齢階層に比べ高くなっています。一方、70～74歳、75～79歳、80～84歳の「内容を知っている」と回答した人の割合に大きな差はみられませんでした。

家族構成別にみると、夫婦2人暮らしの「内容を知っている」と回答した人の割合は、1人暮らし、息子・娘との2世帯に比べ高くなっています。

あなたは「高齢者虐待」を疑ったときに、どこに相談しますか。

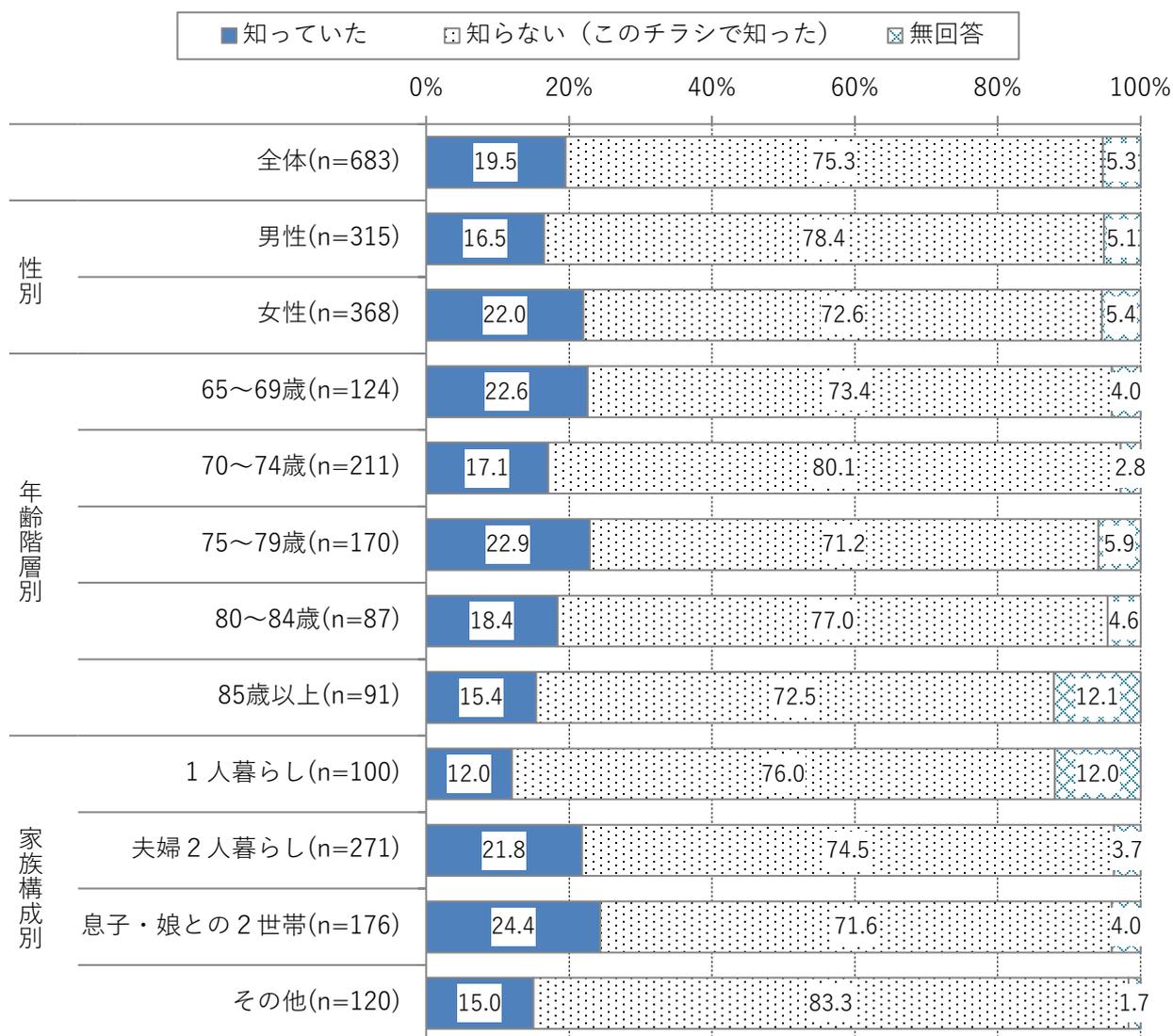
（％）		町役場（地域包括支援センター含む）	社会福祉協議会	民生委員	介護事業所	近所の人	警察	医療機関	親族虐待されている人の	その他	無回答
全体 (n=683)		54.3	28.4	29.4	8.5	11.6	32.4	7.3	18.2	2.9	8.1
性別	男性 (n=315)	54.3	26.0	29.8	7.3	10.8	39.4	6.0	19.7	3.2	7.6
	女性 (n=368)	54.3	30.4	29.1	9.5	12.2	26.4	8.4	16.8	2.7	8.4
年齢	65～69歳 (n=124)	66.1	27.4	25.0	12.9	11.3	45.2	6.5	18.5	0.8	5.6
	70～74歳 (n=211)	55.5	28.0	24.6	9.5	11.8	32.2	5.7	17.1	1.9	6.2
	75～79歳 (n=170)	57.6	30.0	31.2	7.1	12.4	27.6	7.1	22.9	4.1	8.2
	80～84歳 (n=87)	47.1	31.0	37.9	6.9	5.7	29.9	13.8	17.2	5.7	10.3
	85歳以上 (n=91)	36.3	25.3	35.2	4.4	15.4	26.4	6.6	12.1	3.3	13.2
家族構成	1人暮らし (n=100)	46.0	25.0	27.0	6.0	16.0	33.0	8.0	13.0	3.0	12.0
	夫婦2人暮らし (n=271)	60.9	30.3	28.0	10.0	10.7	35.1	6.3	16.6	3.3	7.0
	息子・娘との2世帯 (n=176)	48.9	28.4	31.8	8.5	11.4	25.6	8.0	25.0	1.1	9.1
	その他 (n=120)	57.5	28.3	31.7	7.5	10.8	37.5	9.2	16.7	5.0	2.5

性別にみると、男性の「警察」と回答した人の割合が、女性に比べて13.0ポイント高くなっています。

年齢階層別にみると、いずれの年齢階層でも「町役場（地域包括支援センター含む）」と回答した人の割合が最も高くなっていますが、年齢階層が高くなるにつれてその割合は概ね低くなっています。

家族構成別にみると、夫婦2人暮らしの「町役場（地域包括支援センター含む）」と回答した人の割合が、1人暮らし、息子・娘との2世帯に比べ高くなっています。また、息子・娘との2世帯の「警察」と回答した人の割合が、夫婦2人暮らし、1人暮らしに比べ低くなっています。

アンケートに同封している「まんのうささえあいサービス」を知っていましたか。

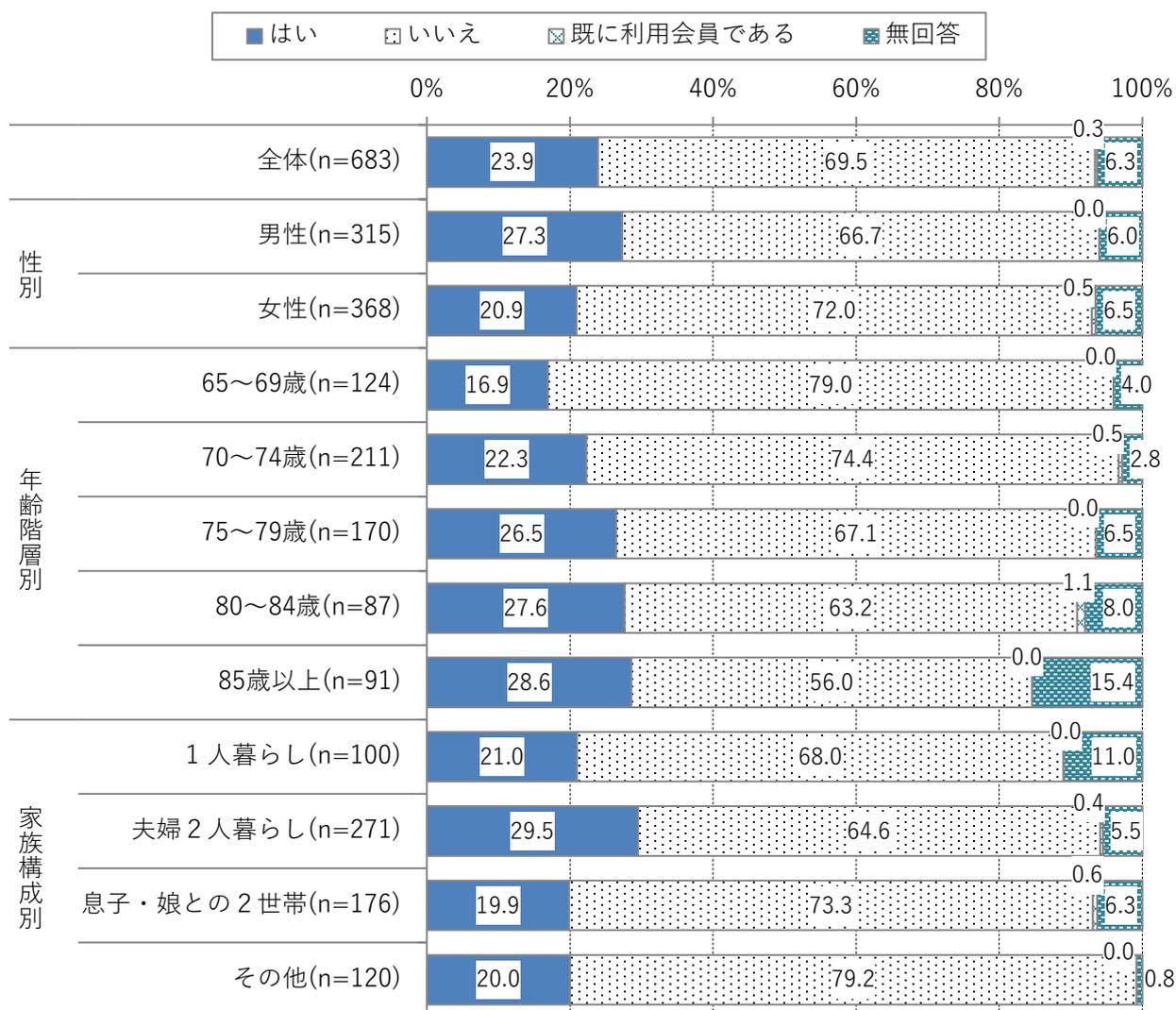


性別にみると、男性より女性の方が「知っていた」と回答した人の割合は5.5ポイント高くなっています。

年齢階層別にみると、65～69歳、75～79歳の「知っていた」と回答した人の割合が、その他の年齢階層に比べ高くなっています。

家族構成別にみると、1人暮らしの「知っていた」と回答した人の割合が、夫婦2人暮らし、息子・娘との2世帯に比べ低くなっています。

まんのうささえあいサービスを利用したいと思いませんか。



性別にみると、女性より男性の方が「はい」と回答した人の割合は6.4ポイント高くなっています。

年齢階層別にみると、年齢階層が高くなるにつれて「はい」と回答した割合は高くなっています。

家族構成別にみると、夫婦2人暮らしの「はい」と回答した人の割合が、1人暮らし、息子・娘との2世帯に比べ高くなっています。

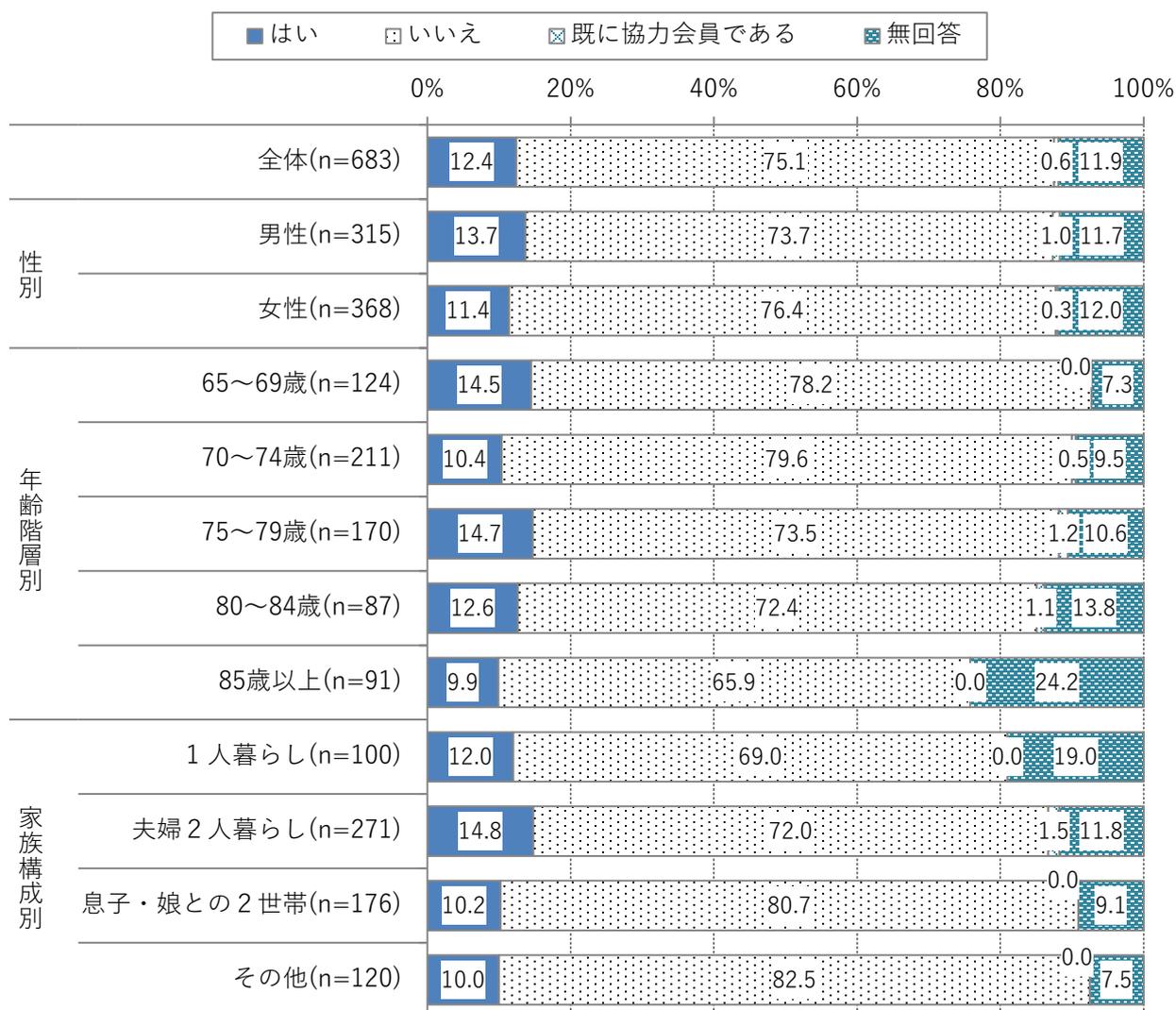
【前の質問で「はい」または「既に利用会員である」と答えた方のみお答えください。】

どのようなサービスを利用したいですか。

(%)		買い物代行 (日用品など)	食事の支援 (簡単な調理、配膳など)	そうじ (電球交換、ゴミ出しなど)	外出の付き添い (買い物、病院など)	話し相手・見守り (一人暮らし高齢者等への訪問)	地域包括支援センターが実施する活動 (認知症カフェ等)	その他	無回答
全体 (n=165)		35.8	33.9	21.2	23.0	26.1	6.7	4.8	10.9
性別	男性 (n=86)	27.9	38.4	19.8	19.8	25.6	5.8	4.7	14.0
	女性 (n=79)	44.3	29.1	22.8	26.6	26.6	7.6	5.1	7.6

性別にみると、男性の「食事の支援（簡単な調理、配膳など）」、女性の「買い物代行（日用品など）」、「外出の付き添い（買い物、病院など）」と回答した人の割合が異性に比べ高くなっています。

まんのうささえあいサービスの協力会員になりたいと思われましたか。



性別にみると、女性より男性の方が「はい」と回答した人の割合は2.3ポイント高くなっています。

年齢階層別にみると、65～69歳、75～79歳の「はい」と回答した割合が、その他の年齢階層に比べ高くなっています。

家族構成別にみると、夫婦2人暮らしの「はい」と回答した割合が、1人暮らし、息子・娘との2世帯に比べ高くなっています。

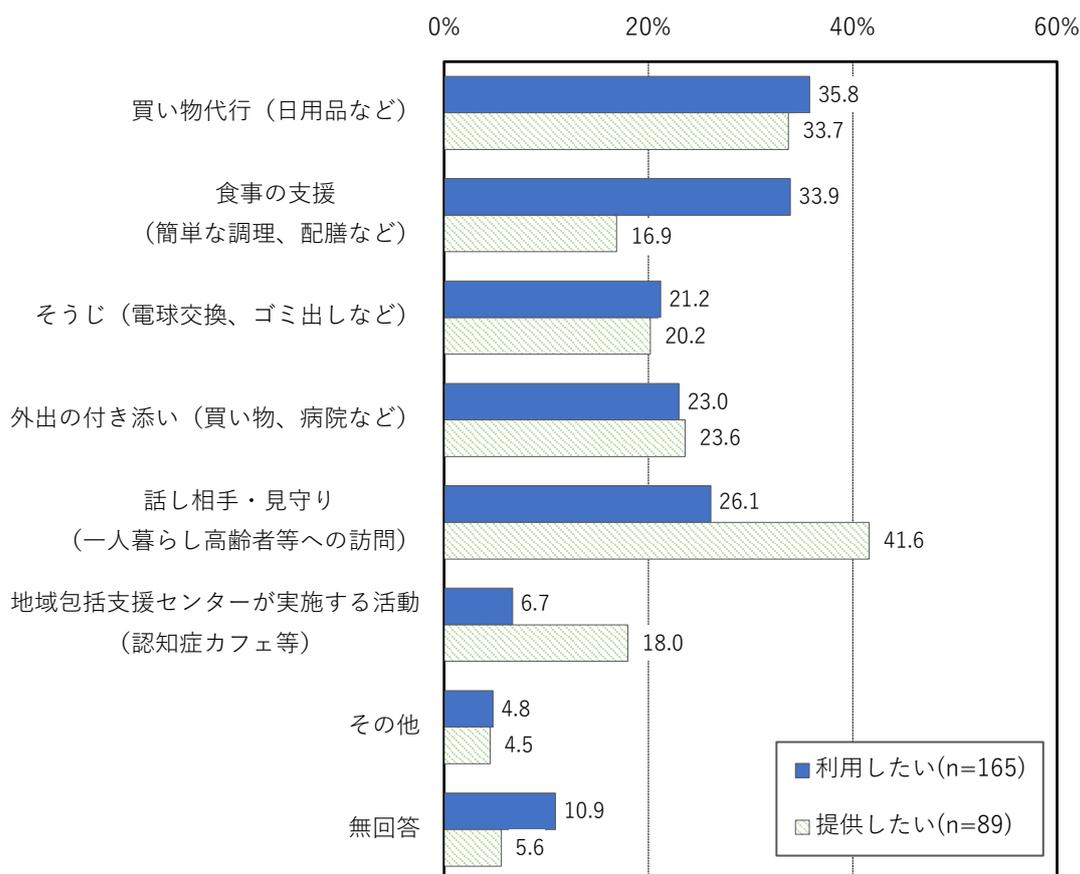
【前の質問で「はい」または「既に利用会員である」と答えた方のみお答えください。】

どのようなサービスを提供したいですか。

（％）		買い物代行（日用品など）	食事の支援、配膳など（簡単な調理、配膳など）	そうじ（電球交換、ゴミ出しなど）	外出の付き添い（買い物、病院など）	話し相手・見守り（一人暮らし高齢者等への訪問）	地域包括支援センターが実施する活動（認知症カフェ等）	その他	無回答
全体 (n=89)		33.7	16.9	20.2	23.6	41.6	18.0	4.5	5.6
性別	男性 (n=46)	30.4	15.2	26.1	23.9	43.5	10.9	6.5	4.3
	女性 (n=43)	37.2	18.6	14.0	23.3	39.5	25.6	2.3	7.0

性別にみると、男性の「そうじ（電球交換、ゴミ出しなど）」、女性の「買い物代行（日用品など）」、「地域包括支援センターが実施する活動（認知症カフェ等）」と回答した人の割合が異性に比べ高くなっています。

《 利用したいサービスと提供したいサービスの比較 》



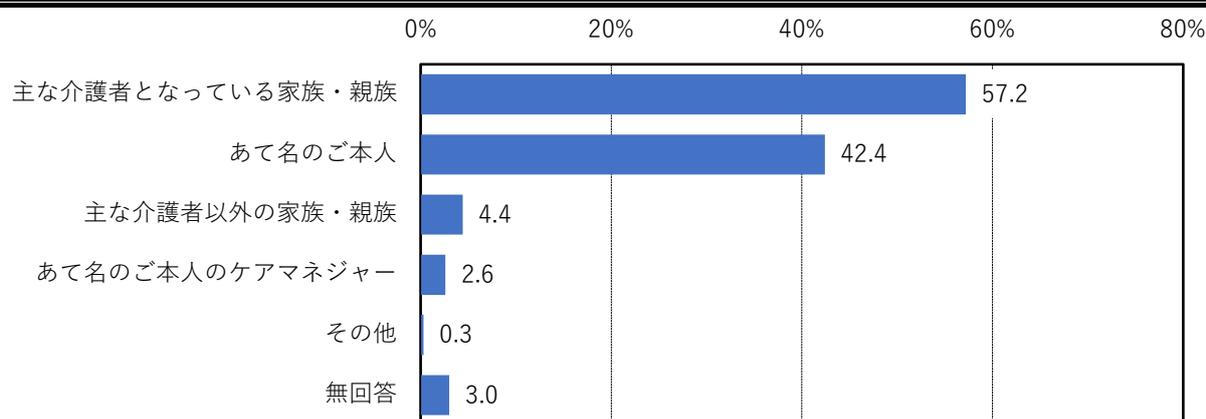
利用したいサービスと提供したいサービスを比較したところ、「話し相手・見守り（一人暮らし高齢者等への訪問）」、「地域包括支援センターが実施する活動（認知症カフェ等）」は提供したいと回答した人の割合が高くなっている一方、「食事の支援（簡単な調理、配膳など）」は利用したいと回答した人の割合が高くなっています。

第3章 在宅介護実態調査

1. 調査の結果

A票

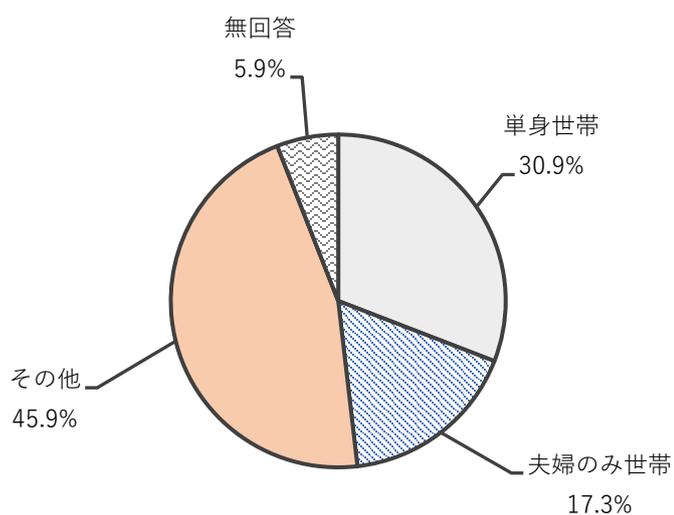
問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。



(n=573)

●調査票への回答者については、「主な介護者となっている家族・親族」が57.2%と、「あて名のご本人」が42.4%、「主な介護者以外の家族・親族」が4.4%となっています。

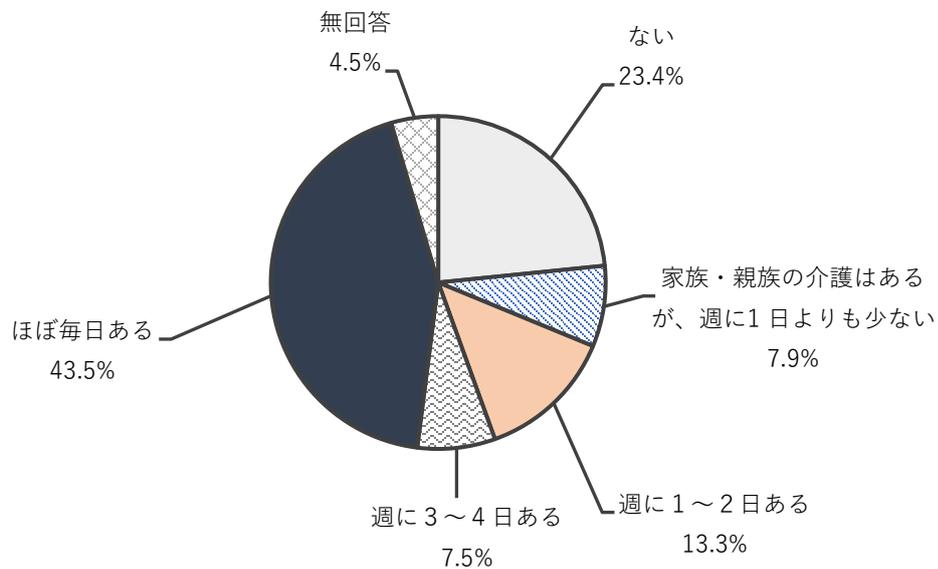
問2 あて名のご本人の世帯類型について、ご回答ください。(1つだけ○)



n=573

●ご本人の世帯類型について「単身世帯」と回答した人の割合は30.9%、「夫婦のみ世帯」と回答した人の割合は17.3%となっています。

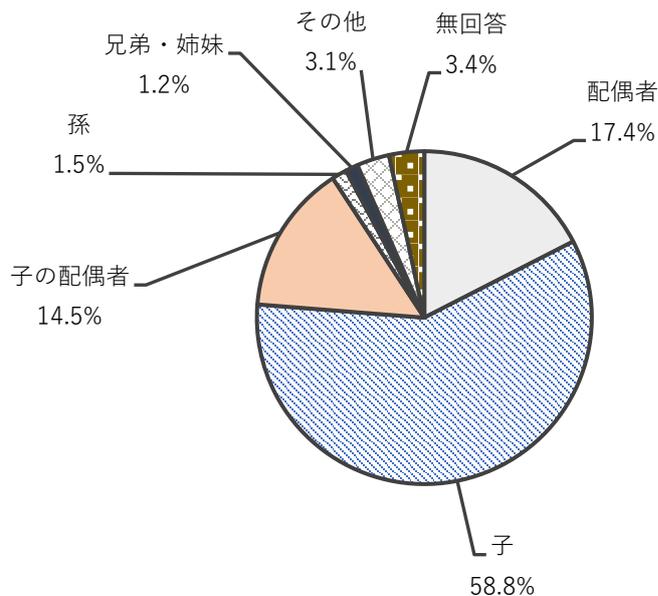
問3 あて名のご本人は、ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含む) (1つだけ○)



n=573

●家族や親族の方からの介護を受ける1週間あたりの頻度をたずねたところ、「ほぼ毎日ある」と回答した人の割合が43.5%と最も高く、次いで、「週に1~2日ある」(13.3%)、「家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない」(7.9%)と続いています。また、「ない」と回答した人の割合は23.4%となっています。

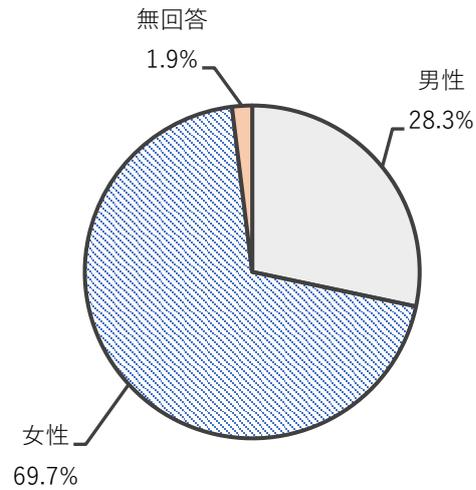
問4 あて名のご本人を、主に介護している方は、どなたですか。(1つだけ○)



n=413

●主に介護者については、「子」と回答した人の割合が58.8%と最も高く、次いで、「配偶者」(17.4%)、「子の配偶者」(14.5%)と続いています。

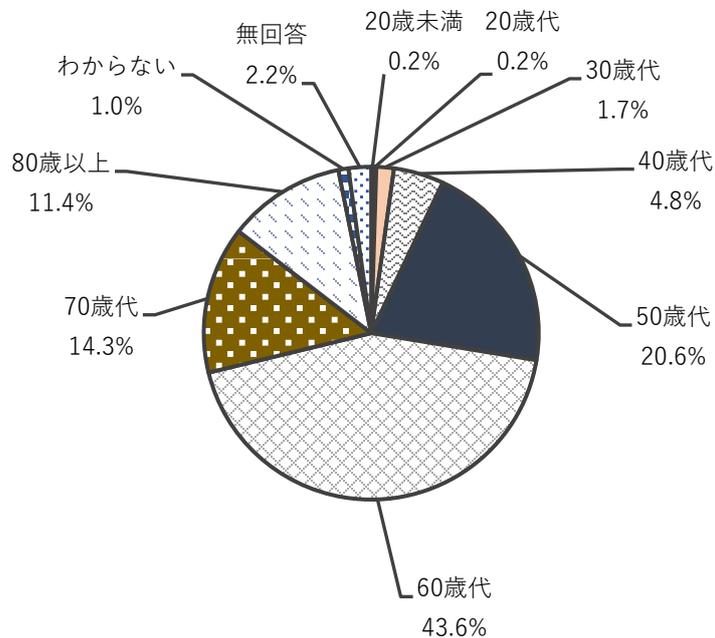
問5 あて名のご本人を、主に介護している方の性別について、ご回答ください。(1つだけ○)



n=413

●主な介護者の性別については、「女性」69.7%、「男性」28.3%となっています。

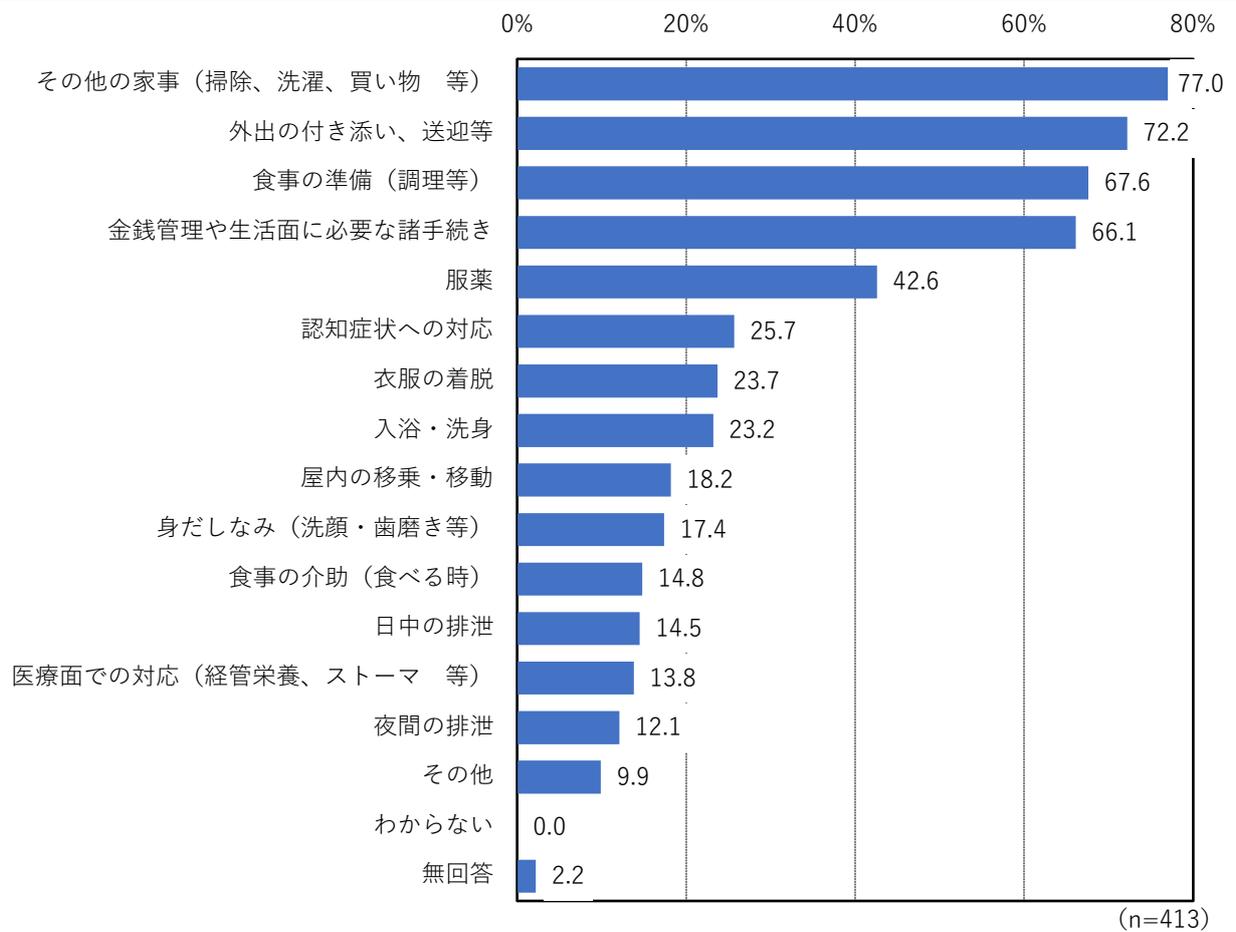
問6 あて名のご本人を、主に介護している方の年齢について、ご回答ください。(1つだけ○)



n=413

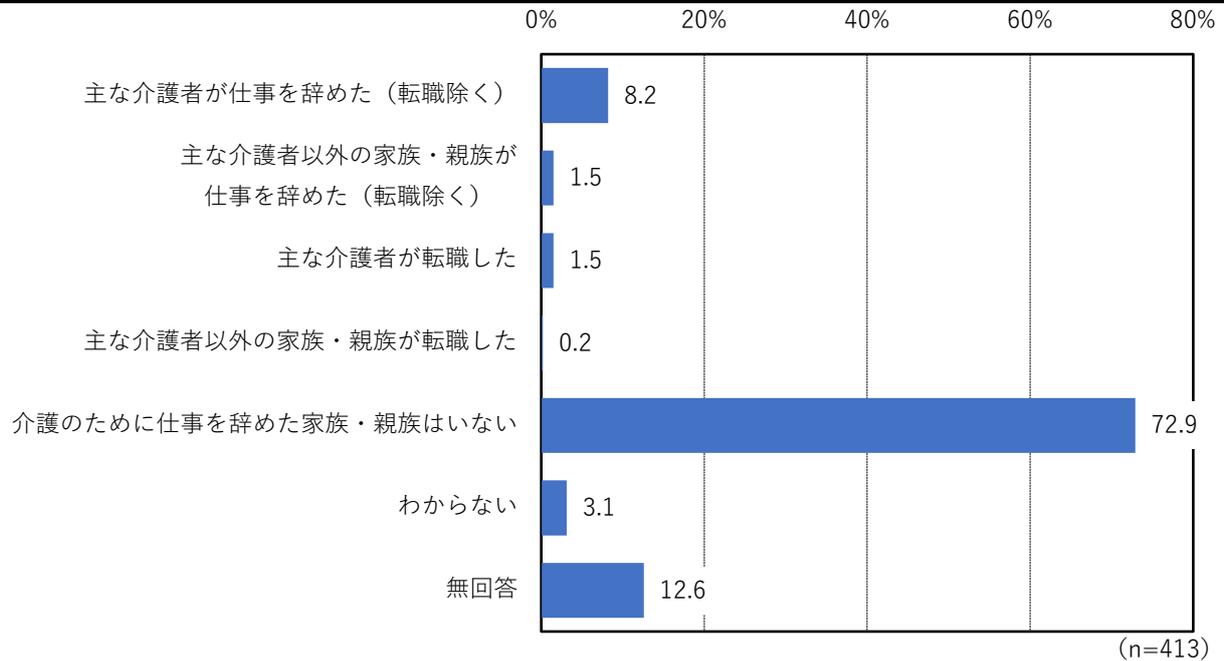
●主な介護者の年齢については、「60歳代」と回答した人の割合が43.6%と最も高く、次いで、「50歳代」(20.6%)、「70歳代」(14.3%)と続いています。

問7 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(いくつでも○)



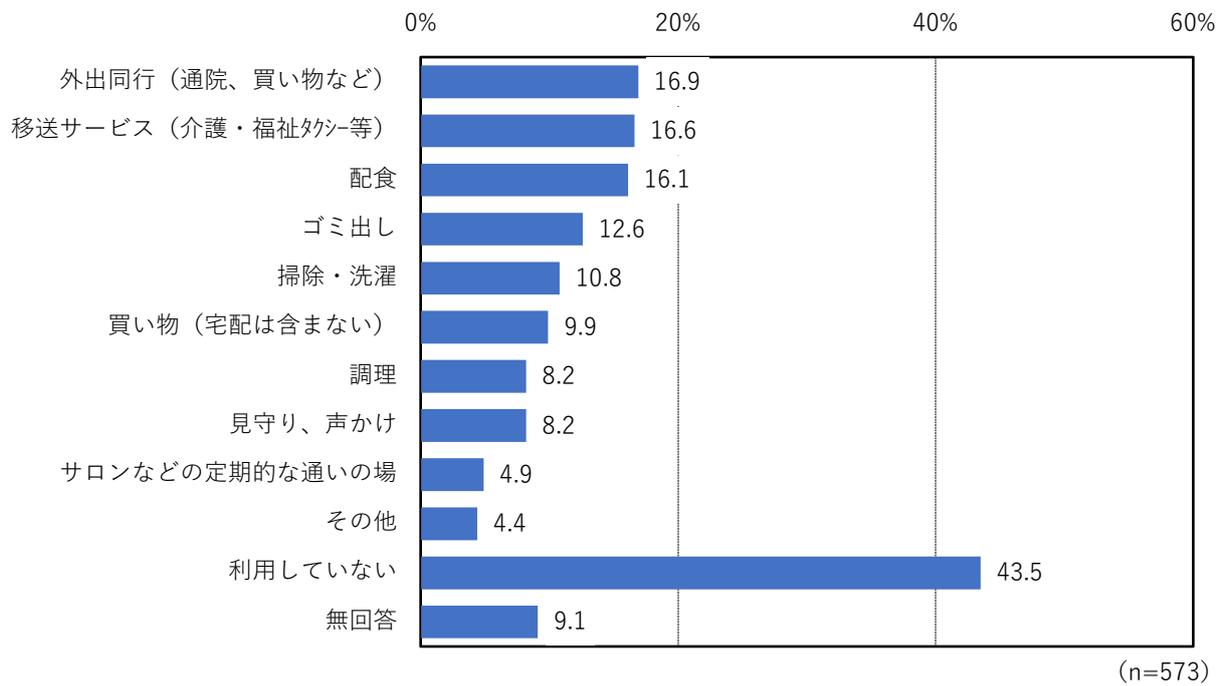
- 主な介護者の方が行っている介護等については、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」と回答した人の割合が77.0%と最も高く、次いで、「外出の付き添い、送迎等」（72.2%）、「食事の準備（調理等）」（67.6%）、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（66.1%）と続いています。

問8 ご家族やご親族の中で、あて名のご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません) (いくつでも○)



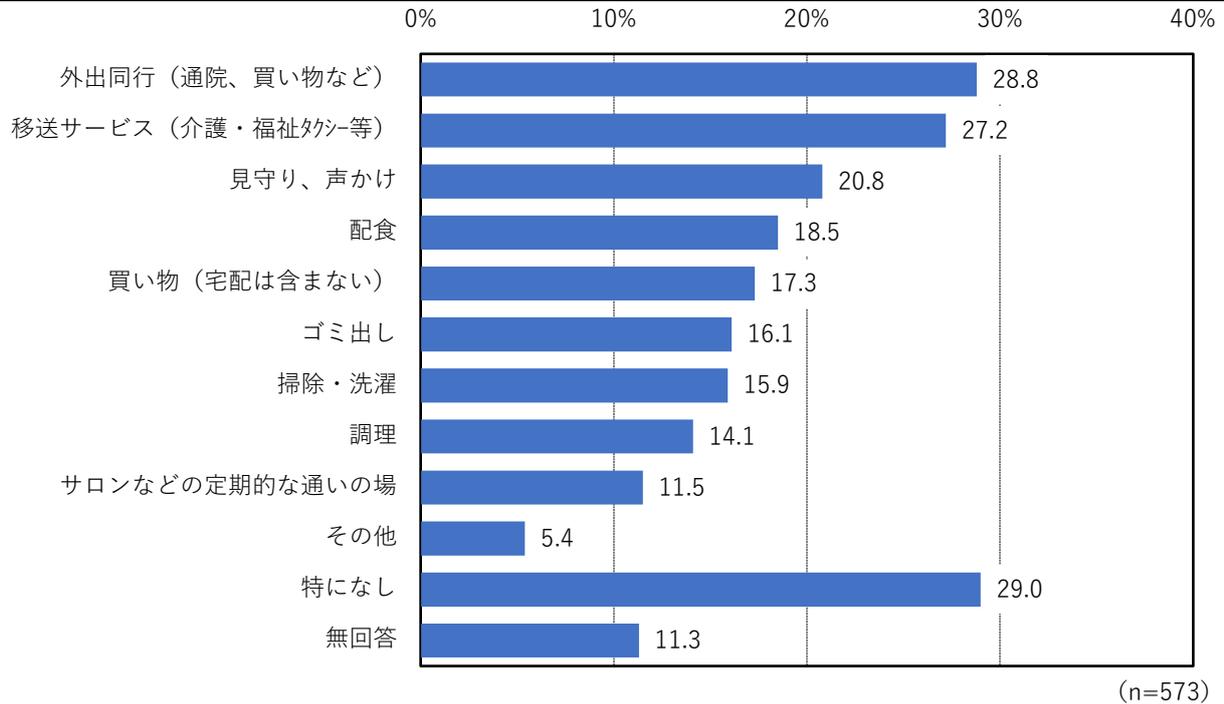
●家族や親族の中にあて名のご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に「主な介護者が仕事を辞めた (転職除く)」と回答した人の割合は 8.2%、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた (転職除く)」と回答した人の割合は 1.5%となっています。

問9 現在、あて名のご本人が利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(いくつでも○)



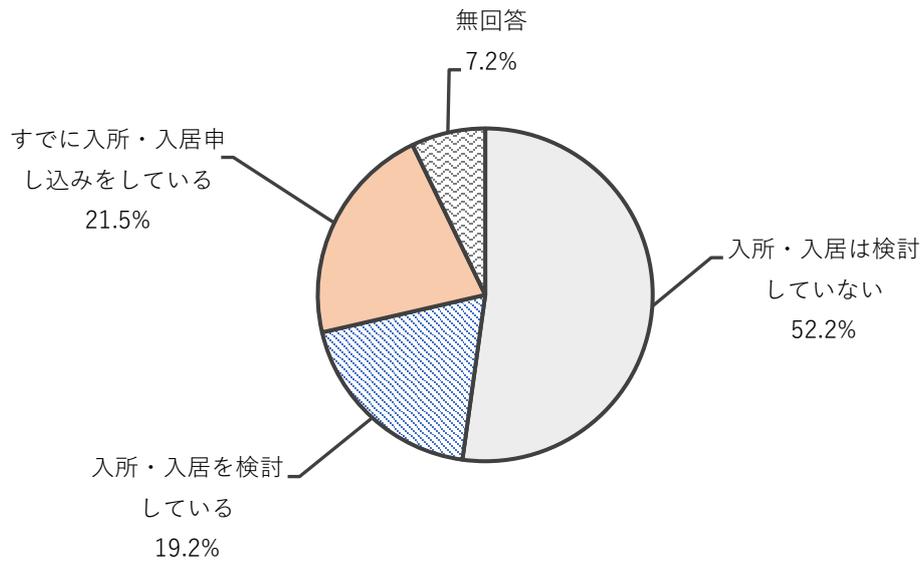
- あて名のご本人が利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスの利用状況については、「利用していない」と回答した人の割合が43.5%となっており、これと無回答(9.1%)を除く47.4%が何らかの介護保険サービス以外の支援・サービスを利用していると回答しています。
- 利用している支援やサービスとしては、「外出同行(通院、買い物など)」が16.9%と最も高く、次いで、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(16.6%)、「配食」(16.1%)と続いています。

問 10 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（いくつでも○）



- 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて「特になし」と回答した人の割合は29.0%となっており、これと無回答（11.3%）を除く59.7%の人は在宅生活の継続するために何らかの支援・サービスが必要と回答しています。
- その支援・サービスとしては、「外出同行（通院、買い物など）」と回答した人の割合が28.8%と最も高く、次いで、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（27.2%）、「見守り、声かけ」（20.8%）と続いています。

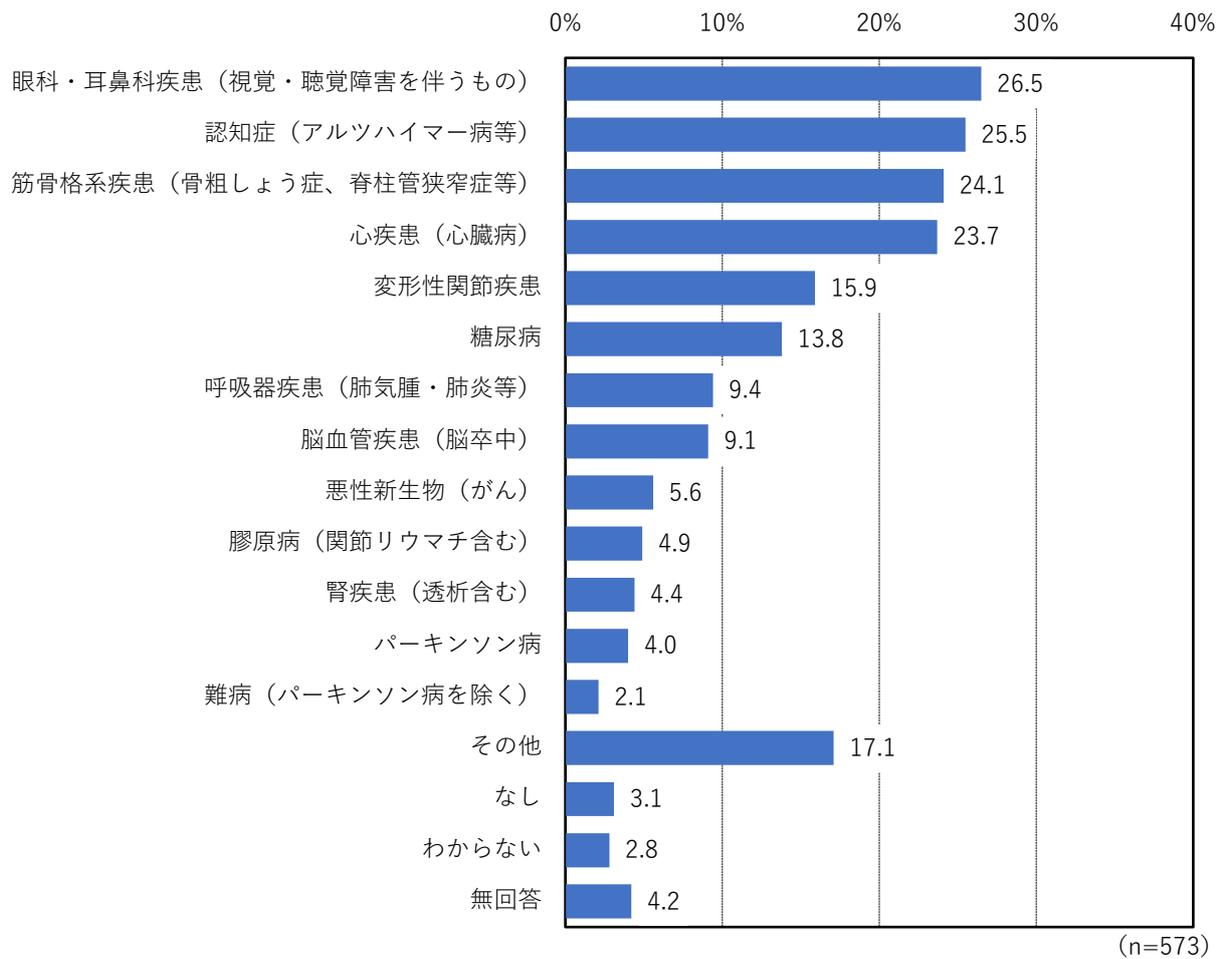
問 11 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(1つだけ○)



n=573

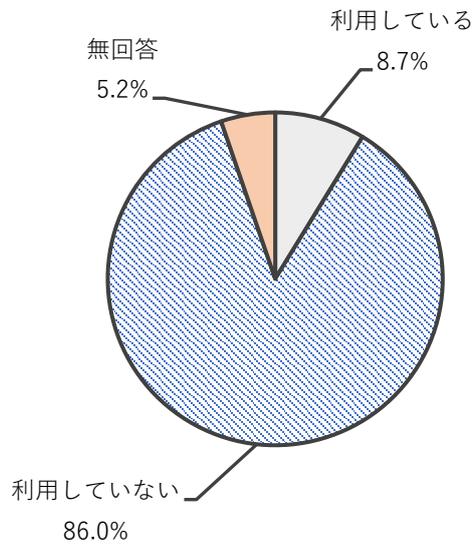
- 現時点で施設等へ「すでに入所・入居申し込みをしている」と回答した人の割合は 21.5%、「入所・入居を検討している」と回答した人の割合は 19.2%となっています。

問12 あて名のご本人が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。(いくつでも○)



- あて名のご本人が、現在抱えている傷病については、「眼科・耳鼻科疾患 (視覚・聴覚障害を伴うもの)」と回答した人の割合が26.5%と最も高く、次いで、「認知症 (アルツハイマー病等)」(25.5%)、「筋骨格系疾患 (骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)」(24.1%)、「心疾患 (心臓病)」(23.7%)と続いています。

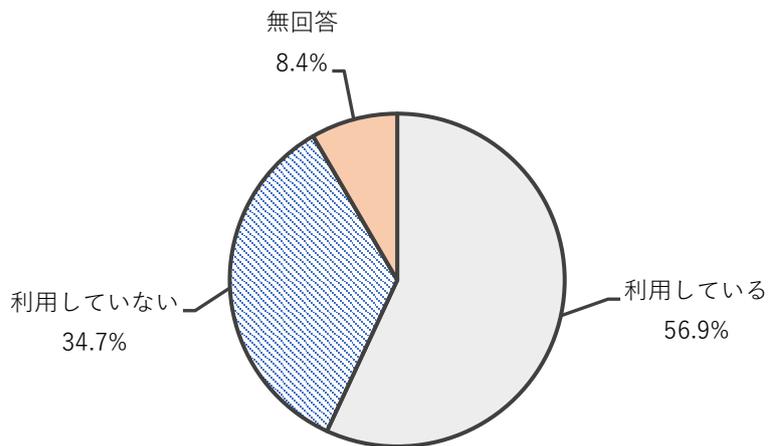
問13 あて名のご本人は、現在、訪問診療を利用していますか。(1つだけ○)



n=573

●「利用している」と回答した人の割合は8.7%となっています。

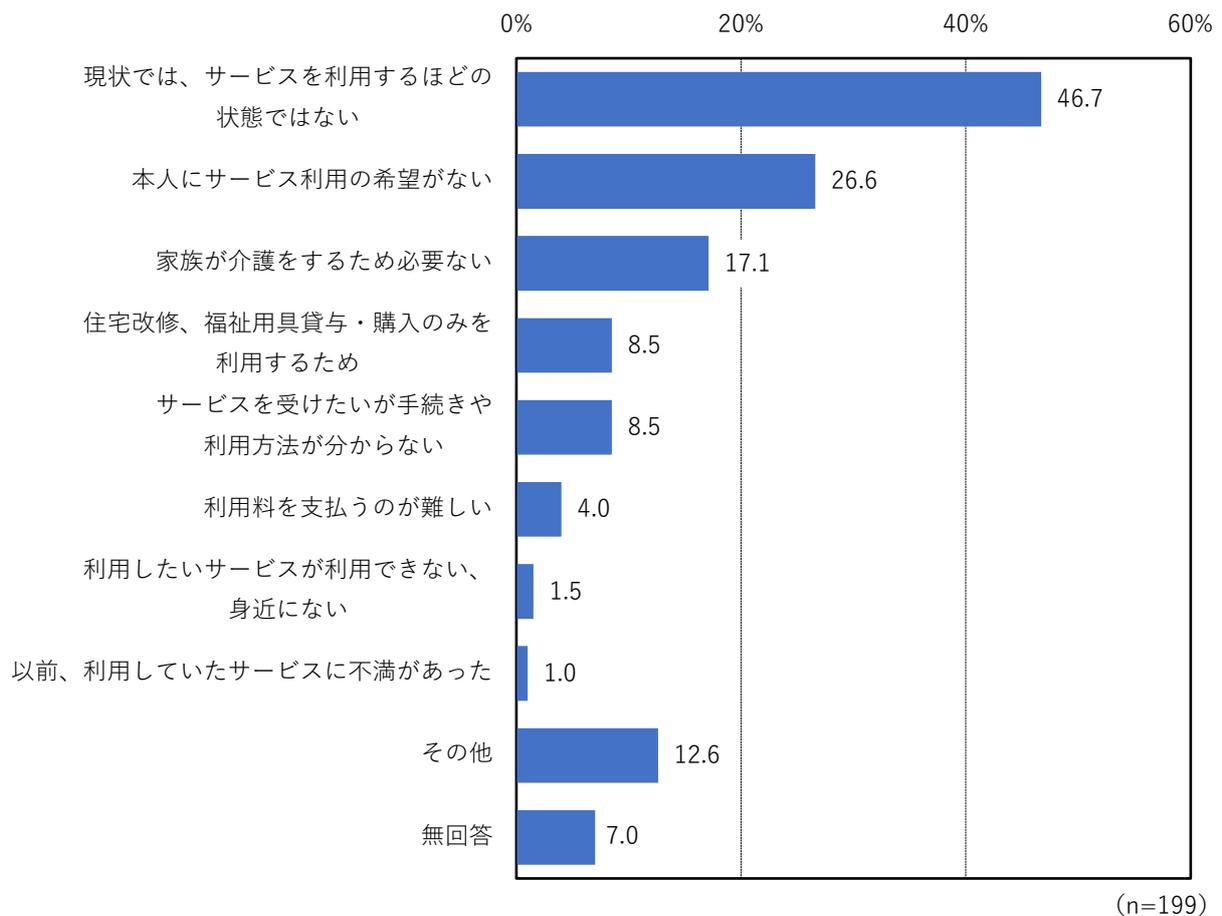
問14 あて名のご本人は、現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか。(1つだけ○)



n=573

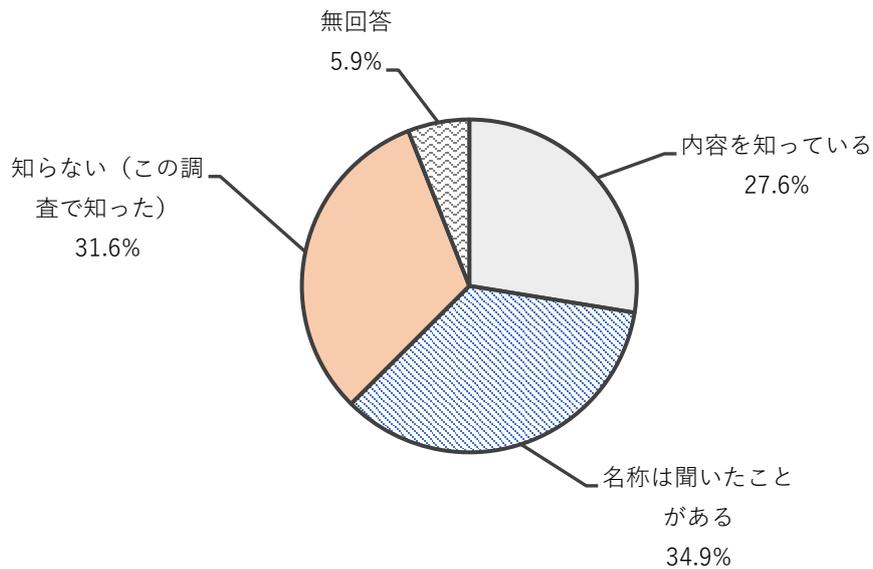
●住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスを「利用している」と回答した人の割合は56.9%となっています。

問 15 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(いくつでも○)



- 前問で住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスを「利用していない」と回答した人にその理由をたずねたところ、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」と回答した人の割合が46.7%と最も高く、次いで、「本人にサービス利用の希望がない」(26.6%)、「家族が介護をするため必要ない」(17.1%)と続いています。

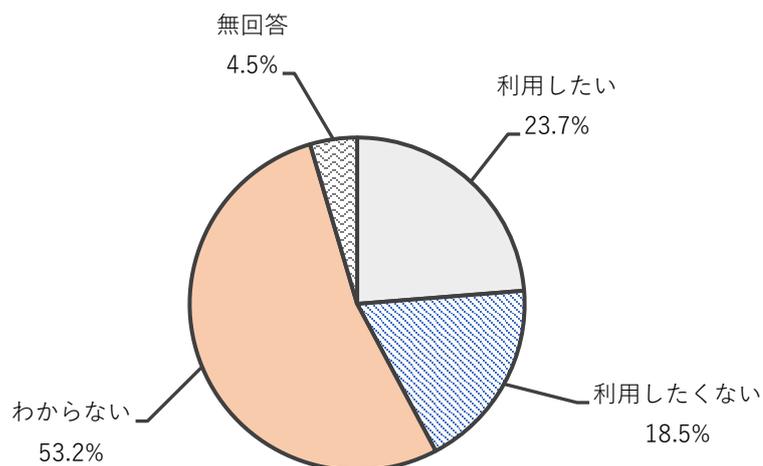
問 16 あなたは「成年後見制度」をご存じですか。



n=573

●成年後見制度の「内容を知っている」と回答した人の割合は 27.6%、「名称は聞いたことがある」と回答した人の割合は 34.9%となっています。

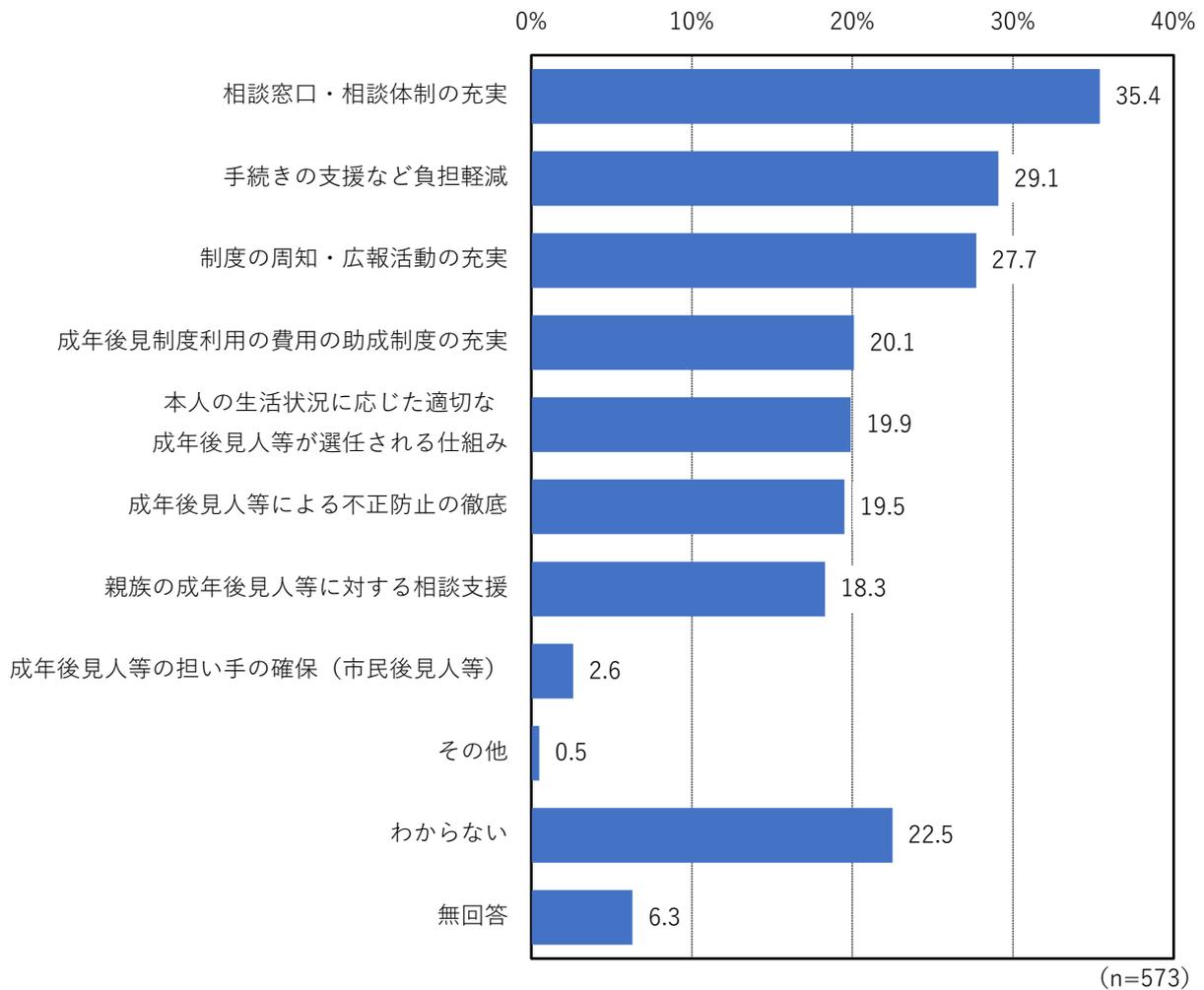
問 17 あなたは、あなた自身や親族が認知症などにより判断能力が十分でなくなったとき、「成年後見制度」を利用したいと思いますか。



n=573

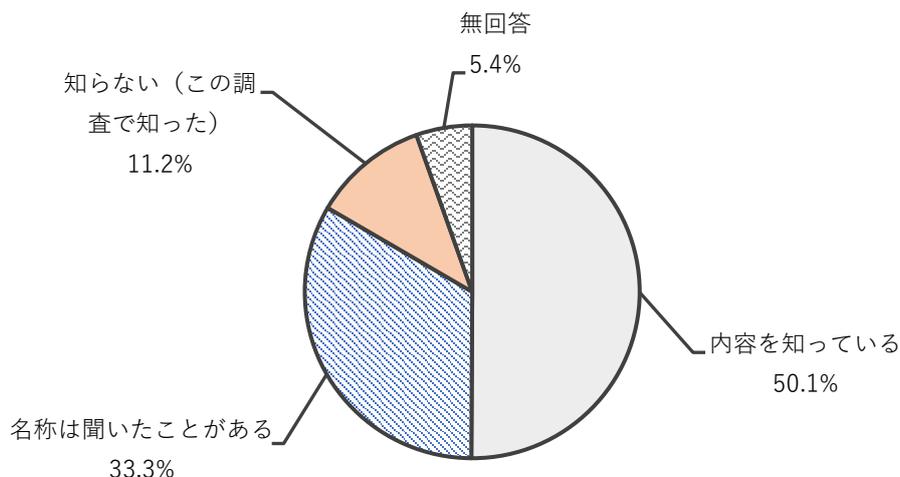
●本人や親族が認知症などにより判断能力が十分でなくなったとき、「成年後見制度」を「利用したい」と回答した人の割合は 23.7%となっています。

問 18 今後「成年後見制度」について利用の促進・充実を図っていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)



●成年後見制度利用の促進・充実を図るために必要なことについては、「相談窓口・相談体制の充実」と回答した人の割合が35.4%と最も高く、次いで、「手続きの支援など負担軽減」(29.1%)、「制度の周知・広報活動の充実」(27.7%)と続いています。

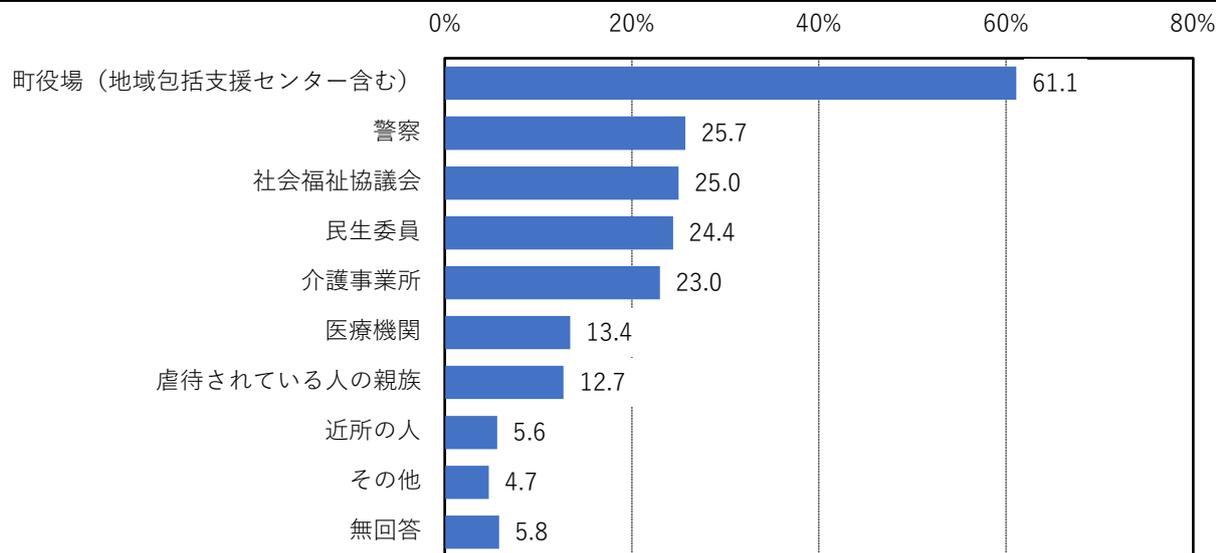
問19 あなたは「高齢者虐待」について知っていますか。



n=573

- 高齢者虐待について「内容を知っている」と回答した人の割合は 50.1%、「名称は聞いたことがある」と回答した人の割合は 33.3%となっています。

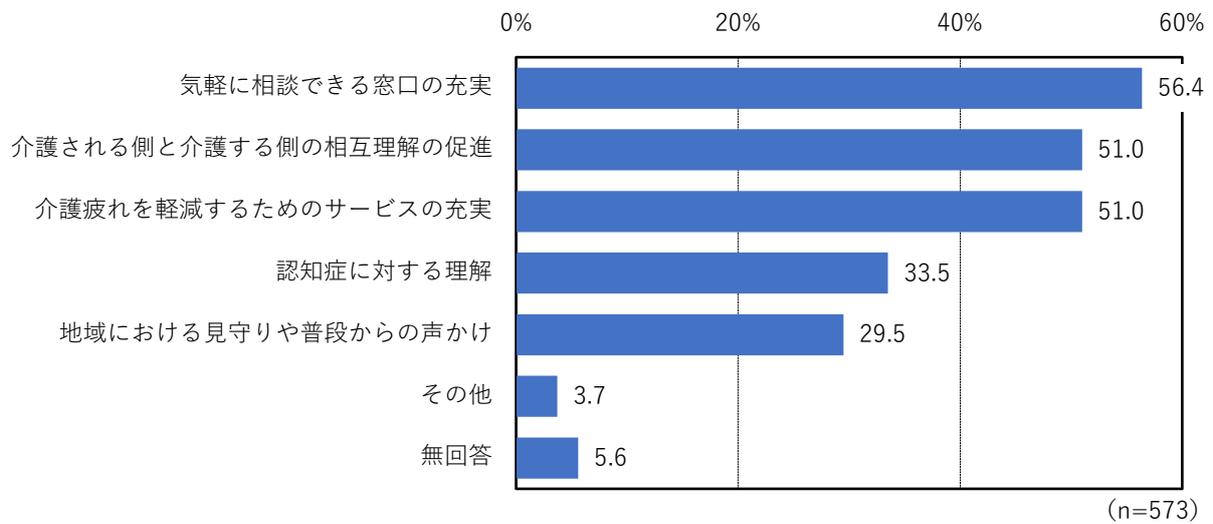
問20 あなたは「高齢者虐待」を疑ったときに、どこに相談しますか。(〇は3つまで)



(n=573)

- 高齢者虐待を疑ったときに、相談する場所としては、「町役場 (地域包括支援センター含む)」と回答した人の割合が 61.1%と最も高く、次いで、「警察」(25.7%)、「社会福祉協議会」(25.0%)、「民生委員」(24.4%)、「介護事業所」(23.0%)と続いています。

問21 あなたは「高齢者虐待」を防止するために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

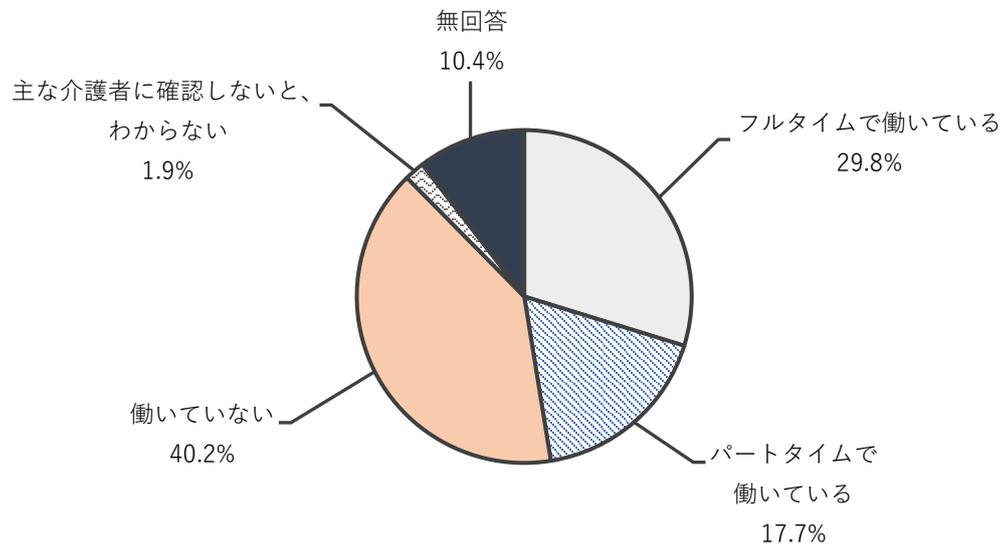


- 高齢者虐待を防止するために必要なことについては、「気軽に相談できる窓口の充実」と回答した人の割合が 56.4%と最も高く、次いで、「介護される側と介護する側の相互理解の促進」、「介護疲れを軽減するためのサービスの充実」（ともに 51.0%）と続いています。

B票

【A問3で「2」～「5」を選択された方】

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つだけ○)

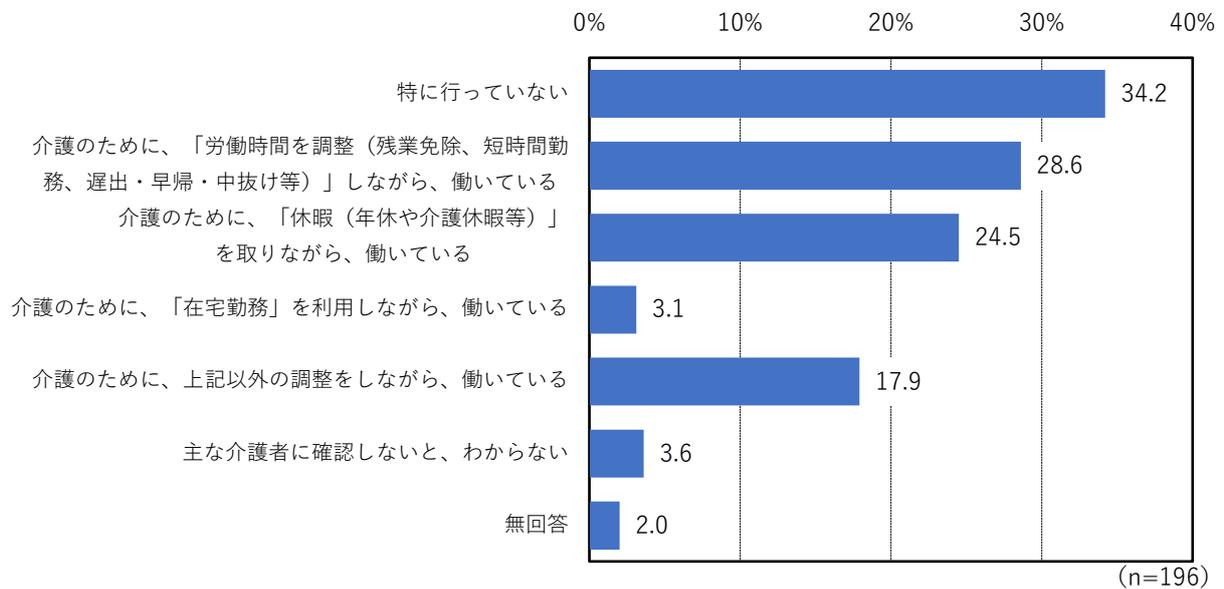


n=413

- 主な介護者の方の現在の勤務形態について、「フルタイムで働いている」と回答した人の割合は29.8%、「パートタイムで働いている」と回答した人の割合は17.7%となっています。

【B問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。】

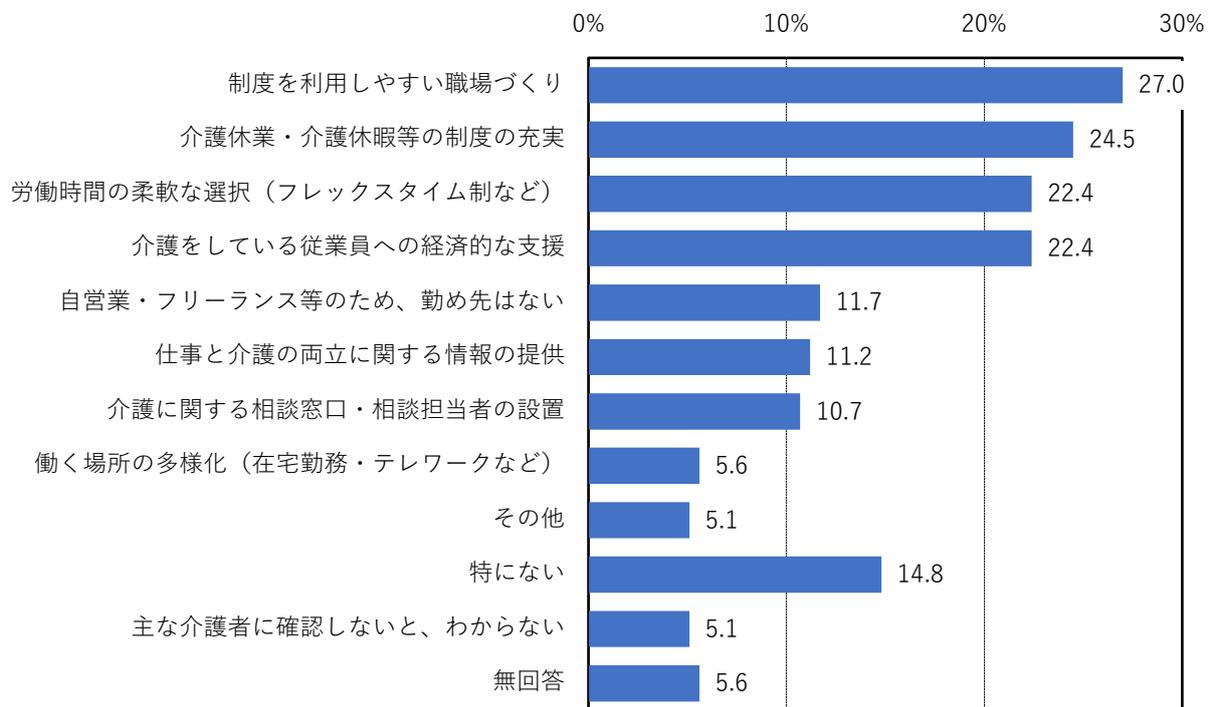
問2 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。(いくつでも○)



- 現在働いていると回答した主な介護者に対し、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っているかたずねたところ、「特に行っていない」と回答した人の割合は 34.2%となっており、これと無回答（2.0%）を除く 63.8%の人は何らかの調整等を行っていると回答しています。
- その調整等の内容については、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 28.6%と最も多く、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」（24.5%）がそれに続いています。

【B問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。】

問3 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(3つまで○)

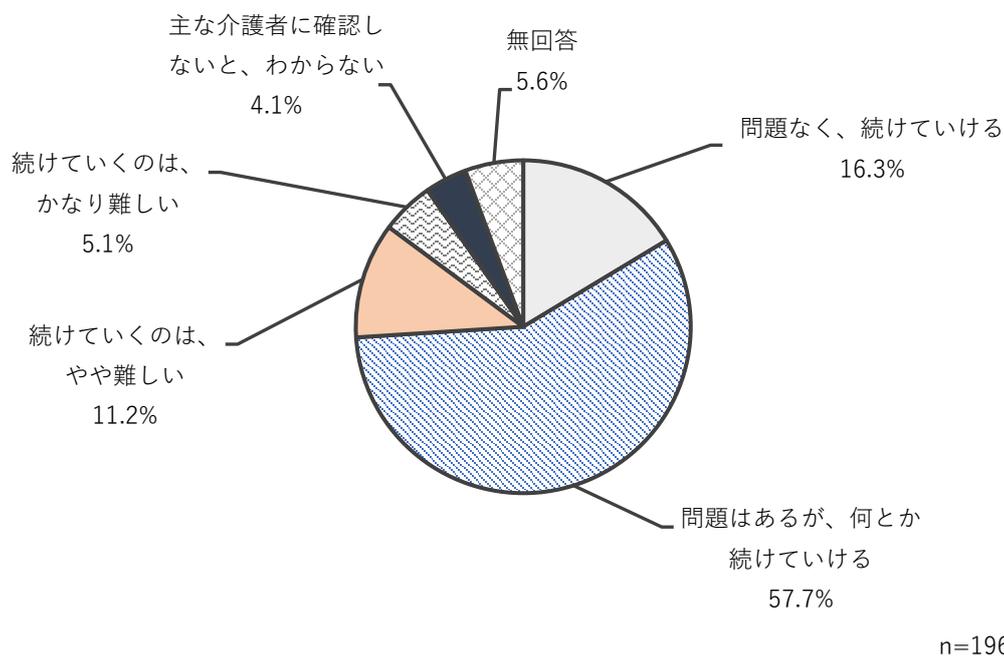


(n=196)

- 現在働いていると回答した主な介護者の方に、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があるかたずねたところ、「制度を利用しやすい職場づくり」と回答した人の割合が27.0%と最も高く、次いで、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」(24.5%)、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」、「介護をしている従業員への経済的な支援」(ともに22.4%)と続いています。

【B問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。】

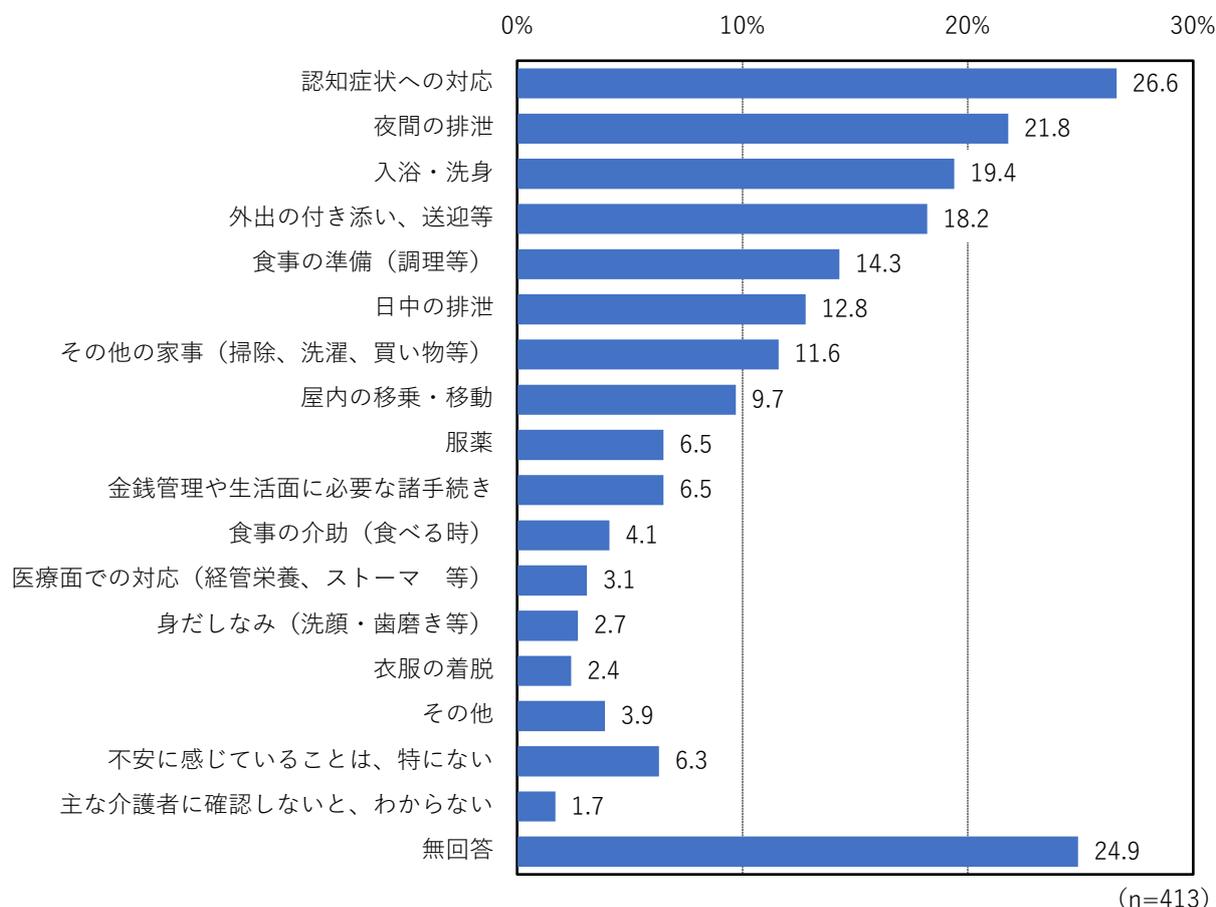
問4 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つだけ○)



- 現在働いていると回答した主な介護者の方に、今後も働きながら介護を続けていけそうかどうかたずねたところ、「続けていくのは、かなり難しい」と回答した人が 5.1%、「続けていくのは、やや難しい」と回答した人が 11.2%となっています。

【A問3で「2」～「5」を選択された方】

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）



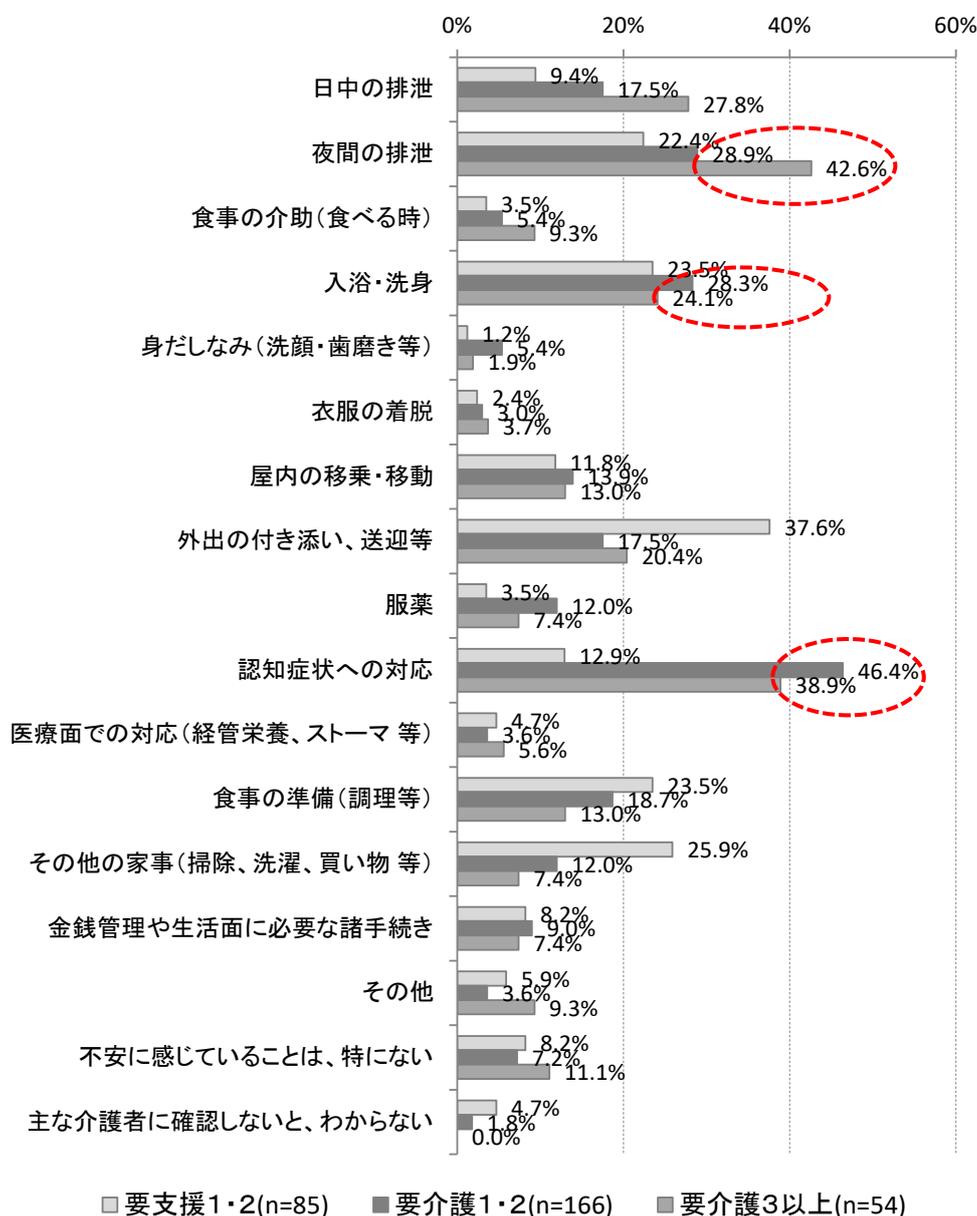
- 主な介護者の方が不安を感じる介護等については、「認知症状への対応」と回答した人の割合が26.6%と最も高く、次いで、「夜間の排泄」（21.8%）、「入浴・洗身」（19.4%）と続いています。

2. 調査の分析

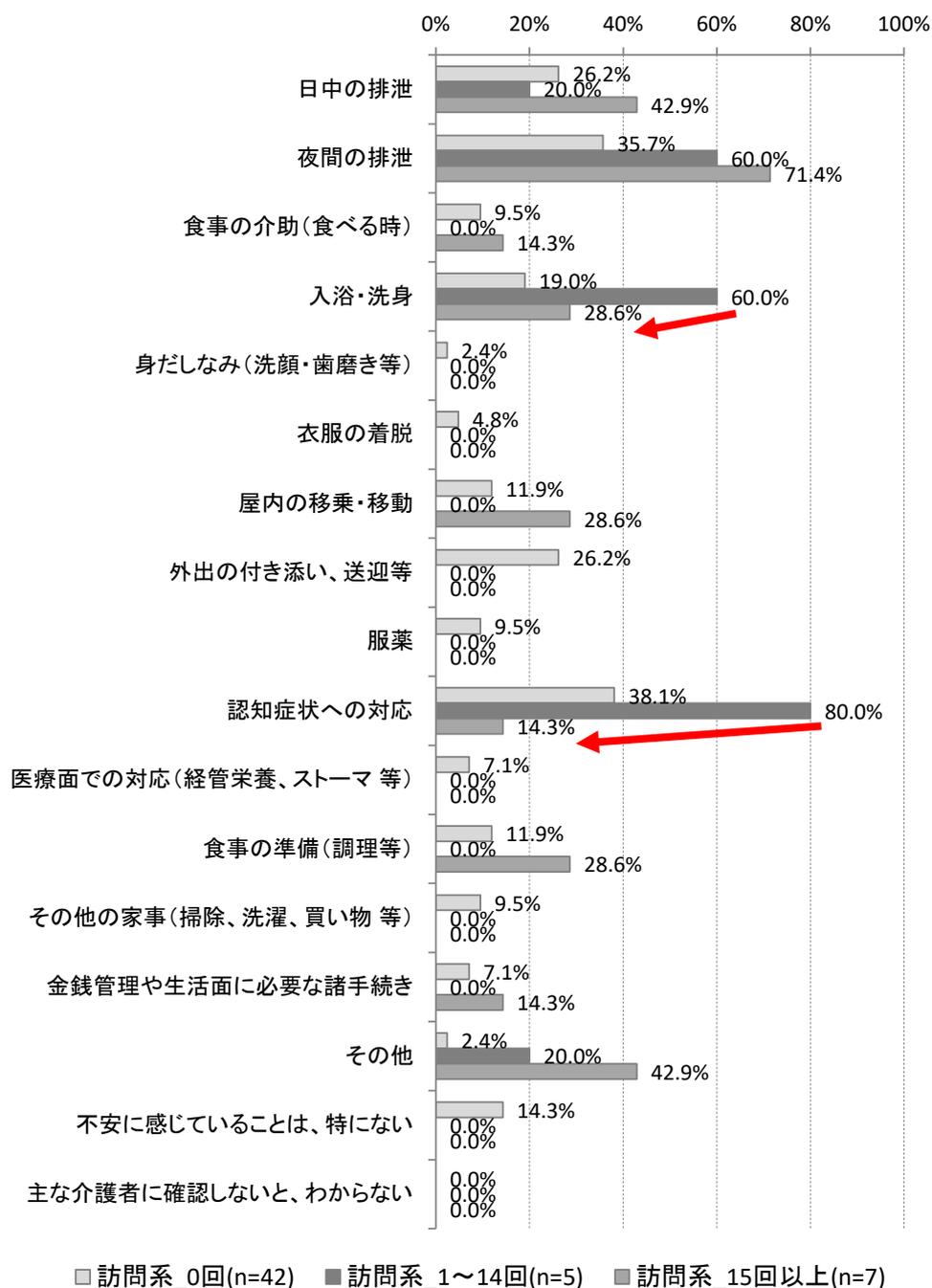
(1) 在宅限界点の向上のための支援・サービス提供体制

在宅生活の継続に向けて、介護者が不安に感じている介護は、要介護1以上で「夜間の排泄」「入浴・洗身」「認知症状への対応」などの回答した割合が高くなっています。特に「認知症状への対応」は、要支援1・2では12.9%が不安に感じていますが、要介護1・2では約3.6倍の46.4%に上昇しています。「入浴・洗身」「認知症状への対応」については、訪問系サービスの利用回数が増えることで、介護者の不安と感じる割合が低下していることから、在宅限界点の向上のため、サービスの提供体制をさらに充実していく必要があります。

要介護度別・介護者が不安を感じる介護（要介護度別）



介護者が不安に感じる介護（訪問系の利用回数別）



(2) 仕事と介護の両立に向けた支援・サービス提供体制

就業継続に対する意識について、「問題はあるが、何とか続けていける」との回答は、要介護者が要介護2以上では61.1%、認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ以上は61.5%となっています。

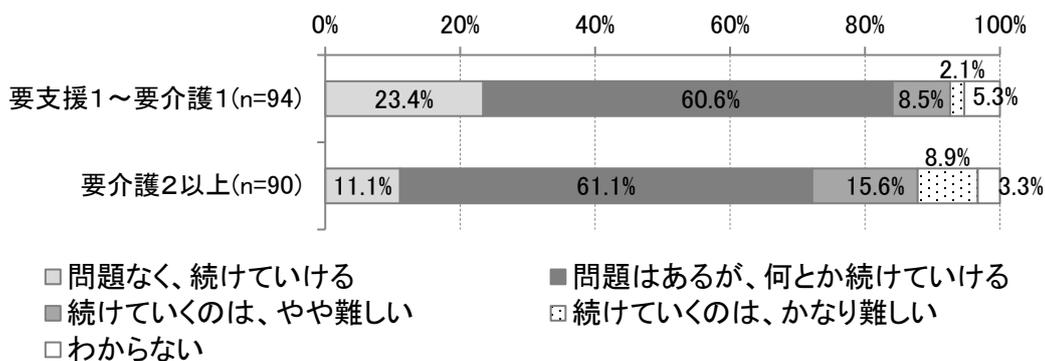
就業を「問題なく、続けていける」と回答した層は要介護度や認知症高齢者の日常生活自立度が軽く、支援ニーズそのものが低い可能性があります。また、「問題はあるが、何とか続けていける」と回答した層は支援ニーズが高いと考えられることから、介護サービスや職場の働き方調整を通じて支援すべき主な対象は、「問題はあるが、何とか続けていける」と回答した層であると考えられます。

「問題はあるが、何とか続けていける層」が不安に感じる介護として、「認知症状への対応」の割合が「続けていくのは、やや難しい」「続けていくのは、かなり難しい」と回答した人の割合よりも高くなっています。また、「日中の排泄」「夜間の排泄」「屋内の移乗・移動」では「問題はあるが、何とか続けていける層」と「続けていくのは、やや難しい」「続けていくのは、かなり難しい」と回答した層に大きな差はみられません。

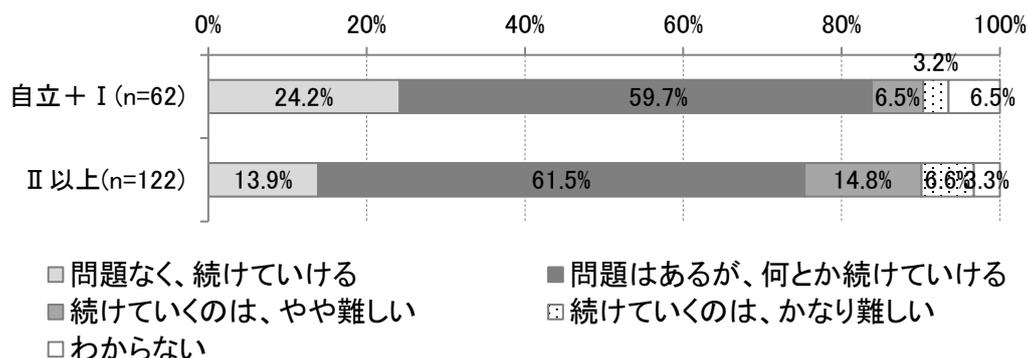
介護者の就労状況により、家族介護者が関わる介護や不安に感じる介護は異なることから、介護サービスに対するニーズもそれぞれ異なります。

多様な介護者の就労状況に合わせ、柔軟な対応が可能となる訪問系サービスや通所系サービスを組み合わせたり、小規模多機能型居宅介護などの包括的サービスを活用したりすることが、仕事と介護の両立を継続させるポイントになると考えられます。

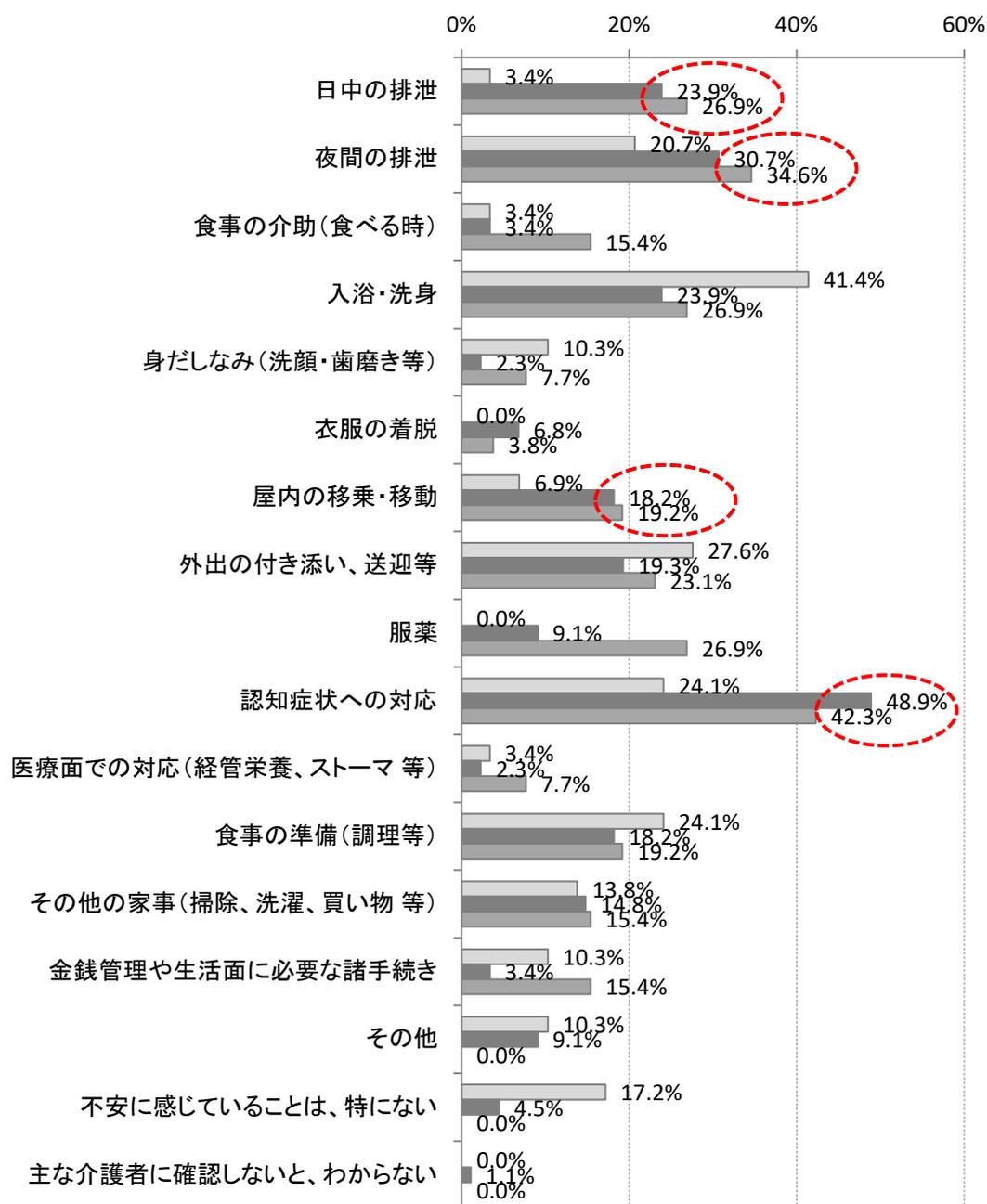
要介護度別・就労継続見込み（フルタイム勤務+パートタイム勤務）



認知症自立度別・就労継続見込み（フルタイム勤務+パートタイム勤務）



就労継続見込み別・介護者が不安に感じる介護（フルタイム勤務+パートタイム勤務）



- 問題なく、続けていける(n=29)
- 問題はあるが、何とか続けていける(n=88)
- 続けていくのは「やや+かなり難しい」(n=26)

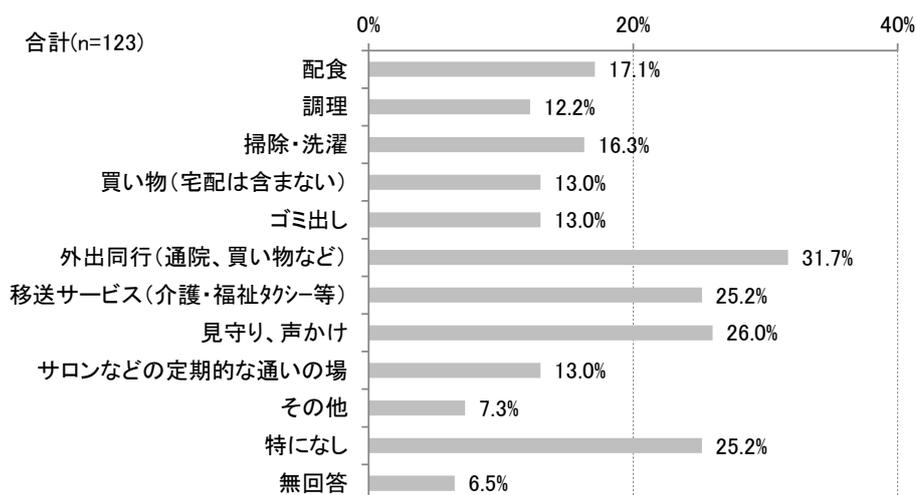
(3) 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備

在宅生活の継続に必要と感じる支援やサービスとして様々な分野にわたり大きなニーズがあることがわかります。

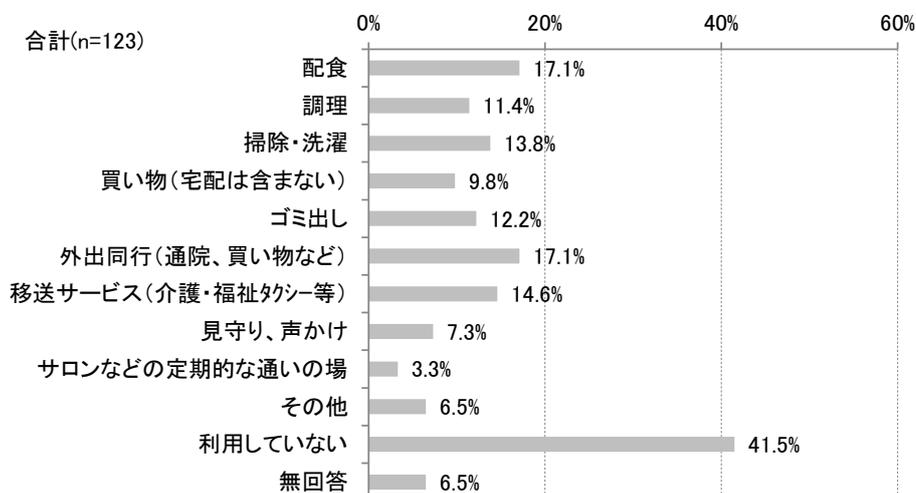
必要と感じる支援やサービスについて、「特になし」と回答した人と、「無回答」の和を除いた 68.3%の人は、何らかのサービスを必要としていることが分かります。一方、保険外の支援やサービスを「利用していない」と回答した人が41.5%になっており、何らかの支援やサービスを利用している人は 52.0%（「利用していない」と回答した人の割合と「無回答」の和を除き算出）となっており、乖離がみられます。

サービスの利用ニーズと実際の利用との差である 16.3%は、ニーズがあるにも関わらず、保険外の支援やサービスの利用に至っていないことがわかります。総合事業や保険外の支援・サービスの積極的な利用促進を図るとともに、地域全体として、全ての要介護者への対応を可能とする支援・サービス提供体制の構築整備を進めていくことが重要であると考えられます。

在宅生活の継続に必要と感じるサービス（フルタイム）

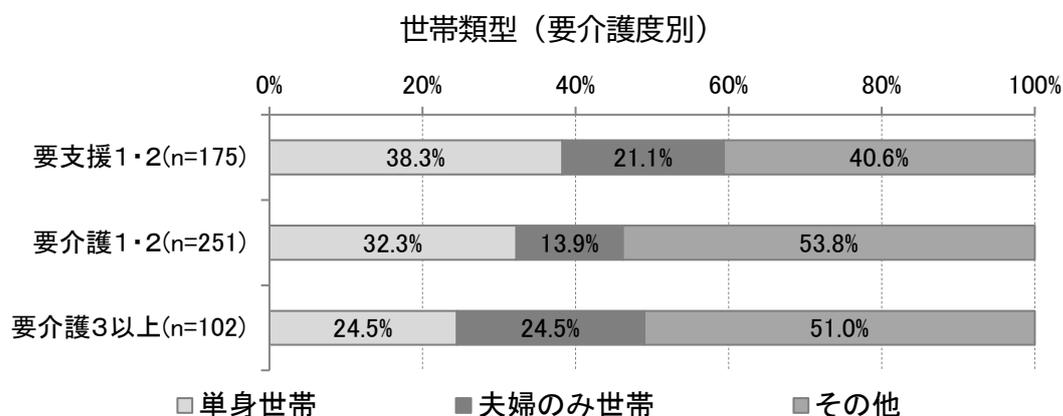
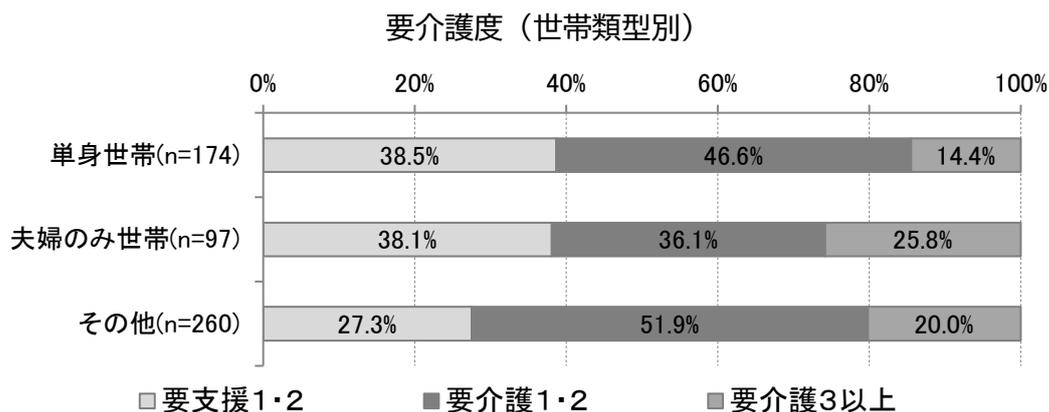


現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービス（フルタイム）



(4) 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制

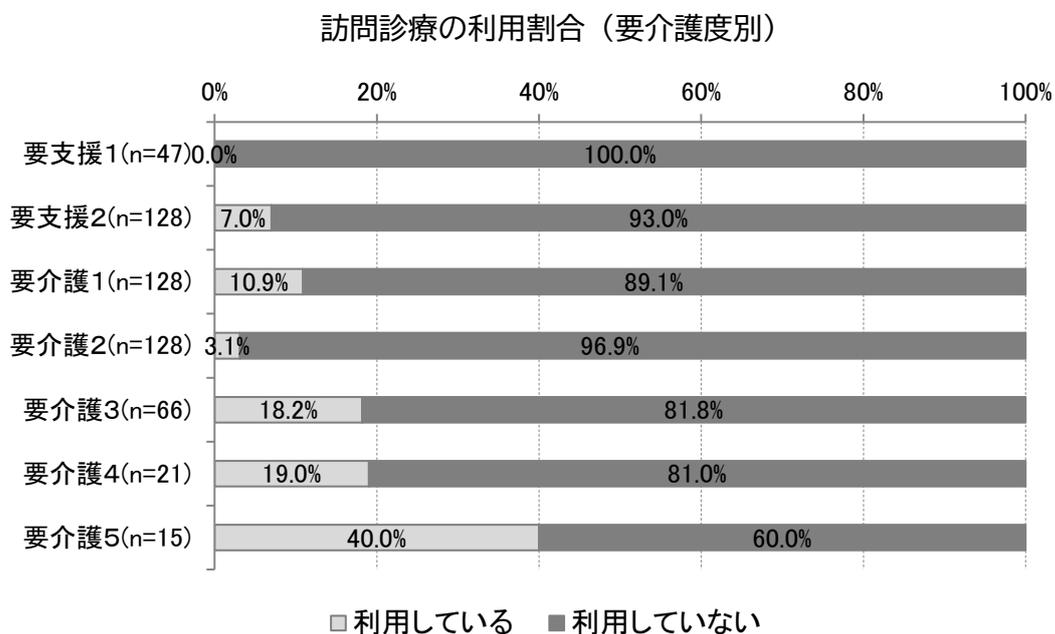
単身世帯の38.5%が要支援1・2であり、要介護1・2を含めると全体の85.1%が比較的軽度であることが分かります。現時点では、要介護3以上のうち、単身世帯は24.5%に過ぎませんが、今後、「単身世帯」かつ「中重度の要介護者」が増加することは事実であることから、単身世帯の在宅療養生活を支えていくための支援やサービスの提供体制の構築が急務となっています。



(5) 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制

要介護度の重度化に伴い、訪問診療の利用割合が増加する傾向がみられることが分かります。特に、要介護4から5にかけては、訪問診療の利用割合が2.1倍に増加していることが特徴的です。

今後、介護と医療の両方のニーズを持つ在宅療養者が大幅に増加することが見込まれます。医療ニーズのある利用者に対応することができる介護保険サービスとして、通いを中心とした包括的サービス拠点の1つとして看護小規模多機能型居宅介護の整備を、訪問介護・看護の包括的サービス拠点として、定期巡回・随時対応型訪問介護看護の整備を進めていくことが必要と考えられます。



第4章 資料編

1. 調査票（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

宛名シールは
剥がさないでください。

（宛名ラベル）

まんのう町介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

【調査ご協力をお願い】

日頃から町行政へのご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

市町村は、3年毎に高齢者保健福祉事業の目標や方針などを定める計画と、介護保険事業のサービス量や費用、方針などを定める計画を作成することとされています。このため、まんのう町では、令和6年度から令和8年度までを計画期間とする「まんのう町高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画」を策定するにあたり、日頃の生活や介護の状況、サービスの利用意向などの実態を調査し、今後の高齢者福祉サービスや健康づくりの方策の検討と計画策定における基礎資料とさせていただきます。

つきましては、お忙しい中大変恐縮ですが、調査の趣旨にご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和4年11月

まんのう町長 栗田 隆義

調査票記入後は、調査票全て（表紙も含む）を同封の返信用封筒に入れ、

12月5日（月）までに、切手を貼らずにポストに投函してください。

※役場窓口に持参をしていただいても構いません。

【お問い合わせ先】

まんのう町役場 福祉保険課

電話 0877-73-0125

記入に際してのお願い

- この調査の対象者は、令和4年10月1日現在、65歳以上の方で介護認定を受けておられない方の中から無作為に抽出した方です。
- あて名のご本人が記入できない場合は、ご家族の方などがご本人の意思を尊重して代わってご回答くださるようお願いいたします。
- 本アンケートは、スマートフォンやパソコンからインターネットを通じてオンラインで回答をいただくこともできます。QRコードまたはURLから回答にお進みください。



<https://wsurvey.jp/s.php?clear=1&a=man-78->

- この調査で使う用語の意味は、以下の通りです。
 介護…介護保険のサービスを受けている場合のほか、介護認定を受けていない場合でも、常時ご家族などの援助を受けている状態
 介助…ご自分の意思により、一時的に他人に援助を頼んでいる状態

記入例	ご回答にあたっては質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲んでください。	①. はい 2. いいえ		
	数字を記入する欄は右詰めでご記入ください。	<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">6</td> <td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">2</td> </tr> </table> kg		6
	6	2		

【個人情報の取り扱いについて】

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

■個人情報の保護及び活用目的について

- この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、町の介護保険事業計画策定の目的以外には使用いたしません。また、当該情報については、まんの町個人情報保護条例に基づき、町で適切に管理いたします。
- ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。（お名前などの個人情報は出ません。）

★まず、上記をお読みいただいて、以下に記入をお願いします。

回答者の方へ	記入日						
	令和 年 月 日						
	調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。						
	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;">1. あて名のご本人</td> <td style="width: 50%; border: none;">2. 主な介護者となっている家族・親族</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">3. 主な介護者以外の家族・親族</td> <td style="border: none;">4. 調査対象者のケアマネジャー</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">5. その他</td> <td style="border: none;"></td> </tr> </table>	1. あて名のご本人	2. 主な介護者となっている家族・親族	3. 主な介護者以外の家族・親族	4. 調査対象者のケアマネジャー	5. その他	
	1. あて名のご本人	2. 主な介護者となっている家族・親族					
3. 主な介護者以外の家族・親族	4. 調査対象者のケアマネジャー						
5. その他							

⇒次ページからご回答をお願いします。

問1 あなたのご家族や生活状況について

1	家族構成をお教えてください。(1つだけ)																
	1. 1人暮らし 2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) 3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) 4. 息子・娘との2世帯 5. その他																
2	あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要です。(1つだけ)																
	1. 介護・介助は必要ない ⇒ <input type="text" value="3"/> へ 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない ⇒ <input type="text" value="2-1"/> へ 3. 現在、何らかの介護を受けている ⇒ <input type="text" value="2-1"/> , <input type="text" value="2-2"/> へ (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)																
	2で「2」または「3」と答えた方(介護・介助が必要な方)のみ、お答えください。																
	2-1 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(いくつでも)																
	<table border="0"> <tr> <td>1. <small>のうそつちゅう</small> 脳卒中 (<small>のうしゅつ</small> 脳出血・ <small>のうこうそく</small> 脳梗塞等)</td> <td>2. <small>しんぞうびょう</small> 心臓病</td> </tr> <tr> <td>3. <small>あくせいしんせいぶつ</small> がん (悪性新生物)</td> <td>4. <small>こきゅうき</small> 呼吸器の病気 (<small>はいきしゅ</small> 肺気腫・ <small>はいえん</small> 肺炎等)</td> </tr> <tr> <td>5. <small>かんせつ</small> 関節の病気 (<small>りゅうマチ</small> リウマチ等)</td> <td>6. <small>にんちしやう</small> 認知症 (<small>アルツハイマー</small> アルツハイマー病等)</td> </tr> <tr> <td>7. <small>ぱーきんそん</small> パーキンソン病</td> <td>8. <small>とうにようびやう</small> 糖尿病</td> </tr> <tr> <td>9. <small>じんしつかん</small> 腎疾患 (<small>とうせき</small> 透析含む)</td> <td>10. <small>しかく</small> 視覚・ <small>ちやうかくしやうがい</small> 聴覚障害</td> </tr> <tr> <td>11. <small>こっせつ</small> 骨折・ <small>てんとう</small> 転倒</td> <td>12. <small>せきついぞんしやう</small> 脊椎損傷</td> </tr> <tr> <td>13. <small>こうれい</small> 高齢による <small>すいじゃく</small> 衰弱</td> <td>14. その他 ()</td> </tr> <tr> <td>15. 不明</td> <td></td> </tr> </table>	1. <small>のうそつちゅう</small> 脳卒中 (<small>のうしゅつ</small> 脳出血・ <small>のうこうそく</small> 脳梗塞等)	2. <small>しんぞうびょう</small> 心臓病	3. <small>あくせいしんせいぶつ</small> がん (悪性新生物)	4. <small>こきゅうき</small> 呼吸器の病気 (<small>はいきしゅ</small> 肺気腫・ <small>はいえん</small> 肺炎等)	5. <small>かんせつ</small> 関節の病気 (<small>りゅうマチ</small> リウマチ等)	6. <small>にんちしやう</small> 認知症 (<small>アルツハイマー</small> アルツハイマー病等)	7. <small>ぱーきんそん</small> パーキンソン病	8. <small>とうにようびやう</small> 糖尿病	9. <small>じんしつかん</small> 腎疾患 (<small>とうせき</small> 透析含む)	10. <small>しかく</small> 視覚・ <small>ちやうかくしやうがい</small> 聴覚障害	11. <small>こっせつ</small> 骨折・ <small>てんとう</small> 転倒	12. <small>せきついぞんしやう</small> 脊椎損傷	13. <small>こうれい</small> 高齢による <small>すいじゃく</small> 衰弱	14. その他 ()	15. 不明	
1. <small>のうそつちゅう</small> 脳卒中 (<small>のうしゅつ</small> 脳出血・ <small>のうこうそく</small> 脳梗塞等)	2. <small>しんぞうびょう</small> 心臓病																
3. <small>あくせいしんせいぶつ</small> がん (悪性新生物)	4. <small>こきゅうき</small> 呼吸器の病気 (<small>はいきしゅ</small> 肺気腫・ <small>はいえん</small> 肺炎等)																
5. <small>かんせつ</small> 関節の病気 (<small>りゅうマチ</small> リウマチ等)	6. <small>にんちしやう</small> 認知症 (<small>アルツハイマー</small> アルツハイマー病等)																
7. <small>ぱーきんそん</small> パーキンソン病	8. <small>とうにようびやう</small> 糖尿病																
9. <small>じんしつかん</small> 腎疾患 (<small>とうせき</small> 透析含む)	10. <small>しかく</small> 視覚・ <small>ちやうかくしやうがい</small> 聴覚障害																
11. <small>こっせつ</small> 骨折・ <small>てんとう</small> 転倒	12. <small>せきついぞんしやう</small> 脊椎損傷																
13. <small>こうれい</small> 高齢による <small>すいじゃく</small> 衰弱	14. その他 ()																
15. 不明																	
	2で「3」と答えた方(現在、何らかの介護を受けている方)のみ、お答えください。																
	2-2 主にどなたの介護・介助を受けていますか。(いくつでも)																
	<table border="0"> <tr> <td>1. 配偶者(夫・妻)</td> <td>2. 息子</td> <td>3. 娘</td> </tr> <tr> <td>4. 子の配偶者</td> <td>5. 孫</td> <td>6. 兄弟・姉妹</td> </tr> <tr> <td>7. 介護サービスのヘルパー</td> <td>8. その他 ()</td> <td></td> </tr> </table>	1. 配偶者(夫・妻)	2. 息子	3. 娘	4. 子の配偶者	5. 孫	6. 兄弟・姉妹	7. 介護サービスのヘルパー	8. その他 ()								
1. 配偶者(夫・妻)	2. 息子	3. 娘															
4. 子の配偶者	5. 孫	6. 兄弟・姉妹															
7. 介護サービスのヘルパー	8. その他 ()																

3	現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つだけ)		
	1. 大変苦しい	2. やや苦しい	3. ふつう
	4. ややゆとりがある	5. 大変ゆとりがある	
4	お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(1つだけ)		
	1. 持家(一戸建て)	2. 持家(集合住宅)	3. <small>こうえいちんないじゅうたく</small> 公営賃貸住宅
	4. <small>みんかanchんたいじゅうたく</small> 民間賃貸住宅(一戸建て)	5. <small>みんかanchんたいじゅうたく</small> 民間賃貸住宅(集合住宅)	6. 借家
	7. その他()		

問2 からだを動かすことについて

1	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つだけ)		
	1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つだけ)		
	1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
3	15分位続けて歩いていますか。(1つだけ)		
	1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
4	過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つだけ)		
	1. 何度もある	2. 1度ある	3. ない
5	転倒に対する不安は大きいですか。(1つだけ)		
	1. とても不安である	2. やや不安である	3. あまり不安でない
			4. 不安でない
6	週に1回以上は外出していますか。(1つだけ)		
	1. ほとんど外出しない	2. 週1回	3. 週2~4回
			4. 週5回以上

3	お茶や汁物等でむせることがありますか。(1つだけ)	
	1. はい	2. いいえ
4	口の渴きが気になりますか。(1つだけ)	
	1. はい	2. いいえ
5	歯磨き(人にやってもら場合も含む)を毎日していますか。(1つだけ)	
	1. はい	2. いいえ
6	歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください。(1つだけ) (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。)	
	1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
	3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし
	6-1 噛み合わせは良いですか。(1つだけ)	
	1. はい	2. いいえ
	6で「1」または「3」と答えた方(入れ歯ありの方)のみ、お答えください。	
	6-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(1つだけ)	
	1. はい	2. いいえ
7	6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか。(1つだけ)	
	1. はい	2. いいえ
8	どなたかと食事をとにする機会がありますか。(1つだけ)	
	1. 毎日ある	2. 週に何度かある
	3. 月に何度かある	4. 年に何度かある
	5. ほとんどない	

問4 毎日の生活について

1	物忘れが多いと感じますか。(1つだけ)	
	1. はい	2. いいえ

13	友人の家を訪ねていますか。(1つだけ)
1.	はい
2.	いいえ
14	家族や友人の相談にのっていますか。(1つだけ)
1.	はい
2.	いいえ
15	病人を見舞うことができますか。(1つだけ)
1.	はい
2.	いいえ
16	若い人に自分から話しかけることがありますか。(1つだけ)
1.	はい
2.	いいえ
17	趣味はありますか。(1つだけ)
1.	趣味あり ⇒ (趣味の内容:)
2.	思いつかない
18	生きがいがありますか。(1つだけ)
1.	生きがいあり ⇒ (生きがいの内容:)
2.	思いつかない

問5 地域での活動について

1	以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。(①～⑧それぞれ1つ)		
①ボランティアのグループ	1. 週4回以上	2. 週2～3回	3. 週1回
	4. 月1～3回	5. 年に数回	6. 参加していない
②スポーツ関係のグループやクラブ	1. 週4回以上	2. 週2～3回	3. 週1回
	4. 月1～3回	5. 年に数回	6. 参加していない
③趣味関係のグループ	1. 週4回以上	2. 週2～3回	3. 週1回
	4. 月1～3回	5. 年に数回	6. 参加していない

④学習・教養サークル	1. 週4回以上 4. 月1～3回	2. 週2～3回 5. 年に数回	3. 週1回 6. 参加していない
⑤(いきいきふれあいサロンなど) 介護予防のための通いの場	1. 週4回以上 4. 月1～3回	2. 週2～3回 5. 年に数回	3. 週1回 6. 参加していない
⑥老人クラブ	1. 週4回以上 4. 月1～3回	2. 週2～3回 5. 年に数回	3. 週1回 6. 参加していない
⑦町内会・自治会	1. 週4回以上 4. 月1～3回	2. 週2～3回 5. 年に数回	3. 週1回 6. 参加していない
⑧収入のある仕事	1. 週4回以上 4. 月1～3回	2. 週2～3回 5. 年に数回	3. 週1回 6. 参加していない

2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つだけ)

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(1つだけ)

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

問6 たすけあいについて

※あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。

1	あなたの心配事や愚痴 <small>ぐち</small> を聞いてくれる人。(いくつでも)		
1.	配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども
4.	兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人
7.	その他()	8.	そのような人はいない

2	反対に、あなたが心配事や愚痴 ^{ぐち} を聞いてあげる人。(いくつでも)		
	1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども
	4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人
	7. その他()	8. そのような人はいない	
3	あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。(いくつでも)		
	1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども
	4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人
	7. その他()	8. そのような人はいない	
4	反対に、看病や世話をしてあげる人。(いくつでも)		
	1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども
	4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人
	7. その他()	8. そのような人はいない	
5	家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(いくつでも)		
	1. 自治会・町内会・老人クラブ	2. 社会福祉協議会・民生委員	
	3. ケアマネジャー	4. 医師・歯科医師・看護師	
	5. 役場・地域包括支援センター		
	6. その他()		
	7. そのような人はいない		
6	友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(1つだけ)		
	1. 毎日ある	2. 週に何度かある	3. 月に何度かある
	4. 年に何度かある	5. ほとんどない	
7	この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(1つだけ)		
	1. 0人(いない)	2. 1~2人	3. 3~5人
	4. 6~9人	5. 10人以上	

8	よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)
	1. 近所・同じ地域の人 2. 幼なじみ 3. 学生時代の友人 4. 仕事での同僚・元同僚 5. 趣味や関心が同じ友人 6. ボランティア等の活動での友人 7. その他 () 8. いない

問7 健康について

1	現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つだけ)																																				
	1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない																																				
2	あなたは、現在どの程度幸せですか。(1つだけ) (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)。																																				
	<table style="margin: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">とても 不幸</td> <td></td> <td style="text-align: center;">とても 幸せ</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0点</td> <td style="text-align: center;">1点</td> <td style="text-align: center;">2点</td> <td style="text-align: center;">3点</td> <td style="text-align: center;">4点</td> <td style="text-align: center;">5点</td> <td style="text-align: center;">6点</td> <td style="text-align: center;">7点</td> <td style="text-align: center;">8点</td> <td style="text-align: center;">9点</td> <td style="text-align: center;">10点</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="12" style="text-align: center;"> ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- </td> </tr> </table>	とても 不幸											とても 幸せ	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点		----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- -----											
とても 不幸											とても 幸せ																										
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点																											
----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- -----																																					
3	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(1つだけ)																																				
	1. はい 2. いいえ																																				
4	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つだけ)																																				
	1. はい 2. いいえ																																				
5	お酒は飲みますか。(1つだけ)																																				
	1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む 3. ほとんど飲まない 4. もともと飲まない																																				
6	タバコは吸っていますか。(1つだけ)																																				
	1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている 3. 吸っていたがやめた 4. もともと吸っていない																																				

7 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも)		
1. ない	2. <small>こうけつあつ</small> 高血圧	3. <small>のうそつちゆう のうしゆけつ のうこうそく</small> 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)
4. <small>しんぞうびよう</small> 心臓病	5. <small>とうにようびよう</small> 糖尿病	6. <small>こうしけっしよう ししつじよう</small> 高脂血症 (脂質異常)
7. <small>こきゆうき びようき はいえん きかんしえん</small> 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	8. <small>いちよう かんぞう たん びようき</small> 胃腸・肝臓・胆のうの病気	
9. <small>じんぞう ぜんりつせん びようき</small> 腎臓・前立腺の病気	10. <small>きんこつかく びようき こつそ しょう かんせつしよう</small> 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)	
11. <small>がいしよう てんとう こっせつ</small> 外傷 (転倒・骨折等)	12. <small>あくせいしんせいぶつ</small> がん (悪性新生物)	
13. <small>けつえき めんえき びようき</small> 血液・免疫の病気	14. <small>びよう</small> うつ病	
15. <small>にんちしよう びようなど</small> 認知症 (アルツハイマー病等)	16. <small>びよう</small> パーキンソン病	
17. <small>め びようき</small> 目の病気	18. <small>みみ びようき</small> 耳の病気	19. その他 ()

問8 認知症にかかる相談窓口の把握について

1 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つだけ)	
1. はい	2. いいえ
2 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つだけ)	
1. はい	2. いいえ

問10 高齢者虐待について

1	あなたは「高齢者虐待 [*] 」について知っていますか。
1. 内容を知っている 2. 名称は聞いたことがある 3. 知らない(この調査で知った)	

※高齢者虐待とは…

暴力的な行為(身体的虐待)、暴言や無視・いやがらせ(心理的虐待)、必要な医療や介護サービスの利用をさせない、世話をしないなどの行為(介護・世話の放棄・放任)や、勝手に高齢者の資産を使ってしまうなどの行為(経済的虐待)、性的な嫌がらせ(性的虐待)のことをいいます。

2	あなたは「高齢者虐待」を疑ったときに、どこに相談しますか。(○は3つまで)
1. 町役場(地域包括支援センター含む) 2. 社会福祉協議会 3. 民生委員 4. 介護事業所 5. 近所の人 6. 警察 7. 医療機関 8. 虐待されている人の親族 9. その他()	
3	あなたは「高齢者虐待」を防止するために、どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)
1. 介護される側と介護する側の相互理解の促進 2. 地域における見守りや普段からの声かけ 3. 気軽に相談できる窓口の充実 4. 認知症に対する理解 5. 介護疲れを軽減するためのサービスの充実 6. その他()	

2. 調査票（在宅介護実態調査）

※あて名シールをはがさないでください。



（宛名ラベル）

第9期介護保険事業計画策定に係る 在宅介護実態調査 【調査票】

- 調査票を記入する際は、各項目で該当する数字に○をつけてください。
- 調査票記入後は、同封の返信用封筒に入れて、

12月5日（月）まで に投函してください。（切手は不要です。）

※役場窓口を持参をしていただいても構いません。

まんのう町役場 福祉保険課

はじめに

皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃は、本町業務にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本町では、高齢者の方がいつまでも住み慣れた地域で安心して暮らせる社会を実現するため、3年に一度「まんのう町高齢者福祉計画及び介護保険事業計画」を策定しています。

今回の「在宅介護実態調査」は、国が示した調査項目と町の独自設問で実施することとなり、令和6年度からの第9期計画の策定に向け、現状を把握し、事業計画策定の基礎資料にするとともに、「介護離職をなくしていくためにはどのようなサービスが必要か」を検討するうえでの基礎資料とさせていただきます。つきましては、お忙しい中大変恐縮ですが、調査の趣旨にご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

なお、収集した個人情報につきましては、今回の調査目的以外に使用することはございません。

令和4年11月

まんのう町長 栗田 隆義

記入に際してのお願い

1. 調査票は、黒の鉛筆又は黒のボールペンで記入してください。
2. この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。
3. 調査票記入後は、同封の返信用封筒に入れてお送りください。(切手は不要です)

〈記入例〉

ご回答にあたっては質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲んでください。

①. はい

2. いいえ

まんのう町役場 福祉保険課

(電話 0877-73-0125)



数字に〇をしてください

A票：基本事項について

問1	現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。(いくつでも〇)
	<ul style="list-style-type: none"> 1. あて名のご本人 2. 主な介護者となっている家族・親族 3. 主な介護者以外の家族・親族 4. あて名のご本人のケアマネジャー 5. その他
問2	あて名のご本人の世帯類型について、ご回答ください。(1つだけ〇)
	<ul style="list-style-type: none"> 1. 単身世帯 2. 夫婦のみ世帯 3. その他
問3	あて名のご本人は、ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つだけ〇)
	<ul style="list-style-type: none"> 1. ない —————→ 問9に進んでください。 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない 3. 週に1～2日ある 4. 週に3～4日ある 5. ほぼ毎日ある
問4	あて名のご本人を、主に介護している方は、どなたですか。(1つだけ〇)
	<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 33%;">1. 配偶者 <li style="width: 33%;">2. 子 <li style="width: 33%;">3. 子の配偶者 <li style="width: 33%;">4. 孫 <li style="width: 33%;">5. 兄弟・姉妹 <li style="width: 33%;">6. その他
問5	あて名のご本人を、主に介護している方の性別について、ご回答ください。(1つだけ〇)
	<ul style="list-style-type: none"> 1. 男性 2. 女性

問6	あて名のご本人を、主に介護している方の年齢について、ご回答ください。(1つだけ○)		
	1. 20歳未満	2. 20歳代	3. 30歳代
	4. 40歳代	5. 50歳代	6. 60歳代
	7. 70歳代	8. 80歳以上	9. わからない
問7	現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(いくつでも○)		
	【身体介護】		
	1. 日中の排泄	2. 夜間の排泄	
	3. 食事の介助(食べる時)	4. 入浴・洗身	
	5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	6. 衣服の着脱	
	7. 屋内の移乗・移動	8. 外出の付き添い、送迎等	
	9. 服薬	10. 認知症状への対応	
	11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等)		
	【生活援助】		
	12. 食事の準備(調理等)	13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	
	14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き		
	【その他】		
	15. その他 ()		
	16. わからない		

問8	ご家族やご親族の中で、あて名のご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません) (いくつでも○)
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く) 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く) 3. 主な介護者が転職した 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない 6. わからない

※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含まず。

●問9からは再び、全員が回答してください。

問9	現在、あて名のご本人が利用している「 <u>介護保険サービス以外</u> 」の支援・サービスについて、ご回答ください。(いくつでも○)												
	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 配食</td> <td style="width: 50%;">2. 調理</td> </tr> <tr> <td>3. 掃除・洗濯</td> <td>4. 買い物(宅配は含まない)</td> </tr> <tr> <td>5. ゴミ出し</td> <td>6. 外出同行(通院・買い物など)</td> </tr> <tr> <td>7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)</td> <td>8. 見守り、声かけ</td> </tr> <tr> <td>9. サロンなどの定期的な通いの場</td> <td>10. その他</td> </tr> <tr> <td colspan="2">11. 利用していない</td> </tr> </table>	1. 配食	2. 調理	3. 掃除・洗濯	4. 買い物(宅配は含まない)	5. ゴミ出し	6. 外出同行(通院・買い物など)	7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)	8. 見守り、声かけ	9. サロンなどの定期的な通いの場	10. その他	11. 利用していない	
1. 配食	2. 調理												
3. 掃除・洗濯	4. 買い物(宅配は含まない)												
5. ゴミ出し	6. 外出同行(通院・買い物など)												
7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)	8. 見守り、声かけ												
9. サロンなどの定期的な通いの場	10. その他												
11. 利用していない													
問10	今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください。(いくつでも○)												
	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 配食</td> <td style="width: 50%;">2. 調理</td> </tr> <tr> <td>3. 掃除・洗濯</td> <td>4. 買い物(宅配は含まない)</td> </tr> <tr> <td>5. ゴミ出し</td> <td>6. 外出同行(通院・買い物など)</td> </tr> <tr> <td>7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)</td> <td>8. 見守り、声かけ</td> </tr> <tr> <td>9. サロンなどの定期的な通いの場</td> <td>10. その他</td> </tr> <tr> <td colspan="2">11. 特になし</td> </tr> </table>	1. 配食	2. 調理	3. 掃除・洗濯	4. 買い物(宅配は含まない)	5. ゴミ出し	6. 外出同行(通院・買い物など)	7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)	8. 見守り、声かけ	9. サロンなどの定期的な通いの場	10. その他	11. 特になし	
1. 配食	2. 調理												
3. 掃除・洗濯	4. 買い物(宅配は含まない)												
5. ゴミ出し	6. 外出同行(通院・買い物など)												
7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)	8. 見守り、声かけ												
9. サロンなどの定期的な通いの場	10. その他												
11. 特になし													

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含まず。

問 11	現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(1つだけ○)
<ul style="list-style-type: none"> 1. 入所・入居は検討していない 2. 入所・入居を検討している 3. すでに入所・入居申し込みをしている 	

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問 12	あて名のご本人が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。(いくつでも○)
<ul style="list-style-type: none"> 1. 脳血管疾患(脳卒中) 2. 心疾患(心臓病) 3. 悪性新生物(がん) 4. 呼吸器疾患(肺気腫・肺炎等) 5. 腎疾患(透析含む) 6. 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等) 7. 膠原病(関節リウマチ含む) 8. 変形性関節疾患 9. 認知症(アルツハイマー病等) 10. パーキンソン病 11. 難病(パーキンソン病を除く) 12. 糖尿病 13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの) 14. その他 15. なし 16. わからない 	

問 13	あて名のご本人は、現在、訪問診療を利用していますか。(1つだけ○)
<ul style="list-style-type: none"> 1. 利用している 2. 利用していない 	

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

問 14 あて名のご本人は、現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の) 介護保険サービスを利用していますか。(1つだけ〇)

1. 利用している → **問 16に進んでください。**
2. 利用していない → **問 15に進んでください。**

問 15 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(いくつでも〇)

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
9. その他

問 16 あなたは「成年後見制度*」をご存じですか。

1. 内容を知っている
2. 名称は聞いたことがある
3. 知らない(この調査で知った)

※成年後見制度とは…

認知症・知的障害・精神障害などによって、判断能力が不十分な方の支援者を選び、法律的に支援する制度です。

問 17 あなたは、あなた自身や親族が認知症などにより判断能力が十分でなくなったとき、「成年後見制度」を利用したいと思いませんか。

1. 利用したい
2. 利用したくない
3. わからない

問20

あなたは「高齢者虐待」を疑ったときに、どこに相談しますか。(〇は3つまで)

1. 町役場(地域包括支援センター含む)
2. 社会福祉協議会
3. 民生委員
4. 介護事業所
5. 近所の人
6. 警察
7. 医療機関
8. 虐待されている人の親族
9. その他()

問21

あなたは「高齢者虐待」を防止するために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 介護される側と介護する側の相互理解の促進
2. 地域における見守りや普段からの声かけ
3. 気軽に相談できる窓口の充実
4. 認知症に対する理解
5. 介護疲れを軽減するためのサービスの充実
6. その他()

問3で「1」を選択された方への質問は以上となります。

ご協力ありがとうございました。

問3で「2」～「5」を選択された方は、B票に進んでください。



B票：主な介護者の方についてお聞きします



数字に○をしてください

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つだけ○)

1. フルタイムで働いている
2. パートタイムで働いている
3. 働いていない
4. 主な介護者に確認しないと、わからない

問2～問5へ

問5へ

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。

自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」、「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問2 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。(いくつでも○)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問3	<p>問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。 (3つまで〇)</p>
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない 2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実 3. 制度を利用しやすい職場づくり 4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など） 5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど） 6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供 7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置 8. 介護をしている従業員への経済的な支援 9. その他 10. 特にない 11. 主な介護者に確認しないと、わからない
問4	<p>問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つだけ〇)</p>
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 問題なく、続けていける 2. 問題はあるが、何とか続けていける 3. 続けていくのは、やや難しい 4. 続けていくのは、かなり難しい 5. 主な介護者に確認しないと、わからない

問5

現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください。(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで〇)

【身体介護】

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助(食べる時) | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) | |

【生活援助】

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等) | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

【その他】

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 15. その他 | 16. 不安に感じていることは、特にない |
| 17. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

ご協力ありがとうございました。



記入もれがないか、再度お確かめください。

記入した調査票を切り離すことなく、同封した返信用封筒に入れ
12月5日(月)までに切手を貼らずに投函してください。

※役場窓口を持参をしていただいても構いません。